

第七十六回帝國議會 衆議院 請願委員會 議 錄 (速記) 第八回

會議

昭和十六年二月二十二日(土曜日)午前十時
十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 加藤 知正君

理事大橋清太郎君 理事川崎巳之太郎君

理事北浦圭太郎君 理事庄司 一郎君

理事坂東幸太郎君 理事福田 悌夫君

理事森 幸太郎君

土田 莊助君

林 平馬君

福井 甚三君

松尾 三藏君

米窪 滿亮君

杉山元治郎君

川副 隆君

山川賴三郎君

小野 寅吉君

坂田 道男君

中野 寅吉君

二月二十一日委員阿部茂夫君及加藤鑲造君
辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月二十二日杉山
元治郎君及河合義一君當選セリ

出席政府委員左ノ如シ

法制局參事官 佐藤 基君

情報局次長 久富 達夫君

神祇院副總裁 飯沼 一省君

北海道廳部長 鈴木 脩藏君

大藏省主稅局長 松隈 秀雄君

大藏書記官 氏家 武君

專賣局長官 花田 政春君

文部省宗教局長 阿原 謙藏君
厚生省衛生局長 加藤於菟丸君
厚生省豫防局長 高野 六郎君
厚生省社會局長 熊谷 憲一君
厚生省勞働局長 持永 義夫君
保險院社會保險局長 木村 清司君
保險院簡易保險局長 前田 穰君
保險院書記官 築 誠君
委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如
シ

議員長野 高一君 同 土屋清三郎君
同 山元龜次郎君 同 松尾 孝之君
同 藤本 捨助君 同 大野 一造君
同 立川 平君 同 原 夫次郎君
同 高橋圓三郎君 同 森 肇君
同 中井川 浩君

神祇院技師 田阪 美徳君
神祇院技師 伊賀上五郎君
農林書記官 山添 利作君
農林省所管
本日ノ會議ニ上リタル請願左ノ如シ

一 北信地方ニ生絲検査所設置ノ請願
(第三八五號)

厚生省所管

一 醫藥分業ノ謬想一掃ニ關スル請願
(第三四五號)

二 性病管制法制定ニ關スル請願(第三
七三號)

三 古仁屋町ニ簡易保險健康相談所設置
ノ請願(第三〇九號)

四 健康保險醫協會設立ニ關スル請願

(第四三三號)

五 北海道舊土人溫泉療養所設置ニ關ス
ル請願(第四三三號)

內務省所管

一 高松港修築費國庫補助ニ關スル請願
(第二一〇號)

二 釜石港ヲ第二種重要港灣ニ指定其ノ
他ノ請願(第三七一號)

三 衣ヶ浦綜合港灣改良事業實施其ノ他
ニ關スル請願(第三五二號)

四 美保灣改稱ニ關スル請願(第三八一
號)

五 富岡港修築ニ關スル請願(第四六七
號)

六 瀨江川砂防工事施行ニ關スル請願
(第三〇三號)

七 代書人ヲ行政書士ト改稱ノ請願(第
三一二號)

八 小川原沼開發ニ關スル請願(第三五
一號)

九 甲子川改修工事繼續施行ニ關スル請
願(第三七〇號)

一〇 伊井諸神社社號改稱ニ關スル請願
(第二九一號)

一一 出雲大社造營ニ關スル請願(第三
〇〇號)

一二 國民拓殖社建立ニ關スル請願(第
三二三號)

一三 彌生神社社格ニ關スル請願(第三
九一號)

一四 北松浦郡內町村道開鑿改修費増額

其ノ他ニ關スル請願(第三九〇號)

一五 八郎湯利用開發ニ關スル請願(第
四二八號)

一六 遠別村ニ船入澗築設ノ請願(第四
三二號)

一七 青年禁酒法制定ニ關スル請願(第
二號、第二二號乃至第二四號、第五
號、第五六號、第五八號、第六七號、
第九五號乃至第九九號、第一〇三號、
第一一六號、第一三八號、第一四六號、
第一九九號、第二〇二號、第二一四號、
第二一五號、第二三七號、第二四五號、
第二四六號、第二七〇號、第二七一號、
第二八三號、第二八五號、第二九〇號、
第二九二號、第二九五號、第二九七號、
第二九八號、第三〇五號、第三二〇號、
第三二四號、第三二六號乃至第三二九
號、第三三一號、第三三二號、第三三
八號、第四二一號乃至第四二五號、第
四五二號、第四六〇號、第四六一號)

一八 青年禁酒法制定反對ノ請願(第五
七號、第八二號、第八三號、第九三號、
第一一一號、第一五一號、第二五四號、
第二六七號、第二八〇號、第二八八號、
第二九四號、第二九九號、第三〇四號、
第三〇七號、第三三三號、第三三四號、
第三六〇號、第三六四號、第三八〇號、
第三九九號乃至第四二〇號、第四五八
號、第四六三號)

大藏省所管

一 上湧別村ニ無水酒精製造工場設置ノ

請願(第三六五號)

二 土地整理士法制定ニ關スル請願(第三八二號)

三 干甘諸ノ供出ニ關スル請願(第三八九號)

四 標津村字標津ニ北海道拓殖銀行等ノ出張所設置ニ關スル請願(第四三二號)

五 大子町專賣局出張所復活ニ關スル請願(第四四七號)

内閣所管

一 大政翼賛會名稱變更其ノ他ニ關スル請願(第三二一號)

二 肇國ノ紀元ニ關スル請願(第三三五號)

三 統制經濟ノ徹底化ニ關スル請願(第三三七號)

四 皇國財產觀確立其ノ他ニ關スル請願(第三二七號)

○加藤委員長 是ヨリ開會致シマス、政府委員ノ都合ニ依リマシテ厚生省所管ヨリ審査ヲ始めマス

日程第二、性病管制法制定ニ關スル請願、文書表第三七三號——紹介議員長野高一君

○長野高一君 請願ノ要旨ヲ極メテ簡單ニ御紹介ヲ申上ゲマス、此ノ請願人ノ佐藤恒佑、北川正惇ノ兩氏ハ現今我が國ノ醫學界ニ於キマシテ性病學ノ泰斗デアリマシテ、多年是ガ撲滅ノ爲ニ非常ナル努力ヲ續ケテ居ル方々デゴザイマス、諸君現在我が國ガ八紘一宇ノ大理想ト民族ノ飛躍的發展トヲ國民的信念ト致シマシテ、世界新秩序建設ニ貢獻スル爲ニ全力ヲ傾倒シツツアルノデアリマスガ、此ノ理念ヲ貫徹實現致シマスル爲ニハ、ドウシテモ民族ノ増強ト云フコ

トガ根本國策デアラネバナラスノデアリマス、而シテ此ノ民族ノ増強ハ言フマデモナク人口ノ増殖ニ依ラネバナラスノデアリマシマスガ、一方我が國ノ出生率ハドウデアアルカト申シマスルト、各位モ御承知ノ通り大正十年以降遞減ノ一途ヲ辿リ、止マル所ヲ知ラヌ狀態デアリマス、是ハ如何ニモ國家ニ取ツテ由々シキ大事ト言ハネバナラスノデアリマス、此ノ出生率減少ノ原因ハ色々アルト致シマシテモ、性病ノ蔓延缺憾ガ主要ナル原因デアルト云フコトハ、今日諸學者ノ定説デアリマシテ爭ヒノナイ所デアリマス、サレバ性病ノ蔓延ヲ防遏シテ是ガ絶滅ヲ期スルコトハ人口増殖上喫緊ノ要務デアリマシテ、而モ事變下軍需産業ノ發展ニ伴ヒ、益、花柳界ハ股賑ヲ極メル一方、大陸トノ交通愈、頻繁ヲ加ヘツツアリマスル爲ニ、性病ノ蔓延ニ拍車ヲ掛ケツツアル狀態デアリマシテ、對性病根本策ノ樹立ハ最早一日ノ躊躇ヲ許サレヌ實情ニアルノデアリマス、私共ハ政府ガ今議會ニ性病豫防法ヲ提出サレルト云フノデ非常ナル期待ヲシテ居ツタノデアリマスガ、不急ノ法案トシテ是ガ提案ヲ見合サルルニ至リマシタコトハ、事情ノ如何ニ拘ラズ如何ニモ残念ニ堪ヘナイ次第デゴザイマス、性病對策確立一年ノ遅延ハ民族發展力ノ衰亡ヲ一年早メタコトニナリマスノデ、洵ニ残念デアリマシマスガ、併シナガラ又籲ツテ者ヘテ見マシマス、最早今日ハ性病ノ絶滅ヲ期スル爲ニハ豫防法ト云フヤウナモノデハモウイケンナイ、ドウシテモ完全ナル性病管制法ノ制定實施以外ニハ途ガナイト確信ヲ致シテ居リマスノデ、願ハクハ政府ハ此ノ際其ノ企圖セラレマスル所ノ豫防法ノ内容ヲ強化セラレマシテ、

百尺竿頭一步ヲ進メテ成ベク近イ機會ニ性病管制法ヲ制定セラレマシテ、議會ニ御提案アラント御願ヒ申上ゲル次第デゴザイマス、此ノ性病管制法ノ内容ニ付キマシテハ願書ニ詳細ニ認メテ置キマシタノデ、厚生御當局ニ於カレマシテハ既ニ御覽ヲ戴イタコトト存ジマスルノデ、此處ニ詳細ニ説明致シマスルコトハ御遠慮致シマスルガ、要スルニ今日如何ニ政府ガ産メヨ殖ヤセヨト人口問題ニ躍起ニナラレマシテモ、又健康、保健ヲ論ジテ體位向上ヲ彼此レ言ハレマシテモ、其ノ根本對策ガ樹立セラレナケレバ到底其ノ目的ヲ達成スルコトハ出來ナイ、最近我が國ニ於ケル早産、流産ノ多イコト、乳幼児ノ死亡率ノ高イコト、壯丁ノ體質低下等ガ何ニ原因スルカト云フコトヲ御考ヘナリマスルナラバ、最早此ノ際思ヒ切ツタ對策ヲ樹立シナケレバナラスト云フコトガ能ク御分リニナルト存ジマス、曩ニ制定セラレマシタ花柳病豫防法ハ其ノ内容極メテ不完全デアリマシテ、實際ノ效果ヲ擧ゲルニ至ツテ居リマセヌ、其ノ目的ガ徒ラニ豫防取締ノミニ重キヲ置イテ、全然治療方面ヲ閑却致シ、豫防取締ガ公娼ノミヲ對象トシテ、私娼ヤ一般公衆ヲ閑却シテ居ル實情デアリマスノデ、是デハ如何ニシテモ性病ノ蔓延ハ避ケ難イノデアリマス、下ウシテモ是ハ一面ニ於キマシテ豫防ヲ強化スルト云フコト、一面ニハ治療ヲ徹底化スルナル、即チ此ノ管制法ノ内容ハ一口ニ申シマスレバ、之ヲ強制的ニ所謂國家ノ強權ヲ以テヤルト云フ強制法ヲ意味スルノデアリマス、此ノ豫防治療ト兩者ガ完全ニ行ハレテ初メテ性病撲滅ノ萬全ヲ期シ得ルノデアリマシテ、今日學者ノ説ニ依リマス

ト、我が國ニ於ケル性病患者ハ、現ニ發病中ノ者ニ遺傳ヤ潜伏性ノモノヲ入レマストザツト五六百万人ハ下ラナイト云フノデアリマスガ、何ト云フ驚クベキ數デアリマセウカ、實ニ斯ウ云フコトヲ考ヘマス、一日モ速カニ性病對策ト云フコトニ付キマシテ、政府ガ思ヒ切ツタ決意ヲ以テ其ノ樹立ヲ斷行セラレンコトヲ御願ヒ申上ゲル次第デアリマス、時間モアリマセヌノデ餘リ諄諄シク申上ゲルコトハ差控ヘマスガ、ドウカ此ノ點ニ付キマシテ厚生御當局ノ御意見ヲ拜聽スルコトガ出來マスレバ結構デアリマス、尙ホドウカ此ノ趣旨ニ御賛成戴キマシテ、御採擇アラント御願ヒ申上ゲル次第デアリマス

○高野政府委員 花柳病豫防法ノ改正ニ付キマシテ目下研究中デゴザイマス、只今御説明ノアリマシタヤウナ御趣旨ヲ十分ニ體シマシテ、花柳病豫防ノ完璧ヲ期シ、人口増殖、國民體力ノ向上ニ遺憾ナキヲ期シタイ積リデアリマス、御意見ノアリマスル所ハ十分參考ニ致シタイト思ヒマス

○坂東委員 此ノ問題ハ極メテ重要デ且ツ喫緊ノ問題デアアルノデアリマスガ、此ノ花柳病撲滅ニ付キマシテ醫藥制度調査會等デ十分研究スルヤウナコトハ出來ヌデアリマセウカ

○高野政府委員 花柳病豫防法ノ審議ニ付キマシテハ、國民體力審議會ト云フ方ニ諮問致シマシテ、其ノ方ノ意見ヲ專ラ基礎ト致シテ成案ヲ得テ居ル譯デアリマス

○坂東委員 其ノ機關ヲモウ少シ擴張致シマシテ、各方面カラモウ少シ委員ヲ殖ヤシテ、積極的、根本的ニ調査シテ、ソレカラ此ノ請願ノ趣旨ノ如キコトヲ實現スルヤウ

ニ努力スルコトが必要ト思ヒマスガ、如何
デアリマスカ

○高野政府委員 只今ノ所デハ國民體力審
議會ガ相當權威ヲ持ツテ居ルヤウニモ存ジ
マス、尙ホ御意見ノ所ハ能ク考慮スルヤウ
ニ致シタイト思ヒマス

○樋口委員 關聯シテ居リマスカラ……性
病ト云フモノガ近頃著シク殖エタコトハ只
今ノ紹介議員ノ御説明ニ依ツテモ明カデア
リマスガ、今日青年ガ花柳病ニ罹ル者ガ多
イ、ソレニ付テ徵兵検査ノ場合ドレ位ノ壯
丁ガ花柳病ニ罹ツテ居ルカ、聞ク所ニ依リ
マス、入營シテ、向フニ渡ラス前ニ既ニ
途中デ花柳病ニ罹ルヤウナ者モアルト云フ
コトヲ聞イテ居ルノデアリマス、是ハ餘程
軍紀ノ上ニ關係スルコトデアリマセウガ、
厚生省ニ於テ性病ニ付テノ豫防取締ニ付テ
御注意ノアルコトハ能ク承知シテ居リマス
ガ、ドレ位ノ數字ガ壯丁検査ヲ受ケルマデ
ニアルノデアリカ、尙ホ又惡ク言フ者カラ
申シマス、徵兵忌避ノ爲ニヤル者サヘア
ルト云フコトスラモ言ツテ居ル位ニ、今日
ハヤタラニ性病ヲ受ケテ居ルヤウナ傾向ガ
アルノデアリマス、此ノ點ニ付テ伺ヒタイ
○高野政府委員 壯丁検査ノ成績ニ付テ見
マス、凡ソ百人ニ付キ一人ト云フ數ガ現
レテ居リマス、近時事變中デハゴザイマス
ガ、壯丁ノ花柳病ニ關スル限リハ少シジツ
ハ改善サレテ居ルヤウニ現レテ居リマス、
尙ホ厚生省ト致シマシテハ軍需産業ノ殷賑
デアルヤウナ方面ニハ特ニ注意ヲ致シマシ
テ、花柳病診療機關ノ増設ヲ行ツテ居リマ
スシ、又花柳病傳播ノ源泉トナリ易イ所ノ
業態者ニ向ツテ、衛生上ノ取締ヲ成ベク徹
底スルヤウニ努メテ居リマス、壯丁ノ

成績ハ幸ヒ格別ノ心配ヲスルコトハナイト
存ジマス、尙ホ只今御話ノアリマシタ花柳
病ニ罹ツテ居ルガ爲ニ軍務ヲ猶豫セラレ
ト云フコトハ、是ハ根本ニ於テナイコトデ
アリマシテ、場合ニ依リマス、病氣ヲ治シ
テモウ一遍検査ヲ受ケルトカ、色々ヤリ方
ガゴザイマセウガ、只今御話ノヤウニ不埒
ナ考ヘ方ハ恐ラクナイデアラウト存ジマス
○坂東委員 本請願ハ極メテ必要ナリト信
ジマスカラ、速カニ實現ヲ要望致シマシテ
採擇ヲ願ヒマス

○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○加藤委員長 採擇ニ決シマス

○加藤委員長 日程第一、醫藥分業ノ謬想
一掃ニ關スル請願、文書表第三四五號
紹介議員土屋清三郎君

○土屋清三郎君 本請願ハ曩ニ開カレマシ
タ全國醫師大會ノ決議ニ基キマシテ淺草區
醫師會長時松茂外若干ノ醫師ガ代表的ニ請
願シテ居ルノデアリマス、其ノ要旨ハ醫藥
分業ト云フ問題ハ醫藥兩界ニ互リマシテ數
十年來洵ニヤカマシイ問題デアリマスガ、
本來醫藥分業ト云フモノハ醫藥ヲスル醫師
ト、藥ヲ作ル藥業者ト云フモノガ初メカラ
別々ニ發達シテ參リマシタ「ヨーロッパ」ノ
醫藥ノ特殊ナ遺殘物デアリマシテ、現在ハ
「ヨーロッパ」ニ於テスラモ「ドイツ」及ビ其
ノ流レヲ汲ンデ居リマス、三ノ國ニ行ハ
レルノミニ過ギナイ、而モ是等ノ國ニ於キ
マシテモ、唯藥劑師ノ居ル大キナ都會ダケ
ニ限ツテ行ハレテ居ルノデアリマシテ、地
方ニ於テハ日本同ジヤウニ投藥ハ總テ醫
師ガヤツテ居ルノデアリマス、即チ醫藥分

業ト云フモノガ國內全般ニ行ハレテ居ル國
ハ一ツモナク、都會ダケニ限ツテ行ハレテ
居ルモノモ「ドイツ」外其ノ系統ノ二、三ノ小
國ニ過ギナイノデアリマシテ、醫藥ノ實
相カラ見レバ全ク舊體制デアリマス、日
本ニ於キマシテハ昔カラ醫師ハ必ズ藥箱ヲ
持ツテ居ル、藥ヲ學バナケレバ醫師ニナレ
ナイ、即チ醫藥一元ガ日本傳來ノ醫師ノ制
度デアリマシテ、而モ現在ノ醫藥其ノモノ
ハ、東西ヲ通ジテ總テ醫藥一元ガ本體トナ
ツテ居ルノデアリマス、分業國ニ於テハ以
前ハ醫師ガ患者ヲ診テ藥ヲヤル場合ニ處方
箋ヲ書イテ、藥局ニ之ヲ廻シテ居ツタ所ガ
段々醫術ガ進ンデ參リマシテカラ、「ドイ
ツ」ノ如キ分業國ノ本元ニ於テスラ藥ヲ患
者ニ與ヘル場合ニ、間接ニ態、藥劑師ノ所
ニ行ツテ調合シテ貰フト云フヤウナコトデ
ナクシテ、直接迅速ニ、且ツ的確ニ效果ヲ
現ハス爲ニ、醫師ガ自ラ注射ニ依ツテ治療
スルヤウニナツタコトハ御承知ノ通りデア
リマス、殊ニ醫藥界ニ一大紀元ヲ劃シタ「サ
ルバルサン」六〇六號ノ如キハ藥劑師ノ藥
局調劑ヲヤラシテ居ラナイ、少クモ調
合シテカラ二十分以内ニ注射シナケレバ、
本來ノ猛毒ヲ呈シマス爲ニ、必ズ醫師ガ自
分デ調劑ヲシテ、患者ニ注射ヲスルコトニ
ナツテ居リマス、毒藥ノ如キハ醫師ガ自分
デ調劑ヲシテ注射シテ宜シイ、口カラ飲ン
デ差支ヘナイ普通藥ハ、處方箋ヲ書イテ、
患者ニ渡シテ、藥劑師ノ方ニ行ツテ藥劑師
カラ貰ハセナケレバイケナイト云フヤウナ
理窟ハモウ今日ハ通ラナイ、是ガ即チ醫藥
一元デアツテ、今日ノ世界ヲ通ジテノ醫藥
ノ新體制デアリマス、所ガ醫藥制度調査會
ガ厚生省ニ出來マシテカラ、今日マデ調査

致シマシタ中ニハ、此ノ實情ニ暗イ委員ガ
大部分ヲ占メテ居リマス爲ニ、「ヨーロッ
パ」ノ昔カラノ舊體制ニ囚ハレテ、醫藥分
業ノ問題ヲ解決スル方法トシテ、醫師ガ患
者ヲ診タ場合ニハ必ズ處方箋ヲ書カセテ病
人ニ之ヲ渡シテ、病人ガ其ノ醫者カラ藥ヲ
貰ヒタイト云フ時ニ限ツテ、調劑ヲシテモ
宜イト云フヤウナ姑息ナ方法ヲ以テ、此ノ
問題ヲ片付ケヨウトシテ居リマス爲ニ、御
承知ノ通り此ノ醫藥制度調査會ノ答申ヲ繞
ツテ、全國的ニ醫師ト患者ガ非常ナ不安ノ
中ニ置カレテ居ルノデアリマス、仍テ斯カ
ル現在ノ醫藥ノ體制ヲ案ルヤウナ考ヘハ速
カニ拋棄シテ——醫藥分業ト云フモノハ「ヨー
ロッパ」ノ特別ナル昔ノ遺制ニ過ギナイ、
現在ハ醫藥ガ全ク一ツデ行クベキモノデア
ルト云フ點ヲ考ヘラレテ醫師ト藥劑師トハ
各、其ノ固有ノ職分ニ還元シテ、互ヒニ和衷
協力、奉公スル道ヲ開クト云フコトガ、國
家ノ爲ニモ、又國民ノ爲ニモ適當デアル、斯ウ
云フノガ此ノ請願ノ趣旨デゴザイマス、此ノ
問題ニ付キマシテハ既ニ新聞ニモ現ハレテ
居リマス通り、現ニ近衛內閣ノ有力ナル閣僚
ノ一人デアル橋田文部大臣ハ、先般厚生省ノ
主催デ開カレマシタ軍事保護院ノ醫師ノ講
習會ニ臨マレテ講演サレタ其ノ中ニ、醫師
ノ投藥ト云フモノハ機械的ノモノデハナク
シテ、一部分心理的ノ作用ガ大イニ働クノデ
アル、隨テ如何ナル藥ヲ與ヘルカト云フコ
トヲ一々書イテ、患者ニ其ノ内容ヲ示スト
云フガ如キハ醫藥ノ本質ニ悖ルモノデアツ
テ、隨テ之ニ處方箋ヲ強制サセルコトハ非
常ナ間違ヒデアル、治療スル者ハ嘘モ方便
デアルト云フコトヲ考ヘナケレバナラス、
斯ウ云フヤウナコトヲ講演シテ居ラレル事

實ハ、厚生省當局ハ固ヨリ、之ヲ讀シテ國
民ハ總テ知ツテ居ル筈デアリマス、蓋シ橋
田文相ノ御考ヘハ、斯様ナ「ヨーロッパ」ノ
誤レル舊體制ヲ捉ヘテ、サウシテ制度化セ
ントシテ、醫藥兩界ニ無用ノ摩擦ヲ起スト
云フコトヲ、苦々シク感ゼラレタ結果デア
ルト私ハ考ヘル、御承知ノ通り醫師ト藥劑
師ト云フモノハ全ク兄弟關係ニアルノデア
リマシテ、兄ハ醫師デアリ、弟ハ藥劑師デ
アル、或ハ父ハ藥劑師デアリ、子ハ醫師デ
アルト云フヤウナ實情デアルノニ斯ウ云フ
問題ヲ起シテ、長ク醫藥兩界ヲ混亂ニ導イ
テ居ルト云フコトハ見ルニ忍ビナイ、斯ウ
云フコトガ此ノ請願ノ骨子トナツテ居ルノ
デアリマスカラ、各位ニ於カセラレマシテ
モ、我ガ醫藥兩界ガ斯ウ云フ煩ハシイ舊體
制ニ囚ハレル時デナク、時局ニ鑑ミテ互ヒ
ニ相協力シ提携シテ、各、其ノ職域ニ從ツテ
奉公スルコトノ出來ルヤウニシテ戴キタイ、
斯ウ云フコトデアリマス、何率御審議ノ上
御採擇アラント望ミマス

○坂東委員 此ノ際政府ノ御意見ヲ伺ヒマ
ス

○加藤政府委員 醫藥分業ニ關聯致シマス
ル各種ノ問題ニ付キマシテハ、醫藥制度調
査會ニ於キマシテモ、熱心ニ研究且ツ討議
ヲセラレタノデアリマスガ、此ノ問題ハ國
民醫療ノ上カラ見マシテ、極メテ重要ナ事
項デアルト考ヘラレマスノデ、政府トシテ
ハ尙ホ慎重ニ研究ヲ致シテ見タイト存ジテ
居ル次第デアリマス

○坂東委員 此ノ請願ハ文書表第六十六
號ノ醫藥制度調査會改善ニ關スル請願ト内
容ハ稍、同一ニナツテ居リマス、而シテ先
ハ參考送付トナツテ居リマスガ、只今紹介

議員ノ紹介ノ理由ヲ伺ツテ居リマス、此
ノ醫藥制度調査會ニハ醫師會代表ノ方モ居
ル筈デアリマスガ、其ノ醫師會ノ代表者側
ノ意見ヲ無理ニ壓迫シテ、答申案ヲ作ツタ
ト云フヤウナコトヲ伺ツテ居リマスガ、サ
ウ云フヤウナ事實ガアツタノデスカ、ソレ
ヲ承リタイ

○加藤政府委員 只今坂東サンカラ御尋ネ
ノヤウナ壓迫ヲ致シマシテ答申ヲ作り上ゲ
タト云フヤウナ事實ハ全然ナイヤウニ承知
ヲ致シテ居リマス

○坂東委員 サウシマス、醫師ノ代表者
モ調査會ノ委員トナリマシテ、慎重審議、
而モ二年半モ掛ツテヤツタ答申案デアリマ
シテ、ソレヲ無効ニスルガ如キ請願ハ適當
デナイト思ヒマス、一方醫師ノ代表者ガ出
テ審議シテ居ツタモノヲ否認スルガ如キコ
トハ、而モ此ノ會デ採擇スルコト云フコトハ
適當デハナイト思ヒマス、隨テ此ノ答申案
ニ關スル限りハ、前同様ニヤハリ參考送付
ガ適當ト思フ、勿論答申案ニ若シ不服デア
リマスルナラバ、政府ガ醫師法改正案ヲ出
シマシテ時分ニ、議員ガソレニ反對スルノ
ハ自由デアリマス、又其ノ場合ニ醫師ガ起
ツテ反對スルノモ自由デアリマスケレドモ、
此ノ際トシマシテハ、出來マシタル答申案
ヲ否認スルガ如キ請願ハ適當デナイト信ジ
マスカラ、前ノ場合ト同様ニ之モヤハリ政
府ニ參考送付トシ、十分參考ニシテ貰ヒタ
イト思ヒマス

○土屋清三郎君 紹介議員ハ委員デアリマ
セスカラ、只今ノ坂東君ノ發言ニ對シテ討論
ハ致シマセス、併シハ前ニ此ノ委員會ノ議
題トナツタ所ノ醫藥制度調査會改善ニ關ス
ル請願ト同一ノ内容ナリト主張スルコトニ付テ

ハ紹介議員ハ異議ガアリマス、内容ヲ十分ニ讀
マレテ發言ヲサレタイ、仍テ私ハ此ノ機會ニ、
今政府委員ノ言ハレタ通り、極メテ重大ナル
問題デアリマスルカラ、前ニ私ガ紹介議員ト
シテ發言致シマシタル内容ノ一部ヲナス所ノ
橋田文部大臣ガ、厚生省ノ軍事保護院ノ醫
官ノ講習會ニ出テ、處方箋交付ノ此ノ案ニ反
對サレタ、私ノ申シタヤウナ内容ヲ言ハレ
タト云フコトニ付テ政府當局ハ御否定ニナ
ルカ、御肯定ニナルカ、此ノ點ヲ此ノ機會
ニ承リタイト思フ、成程此ノ議會ニハ醫師
法改正案トシテハ出マセスケレドモ、假ニ
次ノ議會ニ出ルト致シマシテモ、コト一二
年ノ間ハ同様ノ不安ヲ醫藥兩界ニ與ヘテ置
クト云フコトハ政府トシテモ十分ニ御考ヘ
ヲ願ハネバナラス、斯様ニ考ヘマスノデ特
ニ此ノ御尋ネヲ致ス者デアリマス

○加藤政府委員 橋田文部大臣ノ御講演ノ
内容ヲ私ハ能ク存ジマセスノデアリマスル
ガ、サウ云フ事實ヲ肯定スルカ否定スル
トカ云フコトデナク、其ノ内容ノ御講演ガ
アツタト致シマシテ、其ノ御意見ヲ肯定ス
ルカ否定スルカト云フ御尋ネト致シマスル
ト、先程モ申上ゲマシタヤウニ、此ノ問題
ハ重要ナ問題デアリマスノデ、尙ホ篤ト研
究ヲ致シタ上デ意見ノ發表ヲ致スコトニ御
許ガ願ヒタイト思ヒマス

○坂東委員 前ノ場合ハ醫藥制度調査會ノ
組織其ノモノニ對シテモ非議ヲ加ヘテ、尙
ホ答申案ニ對シテモ非議ヲ加ヘテ居ルノデ
アリマスカラ、其ノ一部デアリマス、大體
本請願ニハ斯ウ云フヤウナコトガ書イテア
ル「醫藥制度調査會」答申セル醫師ニ對スル
處方箋交付強制案ノ如キハ現代ノ醫療體制
ヲ紊ルノミナラズ醫藥兩業者ヲシテ永久的

對立關係ニ置カシムルモノナリ云々」トアリ
マスノデ、兎モ角官制ニ依ツテ出來マシタ
調査會デ、其ノ調査會ニハ醫師ノ代表モ加
ハツテ、圓滿ニ數年間ニ互ツテ審議ヲ凝ラ
シテ出來タ答申案デアリマスカラ、ソレヲ
否認スルト云フ請願ハ採擇スルコトガ出來
ナイカラ參考送付ニ願ヒマス

○加藤委員長 參考送付ニ御異議アリマセ
スカ

〔異議ナシ〕異議アリト呼ブ者アリ
○山川委員 私ハ醫藥分業ト云フヤウナコ
トハ洵ニ不都合ナコトデアルト思フノデア
リマス、オ醫者サンガ醫術ヲ行ヒ、藥ハ藥
屋ガ出ス、斯ウ云フ風ニ分業スルト云フコ
トガ醫藥分業ナノデアリマス、オ醫者サン
ハ藥ヲ製造シナイ、藥ノ販賣ヲ商賣ニハシ
テ居ナイ、現在デモ身體ヲ診ルノハオ醫者
サンニ限ツテ居ル、藥ハオ醫者サンガ出ス
コトモアリ、ソレカラ藥屋カラ買フコトモ
アル、又藥屋ガ藥ヲ製造又ハ販賣スルノデ
現在デハ分業ニナツテ居ル、此ノ分業ト云
フ區別ガ非常ニ不明瞭デアルト思フノデア
リマス、藥ヲ合ハスト云フコトハ、是ハ藥
劑師デナケレバナラスト決メテシマハウト
云フコトデアツタナラバ、醫學生ガ醫學校
ヘ行ツテ學ブコトハ醫術ダケヲ學ンダラ宜
イ、藥ノコトハ學バナクテモ宜イト云フ
コトニナル、大變ノ間違ヒデアル、抑、人
間ノ身體ト云フモノノ物品ニ考ヘルカラ
サウ云フコトニナル、モウ一ツ言ヘバ、動
物的ニ取扱フカラサウ云フ議論ガ起ツテ來
ル、人間ノ身體ト云フモノハ、是ハ精神ノ
容レ物デアリマス、精神ノ容レ物デアリマ
シテ、精神ト云フモノヲ抜イデドウシテ人
間ノ身體ガ生キテ行ケルカ、活動ガ出來ル

○加藤委員 此ノ請願ハ文書表第六十六
號ノ醫藥制度調査會改善ニ關スル請願ト内
容ハ稍、同一ニナツテ居リマス、而シテ先
ハ參考送付トナツテ居リマスガ、只今紹介

カ、身體ト云フモノハ精神ヲ容レル必要
ガアツテ、玆ニ作ラレテ居ル所ノモノデア
ルノデアリマス、其ノ身體ノ故障ヲ治スト
云フ上ニハオ醫者サンハ精神ト云フコトヲ
考ヘテ醫術ヲ施スノ必要アル、此ノ醫術ニ
ハドウ云フ風ニ藥ヲ用ヒタラ宜イカ、ドウ
云フ風ニ療養ヲ行ヘバ宜イカ、精神の療法
ト藥トヲ相互ヒニ考ヘテ、其ノ人、其ノ時
ニ咄嗟ノ間ニ、總テノ方法ヲ變ヘテ行カ
ケレバナラス、丁度此ノ議場デ今此ノ議案
ヲ廻ツテ賛成者モ不賛成者モ共ニ相爭ウテ
居ルノト、此ノ機微ハ少シモ違ハナイノデ
アリマス、醫者ノ病ヲ治スト云フ場合ハ之
ト同ジデアリマス、ソレヲ唯紙ノ端ニ自分
ノ信ズル所ヲ書イテ、ソチヲ勝手ニ用キ
ルト云フヤウナ有様デ、何處ノ藥屋ニ行ツ
テ、何時ニ服用シタカ、其ノ服用シタ模様
ナドヲ知ラズシテ、勝手ニオ醫者サンハオ
醫者サンデ診テ居ル、藥屋ハ藥屋デ片方デ
ソレヲ作ツテ居ル、ソナナ不徹底ナコトデ
火急ナ病氣ヲ醫間ニ於テ、醫術ガ行ハレマ
スカ、生命ガ助カルカ助カラスカト云フ場
合ニ、ソナナコトヲ分業ニシテシマツテ置
クト云フコトハ、マルデ醫者ノ左ノ手ヲ切
ツテ右ノ手ダケデ仕事ヲセイト云フノト同
ジデアリマス、現在ハ醫者ガ身體モ診、藥
モ與ヘルト云フコトニ決マツテシマツテ、
サウシテ藥劑師ノ方ガ廢業ニナルト云フナ
ラバ、初メテ醫藥分業ト云フ議論ガ起テ來
ルノデ、斯ウ云フコトノ議論モ出テ來ルノ
デアリマセウケレドモ、現在ハ既ニ大部分
醫藥分業デアアルノデアリマス、其ノ殘ル一
部分ヲ藥劑師ノ手ニ奪ツテシマハウト云フ
所ノ暴舉デアリマス、私ハ斯ウ信ジマス、
飽クマデモ醫藥分業ハ宜シクナイト思ヒマ

ス、仍テ此ノ請願ハ何處マデモ之ヲ私ハ採
擇サレンコトヲ希望スル次第デアリマス
○樋口委員 只今山川君ノ御説モ醫者ト云
フ一面カラ論ゼラレバ、サウ云フ所ノ御
意見モ御尤モカト思ヒマスルガ、斯クノ如
キ問題ハ、双方今日マデ相當ナ意見ノ主張
ガアツテ、サウシテ尙ホ未ダ解決セズ、政
府ノ意見ヲ伺ツテ重要ナルコトトシテ之ヲ
取扱ツテ行クト云フ場合ニ、此ノ委員會ノ
前例ト致シマシテモ、之ヲ參考送付トスル
コトガ、當ヲ得ヌナドト云フコトハ私ハ決シ
テナイト思フノデアリマス、仍テ坂東君ノ
説ニ賛成デ、參考送付ニシタイト思ヒマス
○加藤委員長 此ノ問題ハ都合ニ依リ延期
致シマス

コトモ出來ナイデ、診斷書等モ區長ノ診斷
書ニ依ツテ埋葬スルト云フヤウナ、實ニ今
日ノ文明國トシテ見ル能ハザル悲惨ナ生地
獄ノ状態ニ置カレテ居ルノデアリマス、最
近ハ人口ガ益々増加シ、特ニ同地方ハ重要ナ
要塞地帯デアリマシテ人口ハ益々殖エテ居ル、
斯ウ云フ點カラ見マシテモ健康保險ノ必要
ヲ認ムルノデアリマスガ、幸ニ簡易保險ガ
出來マシテ、此ノ設備ガ全國民ノ要求ヲ充
タシ、國民カラ非常ニ感謝サレテ居リマス、
私ハ本來醫藥ハ國家乃至ハ公ノ團體ニ依ツテ
經營スベシト云フ持論デアリマスガ、今日
マダソコマデ到達シテ居ナイコトハ甚ダ遺憾
ト致シテ居ルノデアリマス、兎ニ角國家
ノ恩惠ニ依ツテ此ノ健康相談所ガ此ノ地理
的ニ惠マレザル土地ニ設置サレルト云フナ
ラバ、住民ハ初メテ國家ノ涙アル行動ニ感
謝スルコトニナラウト思ヒマス、醫者乃至
建物ノ關係ハ十分ニ設備スル用意ガアルノ
デアリマス、隨テ之ニ依ツテ又一般國民ガ
貯蓄心ヲ起シ乃至ハ保險ニ入リマシテ益々
簡易保險ノ目的ヲ達成スルト云フ結果ニ
モナルノデアリマスカラ、厚生省ハ最近一
般ノ社會施設ヲヤラシメシテ國民大衆ハ心
カラ之ニ感激シ感激シテ居ルノデアリマス
カラ、斯ウ云フ場合ニアア云フ遠イ離島ノ
惠マレザル住民ノ爲ニ特ニ之ヲ設置サレン
コトヲ御願ヒシ、當局ノ誠意アル御答辯ヲ
得ルト共ニ、委員諸公ニ於カレテモ御採擇
ヲセラレルヤウ御願ヒスル次第デアリマス

ゴザイマシタノデ、私ノ方ニ於キマシテモ
慎重ニ研究ヲ致シマシタガ、簡易保險ノ加
入者ノ相當アリマスルコト、又既設ノ名瀨
ノ相談所カラ距離ガ相當アルコト、醫療機
關ガ普及シテ居リマセヌノデ保健狀況モ良
クナイコト、其ノ他交通機關ノ事情等ヲ考
ヘマスレバ、請願ノ古仁屋ニハ御趣旨ノ相
談所ヲ設ケマシテモ宜シイ、サウ云フ風ナ
條件ヲ具備致シテ居ルノデアリマスガ、何
分ニモ同様ノ候補地ハ他ニモ澤山ゴザイマ
スノデ、其ノ他ノモノトモ深ク研究致シタ
上デ決定シタイ、サウ云フ風ニ私共ハ考ヘ
テ居ルノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマ
ス
○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○加藤委員長 採擇ニ決シマス

○加藤委員長 日程第四、健康保險醫協會
設立ニ關スル請願、文書表第三四號
紹介議員土屋清三郎君
○土屋清三郎君 此ノ請願ハ大阪府下ニ於
ケル健康保險醫協會ガ全部團結シテ健康保險醫
協會ヲ設立シテ居リマス、其ノ設立者ノ代
表的ナ請願デアリマスガ、其ノ要旨ハ從來
健康保險被保險者ニ對スル診療費ガ適切デ
アリマセヌ爲ニ、醫師會ノ會員中ニハ其ノ
診療擔當ヲ良心的ノ治療ガ出來ナイト云フ
理由デ受諾シナイ者モアリマス、又一方日
本醫師會ハ保險醫ノ資格ニ付テ色々ナ條件
ヲ設ケマシテ、診療擔當ヲ希望スル者ニ對
シテ容易ニ保險醫タルコトヲ許可致シマセ
ヌ爲ニ、全國開業醫ノ約半數ハ保險醫ニナ
ツテ居ナイト云フ状態デアリマシテ、隨テ

カ、身體ト云フモノハ精神ヲ容レル必要
ガアツテ、玆ニ作ラレテ居ル所ノモノデア
ルノデアリマス、其ノ身體ノ故障ヲ治スト
云フ上ニハオ醫者サンハ精神ト云フコトヲ
考ヘテ醫術ヲ施スノ必要アル、此ノ醫術ニ
ハドウ云フ風ニ藥ヲ用ヒタラ宜イカ、ドウ
云フ風ニ療養ヲ行ヘバ宜イカ、精神の療法
ト藥トヲ相互ヒニ考ヘテ、其ノ人、其ノ時
ニ咄嗟ノ間ニ、總テノ方法ヲ變ヘテ行カ
ケレバナラス、丁度此ノ議場デ今此ノ議案
ヲ廻ツテ賛成者モ不賛成者モ共ニ相爭ウテ
居ルノト、此ノ機微ハ少シモ違ハナイノデ
アリマス、醫者ノ病ヲ治スト云フ場合ハ之
ト同ジデアリマス、ソレヲ唯紙ノ端ニ自分
ノ信ズル所ヲ書イテ、ソチヲ勝手ニ用キ
ルト云フヤウナ有様デ、何處ノ藥屋ニ行ツ
テ、何時ニ服用シタカ、其ノ服用シタ模様
ナドヲ知ラズシテ、勝手ニオ醫者サンハオ
醫者サンデ診テ居ル、藥屋ハ藥屋デ片方デ
ソレヲ作ツテ居ル、ソナナ不徹底ナコトデ
火急ナ病氣ヲ醫間ニ於テ、醫術ガ行ハレマ
スカ、生命ガ助カルカ助カラスカト云フ場
合ニ、ソナナコトヲ分業ニシテシマツテ置
クト云フコトハ、マルデ醫者ノ左ノ手ヲ切
ツテ右ノ手ダケデ仕事ヲセイト云フノト同
ジデアリマス、現在ハ醫者ガ身體モ診、藥
モ與ヘルト云フコトニ決マツテシマツテ、
サウシテ藥劑師ノ方ガ廢業ニナルト云フナ
ラバ、初メテ醫藥分業ト云フ議論ガ起テ來
ルノデ、斯ウ云フコトノ議論モ出テ來ルノ
デアリマセウケレドモ、現在ハ既ニ大部分
醫藥分業デアアルノデアリマス、其ノ殘ル一
部分ヲ藥劑師ノ手ニ奪ツテシマハウト云フ
所ノ暴舉デアリマス、私ハ斯ウ信ジマス、
飽クマデモ醫藥分業ハ宜シクナイト思ヒマ

○加藤委員長 日程第三、古仁屋町ニ簡易
健康相談所設置ノ請願、文書表第三〇
九號 紹介議員山元龜次郎君
○山元龜次郎君 請願ノ趣旨ハ鹿兒島縣大
島郡古仁屋町ニ簡易健康相談所ヲ設置
シテ實ヒタイト云フコトデゴザイマス、地
理的ニ見マシテ同地方ハ所謂瀨戸内五箇
村ト一般ニ言ハレテ居リマスガ、一寸瀨戸
内海ノヤウナ景勝ノ下ニ五箇村ガアリマシ
テ、其ノ中心ニ古仁屋町ガアルノデアリマ
ス、所ガ人口約四萬位アリマスケレドモ、
醫者ハ僅カニ五人位デアツテ、醫者一人ニ
對シ約八千人ノ人ノ割合デアリマス、デア
リマスカラ各町村カラ古仁屋町ニ發動機船
デ品物ヲ買ヒニ行クトモアリマシテ、其
ノ序ニ醫者ニ診テ貰フコトモアリマスガ、
一般ニハ發動機船デ醫者ヲ古仁屋ヘ迎ヘル
トスルト約三十圓乃至四十圓ノ金ヲ要シマ
スカラ、隨テ病氣シマシテモ醫者ニ診セル

コトモ出來ナイデ、診斷書等モ區長ノ診斷
書ニ依ツテ埋葬スルト云フヤウナ、實ニ今
日ノ文明國トシテ見ル能ハザル悲惨ナ生地
獄ノ状態ニ置カレテ居ルノデアリマス、最
近ハ人口ガ益々増加シ、特ニ同地方ハ重要ナ
要塞地帯デアリマシテ人口ハ益々殖エテ居ル、
斯ウ云フ點カラ見マシテモ健康保險ノ必要
ヲ認ムルノデアリマスガ、幸ニ簡易保險ガ
出來マシテ、此ノ設備ガ全國民ノ要求ヲ充
タシ、國民カラ非常ニ感謝サレテ居リマス、
私ハ本來醫藥ハ國家乃至ハ公ノ團體ニ依ツテ
經營スベシト云フ持論デアリマスガ、今日
マダソコマデ到達シテ居ナイコトハ甚ダ遺憾
ト致シテ居ルノデアリマス、兎ニ角國家
ノ恩惠ニ依ツテ此ノ健康相談所ガ此ノ地理
的ニ惠マレザル土地ニ設置サレルト云フナ
ラバ、住民ハ初メテ國家ノ涙アル行動ニ感
謝スルコトニナラウト思ヒマス、醫者乃至
建物ノ關係ハ十分ニ設備スル用意ガアルノ
デアリマス、隨テ之ニ依ツテ又一般國民ガ
貯蓄心ヲ起シ乃至ハ保險ニ入リマシテ益々
簡易保險ノ目的ヲ達成スルト云フ結果ニ
モナルノデアリマスカラ、厚生省ハ最近一
般ノ社會施設ヲヤラシメシテ國民大衆ハ心
カラ之ニ感激シ感激シテ居ルノデアリマス
カラ、斯ウ云フ場合ニアア云フ遠イ離島ノ
惠マレザル住民ノ爲ニ特ニ之ヲ設置サレン
コトヲ御願ヒシ、當局ノ誠意アル御答辯ヲ
得ルト共ニ、委員諸公ニ於カレテモ御採擇
ヲセラレルヤウ御願ヒスル次第デアリマス

○前田政府委員 鹿兒島縣ノ大島郡ニハ現
在名瀨町ニ簡易保險ノ相談所ガアルノデゴ
ザイマスガ、尙ホ其ノ他ニ一箇所簡易保險
ノ健康相談所ヲ設置シテ貰ヒタイト云フ請
願デゴザイマス、本請願ハ初メテノ請願デ

○加藤委員長 日程第四、健康保險醫協會
設立ニ關スル請願、文書表第三四號
紹介議員土屋清三郎君
○土屋清三郎君 此ノ請願ハ大阪府下ニ於
ケル健康保險醫協會ガ全部團結シテ健康保險醫
協會ヲ設立シテ居リマス、其ノ設立者ノ代
表的ナ請願デアリマスガ、其ノ要旨ハ從來
健康保險被保險者ニ對スル診療費ガ適切デ
アリマセヌ爲ニ、醫師會ノ會員中ニハ其ノ
診療擔當ヲ良心的ノ治療ガ出來ナイト云フ
理由デ受諾シナイ者モアリマス、又一方日
本醫師會ハ保險醫ノ資格ニ付テ色々ナ條件
ヲ設ケマシテ、診療擔當ヲ希望スル者ニ對
シテ容易ニ保險醫タルコトヲ許可致シマセ
ヌ爲ニ、全國開業醫ノ約半數ハ保險醫ニナ
ツテ居ナイト云フ状態デアリマシテ、隨テ

昭和十六年二月二十二日

被保險者ガ所謂團體自由選擇即チ自分ノ掛
リタイト云フ醫者ヲ自由ニ選ンデ治療ヲ受
ケルコトガ出來マセヌ、其ノ爲ニ被保險者
ノ居住地附近ニ開業醫ガアツテモ保險醫ト
シテノ診療ヲナシマセヌ爲ニ、被保險者ハ
已ムヲ得ズ自費ヲ以テ診療ヲ受ケテ居ルヤ
ウナ状態デアリマス、而モ一般社會ノ情勢
ト云フモノハ健康保險醫ノ診療ハ一段低級
ノモノデアルカノ如ク之ヲ考ヘマシテ、被
保險者、事業主並ニ保險醫共々不平不滿ヲ
懸ヘテ居ルノデアリマス、是等ハ主トシテ
診療費ノ適切デナイコトニ依ルノデアリマ
スルカラ、其ノ診療費ノ適切ヲ圖ツテ全國
ノ總テノ開業醫ガ之ヲ擔當スルコトノ出來
ルヤウニスルコトガ必要デアリマス、若シ
ソレガ出來ナイナラバ醫師會ト離レテ別ニ
健康保險醫ノ協會ヲ設立シテ、政府ガ健康
保險ニ關スル限リ此ノ團體ヲ指導シテ健康
保險ノ診療ニ當ルヤウニト云フコトガ趣旨
デアリマス、斯様ニシテ被保險者ノ福祉ノ
増進ト産業ノ振興トニ貢獻スルコトノ出來
ルヤウニシタイト云フノガ此ノ請願ノ要旨
デゴザイマス、何卒御採擇アラントヲ希
望致シマス尙ホ此ノ事ニ關聯シテ、非常ニ
重大ナ問題トシテ、此ノ機會ニ政府當局ニ
伺ヒタイト思ヒマスノハ、健康保險ノ醫療
ノ點數査定ト云フコトガ、從來ハ醫師會ダ
ケデヤツテ居ツタノデアリマスガ、昨年カ
ラハ政府當局ト醫師會トガ共同審査ヲスル
ト云フコトニナリマシタ、所ガ之ニ對シマ
シテ、保險院ハ地方廳ニ向ツテ、本年カラ
健康保險ノ審査ハ共同審査ヲスルコトニナ
ツタカラ、地方モ其ノ積リデアルヤウニト
云フ通牒ヲ出サレタ、然ルニ日本醫師會ノ
方デハ、此ノ共同審査ト云フコトハ日本醫

師會ト保險院ダケノコトデアツテ、地方ニ
ハ適用ガナイ、隨テ若シ地方ノ醫師會ニ對
シテ地方廳カラ共同審査ヲ言ツテ來タ場合
ニハ、ソレハ斷ルコトモ自由デアルト云
フ意味ノ通牒ヲ出シマシタ爲ニ、茲ニ洵ニ
悲シムベキ問題ガ起ツタノデアリマス、ソ
レハ香川縣醫師會ノ健康保險部長デアル森
岡雄太郎ト云フ人ガ、健康保險ノ審査ハ自
分ガ主ニナツテヤツテ居リマシタ處ヘ、
縣廳ノ方カラ、保險院ノ通牒ニ依リマシ
テ、共同審査ニ出張シテ參ツタ、ソコデ森
岡保險部長ハ、日本醫師會ノ通牒ニ基イテ、
共同審査ハ中央ニ於ケル保險院ト日本醫
師會トノ間ノコトデアツテ、地方ニ於テハ
適用ガナイ、一緒ニヤツテモ、ソレハ自由
デアルト云フ通牒ガ來テ居ルカラト云フノ
デ、共同審査ヲ拒ンダ、其ノ結果縣ノ方デ
ハ、公務執行ヲ妨害スルノハ怪シカラスト
云ツテ、慥カ公務執行妨害ノ刑事事件ヲ起
シタ爲メ、森岡醫師ハ非常ナ苦シイ立場ニ
立ツニ至ツタ、成程森岡醫師トシテハ、日
本醫師會ノ指令ノ通りヤツタノデアアルケ
レドモ、縣廳ノ方ハソレハ違フ、地方ニ於テ
モ共同審査ヲヤルノデアアル、ソレヲ拒ンダ
ノハ怪シカラス、ソコデ刑事事件ヲ起シタ
以上ハ、日本醫師會ノ通牒ガ誤ツテ居ルカ
ドウカハ兎モ角トシテ、自分ハ責任上現在
ノ地位ニ居ルコトヲ潔シトシナイト、一切
醫師會關係、其ノ他ノ公職ヲ辭シテ、今謹
慎シテ居ルト云フコトデアリマス、而モ事
件ハマダ解決セズ、其ノ儘進行ノ途中デア
ルト云フコトデアリマス、是ハドチラニ責
任ガアルカ分リマセヌガ、斯ウ云フコトガ
アリマスルト、保險醫トシテハ、現在ノ通
リ日本醫師會ト政府トガ契約シテ居ルト云

フコトニ付テハ、可ナリノ不安ヲ感ズル、
ソコデ健康保險ニ付テハ、保險醫協會ト云
フモノヲ作ツテ、政府ガ直接之ヲ指導監督
シテ、醫療ヲヤラセルヤウニシテ貰ヒタイ、
斯ウ云フ問題ガ同時ニ起ツテ參ツテ居ルノ
デアリマス、此ノ件ノ消息、其ノ善後處置
ニ付テモ、此ノ機會ニ御説明ヲ願ヘレバ幸
ヒデゴザイマス

○木村政府委員 健康保險及ビ職員保險等
ノ社會保險ノ醫療內容ヲ向上スルト云フコ
トニ付キマシテハ、全ク同感デアリマシテ、
十分ニ其ノ機能ヲ發揮致シマシテ、社會保
險ノ目的ヲ達成スルヤウニ、今後トモ努メ
テ行キタイト思ツテ居リマス、而シテ其ノ
爲ニハ、先ヅ開業醫ガ殆ド全部保險醫ニナ
ルト云フコトガ吾々ノ理想デアリマスルカ
ラ、ソレニ必要ナル措置ハ從來モ執リツツ
アリマスガ、今後モ執ツテ行キタイト思ヒ
マス、最近地方ノ報告ニ依リマシテモ、續
續保險醫ニナツテ居ル者ガアルノデアリマ
ス、特殊ノ事情ノアル、眞ニ已ムヲ得ナイ
者以外ハ、大體保險醫ニナルト云フコトニ
相成リマスレバ、今ノ醫師會ノ外ニ別ニ保
險醫協會ト云フヤウナモノヲ作ルコトハ、
屋上屋ヲ架スルコトニ相成リハシナイカト
云フヤウニ考ヘマス、現在ノ醫師會トノ契
約ナリ、或ハ其ノ契約ノ手續ナリニ付テ不
備ナ點ガアルナラバ、之ヲ改善スルト云フ
コトニシテ、十分被保險者ノ福利ヲ増進セシ
メテ行キタイ、又保險醫ニ對スル金ノ支拂、
療養費ノ支拂等ニ付キマシテモ、迅速ニ行
クヤウニセネバナラスト云フヤウニ考ヘテ
居リマス

共同審査ニ依ツテ起キタル派生的ナル問
題ニ付キマシテハ、私最近着任致シマシタ

被保險者ガ所謂團體自由選擇即チ自分ノ掛
リタイト云フ醫者ヲ自由ニ選ンデ治療ヲ受
ケルコトガ出來マセヌ、其ノ爲ニ被保險者
ノ居住地附近ニ開業醫ガアツテモ保險醫ト
シテノ診療ヲナシマセヌ爲ニ、被保險者ハ
已ムヲ得ズ自費ヲ以テ診療ヲ受ケテ居ルヤ
ウナ状態デアリマス、而モ一般社會ノ情勢
ト云フモノハ健康保險醫ノ診療ハ一段低級
ノモノデアルカノ如ク之ヲ考ヘマシテ、被
保險者、事業主並ニ保險醫共々不平不滿ヲ
懸ヘテ居ルノデアリマス、是等ハ主トシテ
診療費ノ適切デナイコトニ依ルノデアリマ
スルカラ、其ノ診療費ノ適切ヲ圖ツテ全國
ノ總テノ開業醫ガ之ヲ擔當スルコトノ出來
ルヤウニスルコトガ必要デアリマス、若シ
ソレガ出來ナイナラバ醫師會ト離レテ別ニ
健康保險醫ノ協會ヲ設立シテ、政府ガ健康
保險ニ關スル限リ此ノ團體ヲ指導シテ健康
保險ノ診療ニ當ルヤウニト云フコトガ趣旨
デアリマス、斯様ニシテ被保險者ノ福祉ノ
増進ト産業ノ振興トニ貢獻スルコトノ出來
ルヤウニシタイト云フノガ此ノ請願ノ要旨
デゴザイマス、何卒御採擇アラントヲ希
望致シマス尙ホ此ノ事ニ關聯シテ、非常ニ
重大ナ問題トシテ、此ノ機會ニ政府當局ニ
伺ヒタイト思ヒマスノハ、健康保險ノ醫療
ノ點數査定ト云フコトガ、從來ハ醫師會ダ
ケデヤツテ居ツタノデアリマスガ、昨年カ
ラハ政府當局ト醫師會トガ共同審査ヲスル
ト云フコトニナリマシタ、所ガ之ニ對シマ
シテ、保險院ハ地方廳ニ向ツテ、本年カラ
健康保險ノ審査ハ共同審査ヲスルコトニナ
ツタカラ、地方モ其ノ積リデアルヤウニト
云フ通牒ヲ出サレタ、然ルニ日本醫師會ノ
方デハ、此ノ共同審査ト云フコトハ日本醫

師會ト保險院ダケノコトデアツテ、地方ニ
ハ適用ガナイ、隨テ若シ地方ノ醫師會ニ對
シテ地方廳カラ共同審査ヲ言ツテ來タ場合
ニハ、ソレハ斷ルコトモ自由デアルト云
フ意味ノ通牒ヲ出シマシタ爲ニ、茲ニ洵ニ
悲シムベキ問題ガ起ツタノデアリマス、ソ
レハ香川縣醫師會ノ健康保險部長デアル森
岡雄太郎ト云フ人ガ、健康保險ノ審査ハ自
分ガ主ニナツテヤツテ居リマシタ處ヘ、
縣廳ノ方カラ、保險院ノ通牒ニ依リマシ
テ、共同審査ニ出張シテ參ツタ、ソコデ森
岡保險部長ハ、日本醫師會ノ通牒ニ基イテ、
共同審査ハ中央ニ於ケル保險院ト日本醫
師會トノ間ノコトデアツテ、地方ニ於テハ
適用ガナイ、一緒ニヤツテモ、ソレハ自由
デアルト云フ通牒ガ來テ居ルカラト云フノ
デ、共同審査ヲ拒ンダ、其ノ結果縣ノ方デ
ハ、公務執行ヲ妨害スルノハ怪シカラスト
云ツテ、慥カ公務執行妨害ノ刑事事件ヲ起
シタ爲メ、森岡醫師ハ非常ナ苦シイ立場ニ
立ツニ至ツタ、成程森岡醫師トシテハ、日
本醫師會ノ指令ノ通りヤツタノデアアルケ
レドモ、縣廳ノ方ハソレハ違フ、地方ニ於テ
モ共同審査ヲヤルノデアアル、ソレヲ拒ンダ
ノハ怪シカラス、ソコデ刑事事件ヲ起シタ
以上ハ、日本醫師會ノ通牒ガ誤ツテ居ルカ
ドウカハ兎モ角トシテ、自分ハ責任上現在
ノ地位ニ居ルコトヲ潔シトシナイト、一切
醫師會關係、其ノ他ノ公職ヲ辭シテ、今謹
慎シテ居ルト云フコトデアリマス、而モ事
件ハマダ解決セズ、其ノ儘進行ノ途中デア
ルト云フコトデアリマス、是ハドチラニ責
任ガアルカ分リマセヌガ、斯ウ云フコトガ
アリマスルト、保險醫トシテハ、現在ノ通
リ日本醫師會ト政府トガ契約シテ居ルト云

フコトニ付テハ、可ナリノ不安ヲ感ズル、
ソコデ健康保險ニ付テハ、保險醫協會ト云
フモノヲ作ツテ、政府ガ直接之ヲ指導監督
シテ、醫療ヲヤラセルヤウニシテ貰ヒタイ、
斯ウ云フ問題ガ同時ニ起ツテ參ツテ居ルノ
デアリマス、此ノ件ノ消息、其ノ善後處置
ニ付テモ、此ノ機會ニ御説明ヲ願ヘレバ幸
ヒデゴザイマス

○土屋清三郎君 今ノ共同審査ノ問題デア
リマスガ、サウ致シマスト保險院ノ方ノ御
考ヘハ、アレハ日本醫師會ト保險院バカリ
デナク、地方ニ於テモヤハリ共同審査ヲス
ルモノデアルト云フ風ニ御諒解デアリマス
カ、若シサウデアルトスルト、其ノ旨日本
醫師會ニ對シテハツキリアタノ方カラ御
命令ニナツテ、地方ニ於テ再ビ斯ウ云フコ
トノ繰返サレナイヤウニ御願ヒヲ致シタイ
ノデアリマス、尙ホ今ノ御説明ノ中ニ、將
來ハ特別ノ事情ノナイ限リハ保險醫タルコ
トヲ希望スル者ガアレバラスト云フコト
デアリマスルガ、サウ致シマスト、現在開
業シマシテカラ三箇月經タナイト、一般ノ
治療ハシテモ、保險醫ヲヤラセル資格ガナ
イト云フ風ニ日本醫師會ノ方デ取扱ツテ居
リマスガ、是モ止メマシテ、開業ト同時ニ
保險醫ヲ志願スレバ、特別ノ理由ノナイ限
リハ、ヤハリ同時ニ之ヲ認メルト云フ御趣
旨ニ承知致シテ宜シウゴザイマスガ、若シ
サウデアレバ、是亦其ノ通り日本醫師會ニ
對シテ御命令致シテ然ルベシト考ヘルノデ
アリマスガ、其ノ點ハ如何デゴザイマスガ
マシテ、誤解ヲ生ジナイヤウニ致スコトニ
付キマシテハ、全然同感デアリマス、第二
點ノ三箇月ノ猶豫期間ノ問題ニ付キマシテ

共同審査ニ依ツテ起キタル派生的ナル問
題ニ付キマシテハ、私最近着任致シマシタ

被保險者ガ所謂團體自由選擇即チ自分ノ掛
リタイト云フ醫者ヲ自由ニ選ンデ治療ヲ受
ケルコトガ出來マセヌ、其ノ爲ニ被保險者
ノ居住地附近ニ開業醫ガアツテモ保險醫ト
シテノ診療ヲナシマセヌ爲ニ、被保險者ハ
已ムヲ得ズ自費ヲ以テ診療ヲ受ケテ居ルヤ
ウナ状態デアリマス、而モ一般社會ノ情勢
ト云フモノハ健康保險醫ノ診療ハ一段低級
ノモノデアルカノ如ク之ヲ考ヘマシテ、被
保險者、事業主並ニ保險醫共々不平不滿ヲ
懸ヘテ居ルノデアリマス、是等ハ主トシテ
診療費ノ適切デナイコトニ依ルノデアリマ
スルカラ、其ノ診療費ノ適切ヲ圖ツテ全國
ノ總テノ開業醫ガ之ヲ擔當スルコトノ出來
ルヤウニスルコトガ必要デアリマス、若シ
ソレガ出來ナイナラバ醫師會ト離レテ別ニ
健康保險醫ノ協會ヲ設立シテ、政府ガ健康
保險ニ關スル限リ此ノ團體ヲ指導シテ健康
保險ノ診療ニ當ルヤウニト云フコトガ趣旨
デアリマス、斯様ニシテ被保險者ノ福祉ノ
増進ト産業ノ振興トニ貢獻スルコトノ出來
ルヤウニシタイト云フノガ此ノ請願ノ要旨
デゴザイマス、何卒御採擇アラントヲ希
望致シマス尙ホ此ノ事ニ關聯シテ、非常ニ
重大ナ問題トシテ、此ノ機會ニ政府當局ニ
伺ヒタイト思ヒマスノハ、健康保險ノ醫療
ノ點數査定ト云フコトガ、從來ハ醫師會ダ
ケデヤツテ居ツタノデアリマスガ、昨年カ
ラハ政府當局ト醫師會トガ共同審査ヲスル
ト云フコトニナリマシタ、所ガ之ニ對シマ
シテ、保險院ハ地方廳ニ向ツテ、本年カラ
健康保險ノ審査ハ共同審査ヲスルコトニナ
ツタカラ、地方モ其ノ積リデアルヤウニト
云フ通牒ヲ出サレタ、然ルニ日本醫師會ノ
方デハ、此ノ共同審査ト云フコトハ日本醫

師會ト保險院ダケノコトデアツテ、地方ニ
ハ適用ガナイ、隨テ若シ地方ノ醫師會ニ對
シテ地方廳カラ共同審査ヲ言ツテ來タ場合
ニハ、ソレハ斷ルコトモ自由デアルト云
フ意味ノ通牒ヲ出シマシタ爲ニ、茲ニ洵ニ
悲シムベキ問題ガ起ツタノデアリマス、ソ
レハ香川縣醫師會ノ健康保險部長デアル森
岡雄太郎ト云フ人ガ、健康保險ノ審査ハ自
分ガ主ニナツテヤツテ居リマシタ處ヘ、
縣廳ノ方カラ、保險院ノ通牒ニ依リマシ
テ、共同審査ニ出張シテ參ツタ、ソコデ森
岡保險部長ハ、日本醫師會ノ通牒ニ基イテ、
共同審査ハ中央ニ於ケル保險院ト日本醫
師會トノ間ノコトデアツテ、地方ニ於テハ
適用ガナイ、一緒ニヤツテモ、ソレハ自由
デアルト云フ通牒ガ來テ居ルカラト云フノ
デ、共同審査ヲ拒ンダ、其ノ結果縣ノ方デ
ハ、公務執行ヲ妨害スルノハ怪シカラスト
云ツテ、慥カ公務執行妨害ノ刑事事件ヲ起
シタ爲メ、森岡醫師ハ非常ナ苦シイ立場ニ
立ツニ至ツタ、成程森岡醫師トシテハ、日
本醫師會ノ指令ノ通りヤツタノデアアルケ
レドモ、縣廳ノ方ハソレハ違フ、地方ニ於テ
モ共同審査ヲヤルノデアアル、ソレヲ拒ンダ
ノハ怪シカラス、ソコデ刑事事件ヲ起シタ
以上ハ、日本醫師會ノ通牒ガ誤ツテ居ルカ
ドウカハ兎モ角トシテ、自分ハ責任上現在
ノ地位ニ居ルコトヲ潔シトシナイト、一切
醫師會關係、其ノ他ノ公職ヲ辭シテ、今謹
慎シテ居ルト云フコトデアリマス、而モ事
件ハマダ解決セズ、其ノ儘進行ノ途中デア
ルト云フコトデアリマス、是ハドチラニ責
任ガアルカ分リマセヌガ、斯ウ云フコトガ
アリマスルト、保險醫トシテハ、現在ノ通
リ日本醫師會ト政府トガ契約シテ居ルト云

フコトニ付テハ、可ナリノ不安ヲ感ズル、
ソコデ健康保險ニ付テハ、保險醫協會ト云
フモノヲ作ツテ、政府ガ直接之ヲ指導監督
シテ、醫療ヲヤラセルヤウニシテ貰ヒタイ、
斯ウ云フ問題ガ同時ニ起ツテ參ツテ居ルノ
デアリマス、此ノ件ノ消息、其ノ善後處置
ニ付テモ、此ノ機會ニ御説明ヲ願ヘレバ幸
ヒデゴザイマス

○木村政府委員 第一點ノ共同審査ニ關シ
マシテ、誤解ヲ生ジナイヤウニ致スコトニ
付キマシテハ、全然同感デアリマス、第二
點ノ三箇月ノ猶豫期間ノ問題ニ付キマシテ

共同審査ニ依ツテ起キタル派生的ナル問
題ニ付キマシテハ、私最近着任致シマシタ

被保險者ガ所謂團體自由選擇即チ自分ノ掛
リタイト云フ醫者ヲ自由ニ選ンデ治療ヲ受
ケルコトガ出來マセヌ、其ノ爲ニ被保險者
ノ居住地附近ニ開業醫ガアツテモ保險醫ト
シテノ診療ヲナシマセヌ爲ニ、被保險者ハ
已ムヲ得ズ自費ヲ以テ診療ヲ受ケテ居ルヤ
ウナ状態デアリマス、而モ一般社會ノ情勢
ト云フモノハ健康保險醫ノ診療ハ一段低級
ノモノデアルカノ如ク之ヲ考ヘマシテ、被
保險者、事業主並ニ保險醫共々不平不滿ヲ
懸ヘテ居ルノデアリマス、是等ハ主トシテ
診療費ノ適切デナイコトニ依ルノデアリマ
スルカラ、其ノ診療費ノ適切ヲ圖ツテ全國
ノ總テノ開業醫ガ之ヲ擔當スルコトノ出來
ルヤウニスルコトガ必要デアリマス、若シ
ソレガ出來ナイナラバ醫師會ト離レテ別ニ
健康保險醫ノ協會ヲ設立シテ、政府ガ健康
保險ニ關スル限リ此ノ團體ヲ指導シテ健康
保險ノ診療ニ當ルヤウニト云フコトガ趣旨
デアリマス、斯様ニシテ被保險者ノ福祉ノ
増進ト産業ノ振興トニ貢獻スルコトノ出來
ルヤウニシタイト云フノガ此ノ請願ノ要旨
デゴザイマス、何卒御採擇アラントヲ希
望致シマス尙ホ此ノ事ニ關聯シテ、非常ニ
重大ナ問題トシテ、此ノ機會ニ政府當局ニ
伺ヒタイト思ヒマスノハ、健康保險ノ醫療
ノ點數査定ト云フコトガ、從來ハ醫師會ダ
ケデヤツテ居ツタノデアリマスガ、昨年カ
ラハ政府當局ト醫師會トガ共同審査ヲスル
ト云フコトニナリマシタ、所ガ之ニ對シマ
シテ、保險院ハ地方廳ニ向ツテ、本年カラ
健康保險ノ審査ハ共同審査ヲスルコトニナ
ツタカラ、地方モ其ノ積リデアルヤウニト
云フ通牒ヲ出サレタ、然ルニ日本醫師會ノ
方デハ、此ノ共同審査ト云フコトハ日本醫

師會ト保險院ダケノコトデアツテ、地方ニ
ハ適用ガナイ、隨テ若シ地方ノ醫師會ニ對
シテ地方廳カラ共同審査ヲ言ツテ來タ場合
ニハ、ソレハ斷ルコトモ自由デアルト云
フ意味ノ通牒ヲ出シマシタ爲ニ、茲ニ洵ニ
悲シムベキ問題ガ起ツタノデアリマス、ソ
レハ香川縣醫師會ノ健康保險部長デアル森
岡雄太郎ト云フ人ガ、健康保險ノ審査ハ自
分ガ主ニナツテヤツテ居リマシタ處ヘ、
縣廳ノ方カラ、保險院ノ通牒ニ依リマシ
テ、共同審査ニ出張シテ參ツタ、ソコデ森
岡保險部長ハ、日本醫師會ノ通牒ニ基イテ、
共同審査ハ中央ニ於ケル保險院ト日本醫
師會トノ間ノコトデアツテ、地方ニ於テハ
適用ガナイ、一緒ニヤツテモ、ソレハ自由
デアルト云フ通牒ガ來テ居ルカラト云フノ
デ、共同審査ヲ拒ンダ、其ノ結果縣ノ方デ
ハ、公務執行ヲ妨害スルノハ怪シカラスト
云ツテ、慥カ公務執行妨害ノ刑事事件ヲ起
シタ爲メ、森岡醫師ハ非常ナ苦シイ立場ニ
立ツニ至ツタ、成程森岡醫師トシテハ、日
本醫師會ノ指令ノ通りヤツタノデアアルケ
レドモ、縣廳ノ方ハソレハ違フ、地方ニ於テ
モ共同審査ヲヤルノデアアル、ソレヲ拒ンダ
ノハ怪シカラス、ソコデ刑事事件ヲ起シタ
以上ハ、日本醫師會ノ通牒ガ誤ツテ居ルカ
ドウカハ兎モ角トシテ、自分ハ責任上現在
ノ地位ニ居ルコトヲ潔シトシナイト、一切
醫師會關係、其ノ他ノ公職ヲ辭シテ、今謹
慎シテ居ルト云フコトデアリマス、而モ事
件ハマダ解決セズ、其ノ儘進行ノ途中デア
ルト云フコトデアリマス、是ハドチラニ責
任ガアルカ分リマセヌガ、斯ウ云フコトガ
アリマスルト、保險醫トシテハ、現在ノ通
リ日本醫師會ト政府トガ契約シテ居ルト云

フコトニ付テハ、可ナリノ不安ヲ感ズル、
ソコデ健康保險ニ付テハ、保險醫協會ト云
フモノヲ作ツテ、政府ガ直接之ヲ指導監督
シテ、醫療ヲヤラセルヤウニシテ貰ヒタイ、
斯ウ云フ問題ガ同時ニ起ツテ參ツテ居ルノ
デアリマス、此ノ件ノ消息、其ノ善後處置
ニ付テモ、此ノ機會ニ御説明ヲ願ヘレバ幸
ヒデゴザイマス

○木村政府委員 第一點ノ共同審査ニ關シ
マシテ、誤解ヲ生ジナイヤウニ致スコトニ
付キマシテハ、全然同感デアリマス、第二
點ノ三箇月ノ猶豫期間ノ問題ニ付キマシテ

共同審査ニ依ツテ起キタル派生的ナル問
題ニ付キマシテハ、私最近着任致シマシタ

ハ、其ノ三箇月ヲ置イタ事由ニ付テ檢討シ
マシテ、ソレガ徒ニ先程私ガ申上ゲタ趣旨
ニ反スルモノナラバ止メタイト思ヒマスガ、
趣旨ニ反シナイモノデアルナラバ——特
別ノ他ニ相當理由ガアルモノト致シマスナ
ラバ、其ノ程度ノ制限ナラバサシテ不都合
ハナイノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リ
マス

○坂東委員 本請願ハ政府ノ答辯ノ通りニ
醫師會以外ニ設ケントスルモノデ、多少屋
上屋ノ嫌ヒハアリマスガ、併シ形式的ニ多
少ノ理由モアリマスカラ、更ニ政府ノ御考
ヘテ願フト云フ意味デ採擇ヲ願ヒマス

○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○加藤委員長 採擇ニ決シマス

○加藤委員長 日程第五、北海道舊土人溫
泉療養所設置ニ關スル請願、文書表第四三
三號——紹介議員松尾孝之君

○松尾孝之君 此ノ請願ハ北海道ニ於ケル
舊土人即チアイヌ民族ノ疾病療養施設ニ付
テハ、現在特別ニ見ルベキ施設ガナイノデ
アリマス、昭和十二年六月ニ舊土人療院ガ
廢止サレマシテ、彼等ハ醫療ニ關シテ多大
ノ不便ヲ感ジツツアルノデアリマス、北海
道ニハ療養ニ適セル溫泉ガ澤山アリマスガ、
舊土人ハ資力ガナイ爲ニ醫者ニモ掛レナイ
或ハ溫泉療養ヲスルコトモ容易デナイト云
フヤウナモノガ多數アルノデ、仍テ政府ハ
北海道ニ溫泉ヲ利用シテ舊土人溫泉療養所
ヲ設置セラレタイト云フノガ請願ノ趣旨デ
アリマス、是ハ每議會請願シテ採擇ニナツ
テ居リマスガ、未ダニ其ノ實現ヲ見ナイノ
デ、茲ニ重ネテ請願ヲ出シタ次第デアリマ

ス、溫泉療法ガ治療或ハ保健増進ノ上ニ效
果ノアルコトハ事實ガ證明シ、一般ノ定説
トナツテ居リマス、又北海道ニ於テ登別溫
泉其ノ他澤山アリマスガ、特ニ登別ノ溫泉
ハ其ノ點ニハ特段ノ效果ガアルト云フコト
デ、舊土人ハ此ノ溫泉ニ行ツテ、サウシテ
療養シタイケレドモ、悲シイコトニハ一般
ノ和人ガ兎角是ト混浴スルコトヲ望マナイ
ト云フヤウナ狀態デ、彼等舊土人ノ人々ハ洵
ニ氣ノ毒ナ狀態デアリマス、ドウカ斯ウ云
フ民族ノ爲ニ、所謂一視同仁ニ見テヤルト
云フコトガ最モ必要デハナイカト思ヒマス
斯ウ云フ意味デ此ノ場合厚生省ナリ、北海
道廳ナリハ、特ニ此ノ民族ノ爲ニ同情ヲ寄
セラレテ、サウシテ一日モ速カニ彼等ノ希望
ヲ達シ得ルヤウニ御願ヒシテ已マナイノデ
アリマス、此ノ場合政府ノ御所見ヲ御聽キ
シテ、速カニ實現スルヤウニ御採擇ヲ御願
ヒ致シマス

○熊谷政府委員 御答ヘ申上ゲマス、此ノ
請願ハ第七十四議會會カラ同様ノ趣旨ノ請願
ガ出テ居ルノデアリマス、其ノ後慎重ニ考
慮ヲ致シテ居リマス、北海道舊土人ノ救療
ニ關シマシテハ、大正八年ニ舊土人ノ爲ニ
四箇所ノ特別病院ガ設ケラレタノデアリマ
スガ、政府ノ執ツテ居リマスル同化政策ト
言ヒマスガ、舊土人ノ爲ニ特別ノ病院ヲ作
ルト云フコトガ、同化政策上面白クナイ點
モ見受ケタノデアリマス、又舊土人ノ數ハ
御承知ノヤウニ一萬六千人居リマシテ、北
海道全土ニ散在シテ居リマス、然ルニ四箇
所ノ特別病院デアリマス爲ニ、ソレヲ利用
シ得ル者ハ非常ニ便利デアリマスガ、利用
シ得ナイ者ニ付キマシテハ、非常ニ權衡ヲ
失スルト云フヤウナ點モゴザイマシテ、此

ノ特殊病院ヲ廢止致シマシテ、成ベク多數
ノ舊土人ガ救療ヲ受ケ得ルヤウニ各地ニ救
療所ト云フモノヲ設ケマシテ、開業醫ニ其
ノ救療ヲ囑託シテアルノデアリマス、其ノ
數ガ二百二十六箇所デアリマシテ、相當ノ
救療費モ計上シテアルヤウナ譯デアリマス
只今請願ニナリマシタ溫泉療養所ノ點ニ付
キマシテハ、只今ノ特殊病院ノ經過ニ付テ
述ベマシタト同様ニ、數ガ少ナケレバ色々
均衡ヲ失スル點モアリマスルシ、又舊土人
ガ各地ニ散在シテ居リマス結果、造ルトシ
テモ非常ニ澤山ノ溫泉療養所ヲ作ラナケレ
バナラヌト云フコトニモナリマス、又一萬
六千人ノ極ク少數ノ舊土人ニ、多數ノ溫泉
療養所ヲ造ルト云フコトハ、經費ノ關係モ
アリマス、隨ヒマシテ尙ホ能ク慎重ニ考ヘ
タイト存ジテ居リマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○加藤委員長 採擇ニ決シマス——是ニテ
厚生省所管ノ議事日程ハ終了致シマシタ

○加藤委員長 次ハ農林省所管ニ移リマス
日程第一、北信地方ニ生絲検査所設置ノ
請願、請願文書表第三八五號——紹介議員
羽田武嗣郎君

○坂東委員 代ツテ紹介致シマス、農林省
ハ昭和十六年度ニ於テ國立生絲検査所ヲ全
國ニ十一箇所設置セラルルヤニ仄聞ス、我
ガ國第一位ノ產繭國タル長野縣ハ、地勢上
南信、北信ニ分レ、交通經濟關係等ニ於テ
各「ブロック」的事情ニアリ、而シテ北信地
方ニハ現在二萬九千四百餘條ノ生絲產出量
アルニ鑑ミ、前記國立生絲検査所ノ一ヲ北

信地方ニ設置セラレタイト云フ要望デアリ
マス、政府ノ御所見ヲ伺ヒマス
○山添説明員 國用生絲ノ検査所ニ付キマ
シテハ、昭和十六年度ニ於キマシテ主ナル
國用生絲ノ生産地並ニ消費地ニ相當箇所ヲ
設置スル豫定デアリマス、將來非常ニ澤山
造ルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、
生絲検査ノ技術ノ統一ヲ期シマス爲ニ、ヤ
ハリサウ方々ニ澤山造ルト云フコトハ不適
當デアラウト思ヒマス、又急速ニ造リマス
關係上、資材ノ關係等モゴザイマスノデ自
然現ニアリマス設備等ヲ中心ニ致シマシテ、
検査ノ施設ヲ擴充スルノガ適當デアラウト
考ヘテ居リマス、此ノ請願ノ北信地方ニ檢
査所ヲ設置スルカ否カニ付キマシテハ、今
申上ゲマシタヤウナ事情ヲ考慮致シマシテ、
全體的ノ見地カラ考慮致シタイト考ヘテ居
ル次第デアリマス

○坂東委員 十分御研究ヲ願フ意味デ採擇
ヲ願ヒマス
○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○加藤委員長 採擇ニ決シマス、是ニテ農
林省所管ノ議事日程ハ終了致シマシタ

○加藤委員長 次ハ内務省所管ニ移リマス
日程第一、高松港修築費國庫補助ニ關ス
ル請願、文書表第二〇〇號——紹介議員藤
本捨助君

○藤本捨助君 本請願ノ趣旨ハ、過グル第
七十四、第七十五議會ニ於キマシテモ滿場
一致御採擇ノ榮ニ浴シ、政府當局ニ於カレ
マシテモ其ノ都度國庫ノ都合ノ付ク限り出
來ルダケ早く、出來ルダケ多ク助成スルト
ノ御言明ヲ致サレテ居ルノデアリマス、然

ルニ今又重ネテ請願ニ及ビマシタ次第ニ付
キマシテハ、既ニ提出致シテ置キマシタ請
願書ニ明示致シタルノデアリマスガ、要
スルニ一言以テ之ヲ掩ヒマスナラバ、高松
港ガ現有スル諸設備ヲ以テシマシテハ、時
局下ニ於テ要請セラルル重要使命ヲ到底圓
滑ニ達成シ得ナイカラデアリマス、即チ高
松港ガ第二種重要港灣ノ一ニ屬シ、而シテ
四國ノ玄關トシテ、本土其ノ他トノ海陸ヲ
連絡スル要津デアリマスコトハ今更申スマ
デモアリマセスガ、今次事變勃發以來海陸
貨客ノ輻湊ハ益々激甚ヲ加ヘ、又臨港地帯ニ
於テモ、長期大消耗戰ヲ契機ト致シマシテ、
軍需、民需ノ諸産業ノ發達ヲ見マシタノデ、
現在ノ輸送力及ビ現在ニ於ケル高松港ノ港
域、水深其ノ他ノ設備ヲ以テシマシテハ、
此處ニ輻湊スル貨客ノ吞吐集散等ノ使命達
成ニ對シ重大ナル支障ヲ加ヘルニ至ツタノ
デアリマス、隨ヒマシテ鐵道省ハ先ヅ昭和
十四年度ヨリ昭和十六年度マデノ三年計畫
ニ依リ數百萬圓ノ國費ヲ投ジマシテ、高松、
宇野間ノ貨客輸送ノ爲ニ大型汽船ヲ就航セ
シムルコトニ決シ、而シテ近ク其ノ竣
成ヲ見ント致シテ居ルノデアリマス、
併シ之ヲ吞吐スル高松港ノ港域水深其ノ他
ノ設備ガ現在ノ儘ニ放置セラレマスナラ
バ、折角此ノ計畫モ到底圓滑ニ運營シ得ナ
イノデアリマス、即チ何ト致シマシテモ、
此ノ計畫ニ並行シ協力致シマシテ、是ト
密接不可離ノ他ノ計畫タル港域、水深
其ノ他諸設備ノ擴張改良等ノ綜合的計
畫ヲ實現致スナケレバ跛行の計畫トナリ
マシテ、其ノ效率ヲ著シク減殺セザルヲ
得ナイノデアリマス、故ニ地元當局ト致
シマシテハ、此ノ間ノ事情ニ徴シマシ

テ、夙ニ銳意周到ナル調査研究ヲ遂ゲ、茲
ニ高松港ノ修築計畫ヲ樹立致シ、其ノ實現
ノ日ヲ庶幾致シテ居ルノデアリマス、併シ
何分ニモ多額ノ經費ヲ要シマスノデ、今ニ
之ニ着手シ得ナイ狀態ニアルノデアリマス、
斯クノ如キハ高松港ガ事變下ニ於テ四國ヲ
本土並ニ其ノ他ニ連結セシムル要衝トシテ
有スル重責ト、聖戰下ニ於ケル國土防衛上
國家的施設ノ偏在ト跛行トハ是正シ、而シ
テ其ノ國土計畫ニ基ク立地的配分ノ急務ナ
ルコトト、更ニハ香川縣否四國全體ガ從來
他ノ地方ニ比シ、産業ニ於テ、地方資源ノ
開發等ニ於テ遜色アリト見ラルルガ如キモ
結局ハ當地方ニ良キ港灣ノナキコトニ起因
セルコト等ヲ併セ考ヘマスル時ニ、洵ニ遺
憾ニ堪ヘナイ次第デアリマス、本請願ノ趣
旨ト致シマス所ハ以上ニ盡クルノデアリマ
スガ、委員各位並ニ御當局ニ於カレマシテ
ハ、何卒高松港ノ此ノ窮狀ト、時局下ニ於
テ特ニ重加サレマシタル使命トニ付キ御賢
察ヲ仰ギ、重ネテ御採擇ノ榮ヲ賜ハリ、而
シテ速カニ其ノ實現ニ對シ、御善處ヲ懇願
要望シテ已マナイ次第デアリマス

○飯沼政府委員 高松港ハ會テ國庫補助ノ
下ニ修築工事ヲ實行致シマシテ、昭和三年
ニ一應竣功致シタルデアリマスガ、其ノ後
御話ノ通り港勢ノ發展ト申シマスガ、非常ナ
勢デアアルコトハ只今御述べニナリマシタ通
リデアアルト考ヘテ居リマス、到底現在ノ港
域或ハ設備ヲ以テシテハ不足デアアルト云フ
コトハ當局ニ於キマシテモ十分認メテ居ル
ノデアリマス、將來國庫ノ財政ノ許シマス
限り縣ノ方トモ能ク相談ヲ致シマシテ只今
御話ノアリマシタ御趣旨ニ副ヒタイト考ヘ
テ居リマス、ドウゾ左様ニ御諒承ヲ願ヒマ
ス

○坂東委員 採擇ヲ望ミマス

○加藤委員長 採擇御異議アリマセスガ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員長 採擇ニ決シマス

○加藤委員長 日程第二、釜石港ヲ第二種
重要港灣ニ指定其ノ他ノ請願、文書表第三
七一號——紹介議員泉國三郎君

○坂東委員 代ツテ紹介致シマス、岩手縣
釜石港ハ三陸沿岸ニ於ケル重要港ニシテ、
殊ニ釜石製鐵所ノ所在地トシテ開港指定以
來國內取引ハ固ヨリ外國貿易ニ其ノ發展目
覺シキモノアリ、而モ同縣産業經濟ノ中樞
區タル花巻、盛岡方面ト連絡スル鐵道モ
近々開通ニ至ルベク、同港ノ重要性ハ益々
ハリ工商漁港トシテ港灣施設ノ完備ハ急務
トナレリ、仍テ同港ヲ第二種重要港灣ニ指
定ノ上修築セラレンコトヲ要望スル請願デ
アリマスガ、政府ノ御所見ヲ伺ヒマス

○飯沼政府委員 釜石港ヲ第二種重要港灣
ニ指定ヲシテ貴ヒタイト云フ請願デアリマ
ス、申スマデモナク第二種重要港灣ニ指定
スルニ關シマシテハ、入港船舶ノ數デア
ルト力或ハ出入貨物ノ數量ト云フコトバカリ
デナク、其ノ背後地ニ於ケル産業或ハ交通
ノ關係、各般ノ事情ニ付キマシテ調査ヲス
ル必要ガアリマス、此ノ釜石港ヲ第二種重
要港灣ニ指定シテ修築スルト云フコトニ關
シマシテモ、將來適當ノ機會ニ於テ慎重ニ
考究致シタイト思ヒマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセスガ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員長 採擇ニ決シマス

○加藤委員長 日程第三、衣ヶ浦綜合港灣
改良事業實施其ノ他ニ關スル請願、文書表
第三五二號——紹介議員大野一造君

○大野一造君 衣ヶ浦綜合港灣並ニ沿海工
業地帯ノ建設ニ付キマシテノ請願デゴザイ
マシテ、此ノ請願ハ半田市長カラ出テ居ル
ノデアリマスガ、實ハ其ノ港灣ノ沿岸町村
全部ガ同意ヲ致シテ居ルノデアリマス、即
チ武豐町、東浦村、刈谷町、高濱町、新川町、
大濱町、旭村、此ノ一市五町二村ノ共同ニ
依ツテ請願サレタモノデアリマス、其ノ位置
ハ愛知縣ノ中央デアリマスル尾張ト三河ノ
境ノ境川ヲ中心ト致シマシテ二、三ノ川ガ合
流サレテ海ニ入ツテ居ル其ノ港灣デアリマ
ス、既ニ國並ニ縣ノ補助ヲ得テ港ガ出來上
ツテ居ルノガ半田市ノ一部、大濱町、現在
着工致シテ居リマスノガ新川町、武豐町二
港デアリマス、未ダ着工サレナイノガ其ノ
他ノ町村デアリマシテ、現在ノ狀態ニ於キ
マシテハ、各ノ市町村ガ個別ノ立場ニ於テ、
其ノ擴張ヲ計畫シ、工事ヲ始メテ居ルノデ
アリマス、隨テ極メテ不統制ナ、餘分ナ金ガ相
當使ハレテ、利用價值ガ非常ニ少イモノガ
出來上ルノデアリマス、然ルニ此ノ衣ヶ浦港
ハ昔、武豐港ト申シマシテ、貿易港ノ一デア
リマス、天然ノ良港デアアルコトハ御承知ノ
通りデアリマス、ソコデ内務省ガ中心トナ
ツテ戴キマシテ、茲ニ綜合港灣ト云フモノ
ヲ、理想的ニ建設スルコトガ費用ヲ節約
シ、出來上ツテ總テノ港ノ效果ガ十分達セ
ラレル、斯ウ云フヤウナ意味デ御願ヒヲ致
シテ居ルノデアリマス、此ノ地方ハ産業上
極メテ好適ナ地デアリマシテ、其ノ衣ヶ浦
ノ兩岸ハ東ハ碧海郡、西ハ知多郡デアリマ
スガ、知多郡、碧海郡ノ生産高ト云フモノ

ハ、唯一郡ニシテ小縣デアル所ノ島根、島取ノ產額ヨリモ多額ヲ一郡デ出シテ居ルノデアリマスガ、コト十年バカリノ衣ケ浦港ノ移出ノ貿易額ト云フモノハ、名古屋港ノ二分ノ一デアル、日本全國カラ申シマスナラバ、函館ノ次ニ位スルノデアリマシテ相當重要ナル港灣デアルコトハ、事實ガ證明シテ居ルノデスガ、比較的世間ニ知ラレテ居ラナイ事實ガアルノデアリマス、名古屋港ハ人エヲ以テ整備シ、將來永久ニ人エヲ加ヘナケレバ、港ノ價值ガ段々惡クナル、然ルニ衣ケ浦港ハ天然ノ港デアツテ、此處ニ綜合港灣ヲ御考ヘ願ツテ、之ニ依ツテ出來上レバ、將來殆ド永久ニ手ヲ加ヘナクテモ宜イ、斯ウ云フモノデハナカラウカ、現在ニ於キマシテモ一萬「トン」級ノ船ガ數隻入り得ルノデアリマスガ、尙ホ航行ノ上カラ考ヘテ見マス、伊勢海カラ名古屋港ニ入りマスノト、衣ケ浦港ニ入りマスノトハ、距離ガ名古屋港ニ入ル「二」分ノ一デアル、而モ名古屋港ニ入ル船ヨリモ非常ニ航行ガ樂デアルト云フヤウナ點ヲ具ヘテ居リマス、ソコデ此ノ綜合港灣ヲ完成シタ場合ニ於キマシテ、副產物トシテハ即チ綜合港灣ト港灣ノ間ヲ港灣ノ爲ニ掘リマシタル、餘土ヲ以テ埋メマス、茲ニ臨海工業地帯ガ素時ラシク大キク出來ルノデアリマス、ソコデ東ノ方ノ海岸ハ三河鐵道ガ縫ツテ居リマス、西ノ方ノ海岸ハ省線武豐線ガ縫ツテ居リマス、此處ニ陸海共通致シマシタル非常ナ交通上ノ至便ガ得ラレルノデアリマス、此ノ頃農林省アタリデ非常ニヤカマシク言ツテ居リマス工場地帯ノ爲ニ美田ヲ潰スト云フコトハ、我が國食糧問題ノ上カラ甚ダ不利益デアル、隨テ工業地帯ハ山間僻地ニ

ヤツテシマヘト云フコトニナツテ居リマスガ、産業ノ上カラハ交通至便ノ地デナケレバナラナイノデアリマス、其ノ地ヲ得ントスルナラバ美田ヲ廢止シナケレバナラスト云フ場合ニ於キマシテ、此ノ綜合港灣ヲ拵ヘルコトニ依ツテ非常ニ多クノ臨海工業地帯ガ出來マスルコトハ、國家全體ノ上カラ考ヘテ見マシテモ、私ハ二石二鳥ノ利益ガアル、斯様ニ考ヘルノデアリマス、併シナガラ衣ケ浦ト云フモノガ世間一般ノ人ニ知ラレテ居ナイト云フコトハ、陸上交通ノ方カラ見マシテモ海上交通ノ方カラ見マシテモ、此ノ港灣ガ見エナイト云フコトデアリマス、遠州灘ヲ通りマシテモ、渥美半島ニ依ツテ是ガ見エナイ、伊勢海カラ名古屋港ニ入ル汽船カラ見マシテモ、知多半島ニ依ツテ是ガ見エナイ、陸上ノ交通デアリマスル省線カラ見マシテモ、是ハ決シテ見エナイノデアリマス、隨テ世人カラ餘リ認メラレテ居ラナイノデアリマスガ、今日ノ重要産業等ヲサウ云フヤウナ凡ユル交通カラ遮蔽シタ所ニ設ケルコトモ、高度國防國家ノ見地カラ考ヘマシテモ、非常ナ良イ土地デハナイカ、殊ニ食糧問題ノ窮迫シテ居ル時ニハ、斯様ナ施設ヲ一日モ速カニシテ、サウシテ國家全體ノ利益ヲ擧ゲルコト云フコトモ、是ハ捨テ措キ難イコトデアリマス、既ニ愛知縣ニ於キマシテハ縣費ヲ使ヒ、地元各町村カラハ負擔金ヲ出シテ、相當ニ測量、研究ガサレテ居ルノデアリマス、斯様ナ綜合港灣ヲシテ効果ヲ百「パーセント」ナラシメ、尙且ツ附帶副產物トシテ臨海工業地帯ノ出來マスコトヲ、是非内務省ヲ中心トシテ、國家、縣並ニ地元ノ協議ノ上ニ於キマシテ、此ノ事業ヲ速カニ竣工致シタイト云フコトノ請

願デアリマス、此ノ際政府當局ノ御意見ヲ拜聽シ、竝ニ委員各位ノ御贊同ヲ得マシテ、御採擇アランコトヲ切望致ス次第デアリマス

○飯沼政府委員 衣ケ浦灣内ニ於キマシテハ、既ニ半田港デアリマス、武豐港ガアリマシテ、只今モ御話ガゴザイマシタガ、國ガ補助ヲ致シマシテ其ノ重要性ヲ認メテ居ル譯デアリマス、只今御話ガアリマシタ綜合港灣計畫ヲ立テマス、尙又工業地帯ヲ其ノ附近ニ増設スルコトニ付キマシテハ、洵ニ意義ノアル仕事デアルト考ヘマシテ、其ノ計畫ヲ只今考究中デゴザイマス、尙ホ地元縣トモ十分連絡ヲ取りマシテ、計畫ヲ進メテ參リタイト思ヒマス、之ヲ國營事業トスルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、是モ將來考究ヲシテ見ナケレバナラスト思フノデアリマス、計畫ノ具體化ヲ俟チマシテ、其ノ邊決定ヲ致シタイト思ヒマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○加藤委員長 採擇ニ決シマス

○加藤委員長 日程第四、美保灣改稱ニ關スル請願、文書表第三八一號——紹介議員 稻田直道君
○坂東委員 私が代ツテ御説明申上ゲマス、鳥取縣西伯郡境港ハ近時日滿支貿易ノ進展並ニ國防上日本海岸有數ノ良港トシテ益、重要性ヲ加ヘツツアリ、然ルニ同港境界ハ所謂美保灣ノ一部ニ含マレ居ル爲メ、同港出入船舶ハ同灣ノ島根縣ニ屬スル故ヲ以テ種々誤解ヲ生ジ、不利不便少カラザルハ

甚ダ遺憾ナリ、仍テ今後名實共ニ備ハリタル境港ト不可分ノ關係ニアル前記美保灣ヲ境港灣ト改稱セラレ、同港ノ發展ニ資セラレタシト云フノデアリマスガ、政府ノ御所見ヲ御伺ヒ致シマス

○飯沼政府委員 美保灣ヲ境港灣ト改稱シテ貫ヒタイト云フ請願デアリマス、此ノ點ニ付キマシテ將來篤ト考究致シタイト思ヒマス

○坂東委員 研究ヲ願フ故ヲ以テ採擇ヲ希望致シマス
○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○加藤委員長 日程第五、富岡港修築ニ關スル請願、文書表第四六七號——紹介議員 紅露昭君
○川崎(巳)委員 紅露君ニ代ツテ御紹介致シマス、富岡港ハ德島縣ノ東部ニ位シテ、那賀平野ノ中心都市富岡町ニ連ツテ居リマス、那賀川及ビ其ノ支流桑野川ノ河口ニ在ル天然ノ良港デゴザイマス、河口ノ水深ク船舶ノ航行及ビ船溜ニ極ク便利デゴザイマスカラ、昔藩政時代ニハ蜂須賀侯ノ御船内屋、今デ言ヘバ海軍若クハ海運基地トシテ股賑ヲ極メタ所デゴザイマス、四國ノ寶庫タル木頭森林カラ產出シタ木材ヤ那賀川流域ノ天產物ナドガ阪神、和歌山、東海、瀬戸内海、九州等ニ搬出サレルコトニナツテ居リマシテ、明治カラ大正、昭和ニナツテハ石灰、木材、「バラス」其ノ他ノ商工業品ガ澤山此ノ港カラ出ルノデゴザイマスガ、如何ニモ港ガ不整頓デゴザイマス、平生五六十艘ノ船ガ泊ツテ居リ、尙ホ百艘位出入

スルノデゴザイマスガ、此ノ設備ガ整ハナイノデ洵ニ困ツテ居リマス、近ク森林鐵道ヲ利用スルヤウニナルコトデゴザイマセウカラ、ソレト相應ズル爲ニ港内ノ設備ヲモウ少シ完成シタイ、是ハ徳島縣デモ考ヘマスルガ、内務省ニ於テモ一ツ十分御考慮ヲ願ヒタイ、是ハ既ニ四回モ此ノ委員會ヲ通過シテ居ルノデゴザイマスカラ、此ノ際政府委員ノ御意見ヲ承ツテ、且又皆様ノ滿場一致ノ御同情ニ依ツテ採擇ヲ願ヒタイと思ヒマス

○飯沼政府委員 富岡港ニ對シマシテ國ノ方ノ助成ヲト云フ御趣旨デアリマス、國ノ方カラ補助ヲ致シマスニ付キマシテハ、先ヅ富岡港ガ指定港灣ト云フコトニナラナケレバナリマセス、何レ本港ガ指定港灣トナリマシテ、更ニ地元ニ於キマシテ修築工事ヲ計畫シ實行サレマス場合ニ於キマシテ、國ノ方デモ財政ノ關係等ヲ考慮致シマシテ、助成致シタイと思ヒマス

○坂東委員 採擇ヲ希望シマス
○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○加藤委員長 採擇ニ決シマス

○加藤委員長 次ハ日程第六、瀨江川砂防工事施行ニ關スル請願、文書表第三〇三號——紹介議員伊東岩男君

○坂東委員 是モ代ツテ御紹介致シマス、宮崎縣兒湯郡上穗北村大字穗北地内、一瀨川支流瀨江川ハ毎年降雨期ニ於テ氾濫シ、沿岸ノ耕地ヲ崩壊埋没セシメ、其ノ慘害ハ同村字長尾、赤松、平原、竹尾、牛掛ノ各部落ノ田畑十數町歩ニ及ブノ實情ナルヲ以テ、關係部落民ハ是ガ被害防止ニ全力ヲ注ギタ

ルモ、未ダ復舊スルニ至ラズシテ崩壊ニ任セアルハ甚ダ遺憾ニ堪ヘザル所ナリ、仍テ速カニ前記瀨江川砂防工事ヲ施行セラレタシト云フ請願デアリマスルガ、政府ノ御意見ヲ御伺ヒ致シマス

○飯沼政府委員 瀨江川ニ於キマシテハ荒廢ノ實情又原因等ニ付キマシテ篤ト調査ヲ致シマシテ、砂防工事トシテナリ、或ハ又中小河川ノ工事トシテナリ、國庫補助ヲ以チマシテ、成ベク速カニ助成ヲ致シタイと思ヒマス

○坂東委員 速カニ調査ヲ要望シ、採擇ヲ望ミマス
○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○加藤委員長 採擇ニ決シマス

○加藤委員長 日程第七、代書人ヲ行政書士ト改稱ノ請願、文書表第三一二號——紹介議員松尾三藏君

○松尾三藏委員 此ノ請願ハ行政代書人ノ名稱ヲ司法書士同様ナ名稱ニ改正シテ戴キタイト云フ請願デアリマス、元司法代書人モ行政代書人モ全部代書人ト申シテ居リマシタガ、司法代書人ハ先年司法書士ト名稱ガ變ヘラレタノデアリマス、然ルニ行政代書人ハ從前通りデアリマスノデ、到ル處ノ行政代書人ヨリ、吾々モ、代書スル意味ニ於テハ司法書士ト變ツタコトハナイノデ、是非司法書士同様ニ吾々ノ名稱モ改正シテ戴クヤウニ請願ガ願ヒタイト云フヤウナ聲ガ多イノデ、右様ナル請願ヲ致シタノデアリマス、何卒政府當局ニ於カレマシテモ宜シク御認識アル御答辯、尙ホ速カニ實現アランコトヲ御願ヒ致シマシテ、委員諸賢ノ

御賛成アル所ノ御採擇ガ願ヒタイ次第デゴザイマス

○飯沼政府委員 御承知ノ通り代書人ニ付キマシテハ内務省令ノ代書人規則ガ出テ居リマス、將來此ノ規則ヲ改正致シマス場合ニ、十分請願ノ御趣旨ヲ參酌致シタイと思ヒマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○加藤委員長 採擇ニ決シマス

○加藤委員長 次ハ日程第八、小川原沼開發ニ關スル請願、文書表第三五一號——紹介議員小笠原八十美君

○坂東委員 是モ代ツテ御紹介致シマス、青森縣上北郡小川原沼ヨリ太平洋ニ注グ高瀬川ヲ開發改修スルトキハ、同地方ノ融雪及ビ洪水ニ因ル水害ヲ防止スルト共ニ、同郡沖合一帯ハ豐富ナル漁場ナルヲ以テ、理想的ナル避難港ヲ實現スベク漁業者ノ利便甚大ナルノミナラズ、延イテハ東北本線沼崎驛ニテ水陸交通連絡シ、同地方ノ豐富ナル林産、鑛產資源ノ開發竝ニ交通運輸ノ上ニ寄與スル所大ナリト信ズ、仍テ國費ヲ以テ前記高瀬川ヲ開發改修セラレ、小川原沼ノ開發ヲ圖ラレタイト云フノデアリマス、政府ノ御意見ヲ御伺ヒ致シマス

○飯沼政府委員 高瀬川ノ改修、小川原沼ノ開發ニ付キマシテハ、技術ノ方面カラ慎重ニ是ハ調査ヲ期サネバナラス問題デゴザイマス、目下調査中デゴザイマスノデ、其ノ調査ヲ致シマシテ、其ノ必要ガアルト云フコトニナリマスレバ、國庫財政ノ許ス限リ中小河川トシテ助成ヲ致シタイと思ヒマ

ス
○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○加藤委員長 採擇ニ決シマス

○加藤委員長 日程第九、甲子川改修工事繼續施行ニ關スル請願、請願文書表第三七〇號——紹介議員泉國三郎君

○坂東委員 是モ紹介致シマス、岩手縣上閉伊郡甲子村地内ニ源ヲ發シ、東流シテ釜石市ニ入リ、釜石港ニ注グ甲子川ハ、一朝洪水ニ際會スルトキハ氾濫ヲ惹起シ、沿岸住民ノ蒙ル損害甚大ニシテ、特ニ釜石市街ノ重要地域ハ忽チ危險ニ曝サレル狀態ニアリマス、仍テ目下中絶中ノ縣營ニ依ル同川改修工事ヲ繼續施行セシメラレタイト云フノデアリマス、政府ノ御意見ヲ御伺ヒ致シマス

○飯沼政府委員 甲子川筋ノ産業ノ開發、又鑛業ノ擴張ト云フヤウナ見地カラ見マシテ、會テ此ノ川ノ改修ノ必要ヲ生ジマシテ、縣ニ於テ一部改良工事ヲ實施致シタノデアリマスガ、其ノ殘リノ部分ニ付キマシテモ改修ノ必要デアルコトハ、政府ニ於キマシテモ夙ニ認メテ居ル所デアリマス、國ノ財政ノ許ス限リ助成ヲ致シタイト考ヘマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス
○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○加藤委員長 採擇ニ決シマス

○加藤委員長 次ハ日程第一〇、伊井諸神社社號改稱ニ關スル請願、請願文書表第二九一號——紹介議員立川平君

○立川平君 請願ノ趣旨ヲ簡單ニ御紹介申上ダマス、伊弉諾大神ハ長クモ皇祖天照大御神ノ御父尊デアリマシテ、國土ノ修理固成、諸神生成、蒼生化育ノ洪業ヲ畢ヘ給ヒ、御親ヲ淡路多賀ノ靈域ニ幽宮ヲ御造リニナリマシテ、其處ニ永久ニ御鎮座アラセラレタノデアリマス、此ノ事ハ日本書紀、古事記ニ其ノ他ノ文獻ニ依ツテ明カデゴザイマス、伊弉諾尊ノ御神徳ノ廣大無邊デアリマスルコトハ申スマデモゴザイマセス、古事記ニ大御神ト云フ尊稱ヲ用ヒテ居リマスルハ、唯天照大御神ト伊弉諾大神トダケデアリマスルヲ見テモ、其ノ御神功ヲ親ヒ奉ルコトガ出來ルノデアリマス、斯様ナ尊イ神社ヲ他ノ一般國幣神社ト其ノ社號ヲ同ジウシテ稱ヘテ居リマスルコトハ、洵ニ恐懼ニ堪ヘナイト思ヒマス、ドウカ神宮號ノ御宣下ヲ願ヒタイト云フノガ請願ノ趣旨デゴザイマス、蓋シ御神徳ヲ闡明シ、以テ國民ヲシテ敬神崇祖ノ念ヲ愈、厚カラシムル所以デアルト信ズルノデアリマス、此ノ際政府ノ御意見ヲ伺ヒ、委員會ノ御採擇ヲ願ヒタイト存ジマス

○飯沼政府委員 官幣大社伊弉諾神社ハ、只今モ仰セニナリマシタ通り洵ニ尊イ神社デゴザイマス、延喜ノ制度ニ於キマシテモ、明神大社ニ列シテオイデニナリマス、又後ニ一宮トナリマシタ尊貴ナ神社デアリマスコトハ、只今御話ノ通りデアリマス、唯此ノ御社號ヲ神宮ト申上ゲルコトニ付キマシテハ、慎重ニ考究ヲ致サナケレバナラスノデアリマス、既ニ延喜式ニ於キマシテモ、此ノ神社ハ淡路伊佐奈岐神社ト申上ゲテ居ルノデアリマシテ、是マデ嘗テ公ケニ神宮號ヲ申上ゲタコトガナイ御宮デゴザイマス、

隨テ今日之ヲ改メテ神宮ト申上ゲルコトニ付キマシテハ、餘程慎重ニ考慮ヲ要スルト考ヘマス、請願ノ趣旨ニ付キマシテハ左様ナ次第デアリマスノデ、十分ニ考慮ヲ致シタイモノト考ヘマス

○立川平君 此ノ請願ノ趣旨ハ是マデ再三當局ニモ、色々ナ形式デ陳情シタコトデアルト思ヒマス、漏レ承ルト從來ノ慣例ニ依ツテ、此ノコトガ行ハレナカウタヤウニ承ルノデアリマス、其ノ慣例モ必ズシモ絶對的ノ原則ガアルト云フ譯デモナイヤウナ實情デアリマス、先般神社局ガ昇格シテ神社院トナラレタコト云フコトハ、思フニ此ノ際神社ニ對スル考察ト云フモノヲ改メテ、根本的ニ再檢討シヨウト云フヤウナ御趣意、殊ニ時局柄此ノコトハ重大ニ考ヘテ居ラレル政府ノ方針デアラウト考ヘマス、ドウカ其ノ意味ニ於テ從來ノ慣例ニ因ハレナイデ、根本的ニ再檢討ヲ願ツテ、請願ノ趣旨ガ立チマシヤウニ、重ネテ御願ヒスル次第デゴザイマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員長 採擇ニ決シマス

○加藤委員長 次ハ日程第一、出雲大社造營ニ關スル請願、文書表第三〇〇號——紹介議員高橋圓三郎君

○高橋圓三郎君 本請願ハ初メテノ請願デアリマスガ、出雲大社ノ御祭神デアアル大國主尊ガ、我が國ノ皇祖ノ御偉業ヲ助ケラレマシテ、夙ニ我が國土ノ經營或ハ濟世治民ノ大任ヲ完ウセラレ、我が國ノ肇國ノ大イナル基礎ヲ築カレタ尊イ神様デアアルコトハ、

私ガ此處デ改メテ申上ゲルマデモナイ所デアリマス、隨テ日本全國ニ出雲大社ト云フモノニ對スル國民ノ崇敬ノ念ガ、非常ニ一般的ニ普及致シ、且ツ盛シナ信仰ガアルノデアリマス、國民大衆ノ信仰ノ上カラ見マシテモ、極メテ大キナ意味ヲ持つテ居ル神社デアリマス、所ガ此ノ出雲大社ノ現在ノ社殿ハ、明治十四年ニ御修理ガ行ハレマシテ、丁度今年ハ髓カ六十二年ノ式年ニ當ルト思フノデアリマスガ、現在ノ神社ノ實情ヲ見マスト、六十年ノ間風雨ニ餐蝕サレマシテ、尊イ國寶建造物デアアル所ノ各社殿ガ、非常ニ腐朽荒廢致シテ居ルノデアリマス、其ノ狀態ハ私共屢、親シク之ヲ拜觀致シマシテ、全ク恐懼ノ念ニ堪ヘナイヤウナ有様デアリマス、御屋根ノ御中ニ到ル處鳩ガ澤山巢ヲ造ツテ居ルト云フヤウナコトデアリマシテ、又周圍ノ垣ノヤウナモノモ腐朽致シマシテ、或ル所ハ既ニ破壊サレテ居ルト云フヤウナ場所モアルノデアリマス、私共ガサウ云フ風ナ感じヲ起シマスト同ジヤウニ、出雲大社ニ對スル深い信仰ノ念ヲ以テ年々數百萬人ノ參詣者ガアリマシガ、是等ノモノガ齊シク遺憾ヲ感ジテ居ルヤウナ慘憺タル狀態デアリマス、此ノ際六十二年ノ式年ニ當ツテ居リマスコトモ、固ヨリ當然ノ大キナ理由デアリマスガ、式年ニ當ル當ラヌト云フコト以外ニ、兎ニ角一日モ早く此ノ狀態ヲ直シテ、サウシテ立派ニ社殿ヲ復舊シナケレバナラス、是ハ國民ノ敬神思想ノ上カラ申シマシテモ一日モ此ノ儘放任シテ置クコトハ出來ナイ、斯様ニ痛感致スモノデアリマス、今日ハ昨日出雲大社ノ狀況ヲ親シク視察セラレマシタ田坂技師モ、オイデニナツテ居ルヤウデアリ

マスカラ、此ノ技師ノ御意見モ伺ヒ、内務省當局ノ御意見モ能ク御聽キ質シテ願ヒマシテ、今日ノ國民思想ノ上カラ見マシテモ、又戰時ニ於テ特ニ參詣者ガ著シク殖ヘテ居リマス、是ハヤハリ戰爭ニ出テ居ル子弟ノ武運長久ヲ祈ルト云フ國民ノ思想ガ、可ナリ出雲大社ニ對スル信仰ノ上ニ表レテ、サウシテ斯ウ云フ結果ヲ生ジテ居ル、其ノ大切ナル神社ガ斯ウ云フ狀態デアリマスコトハ、私共衷心カラ遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス、是非トモ此ノ際此ノ御造營ヲ實現シテ戴キタイト云フノガ、請願ノ趣旨デアリマスルカラ、ドウカ内務當局並ニ田坂技師殿ノ御意見ヲ御聽取下サイマシテ、是非トモ御採擇アラシコトヲ希望致シマス

○原夫次郎君 大體高橋君ノ述べラレタ點デ請願ノ趣旨ハ盡キテ居ルト思フノデアリマスガ、私紹介人タルト同時ニ、出雲大社ノ氏子並ニ敬崇者ノ一人ト致シマシテ、少シク本請願ニ牽聯シテ、幸ヒ飯沼神社院副總裁ガオイデニナツテ居リマスノデ、此ノ神社行政ニ付テ好キ機會ノ一ツデアルト心得マシテ、御尋ネ致シテ置キタイト存ズルノデアリマス、此ノ出雲大社御造營ノコトニ付キマシテハ、今日初メテ請願ニ及ンデ居ルノデアリマスルケレドモ、是ハ内務省ニ於テ夙ニ御研究ニナツテ居ル問題ダト思フノデアリマス、現ニ此ノ御造營ニ關シテ、昭和十一年ニ出雲大社宮司カラ内務大臣ニ陳情ヲ申上ゲテ居ル次第モアルノデアリマス、此ノ出雲大社ノ御造營ノ恒例ハ、第一ニハ六十二年目ニ御造營ニ着手ニナルト云フ古イ時代カラノ慣例ニナツテ居ルト云フコトデアリマス、其ノ御造營ノ着手ニハ、只今ノ鎮座マシマシテ居ル御社カラ、假ノ

昭和十六年二月二十二日

宮ヲ御造リニナツテ、其處へ一旦御神體ヲ奉ジテ安置セラレ、サウシテ此ノ本殿、攝社等ヲ御造營ニ相成ルコトニナルノデアリマシテ、此ノ御造營ニ關シテハ、ドウセ程度ノ問題デアリマスケレドモ、繼續年度ヲ以テ御造營ニ相成ルモノト承知致シテ居ルノデアリマス、是ガ第一點ト、第二點ニハ大體此ノ出雲大社ノ御造營ニ關シマシテハ從來ノ古イ時カラノ慣習ニ依ツテ、出雲大社造リト云フ神社ノ建築法ト言フカ、構造ト言ヒマセウカガ決マツテ居ルノデ、ソレヲ追ウテ、ソレヲ縮小スルト云フコトデナシニ寧ロ擴大セラレテ、其ノ式ニ則ツテヤラレルト云フ大體ノ建前デアルト承知ヲ致シテ居ルノデアリマス、此ノ六十一一年振リニ御造營ニナルト云フコトハ、丁度昨年ノ紀元二千六百年ノ記念ニ際會シテ着手ヲ願フト云フコトデ、神社側並ニ氏子、敬崇者ガ皆ソレヲ待ツテ居ツタノデアリマス、内務省方面、神社院方面ニ於キマシテ、色々大藏省トノ財政ノ都合モアツテ、今日マデ延ビテ居ルコトト想像致シテ居ルノデアリマスルガ、神社院ニ於ケル御造營ノ御方針ト云フモノハ、全國劃一的ニズツト神社ノ大小如何ニ拘ラズオヤリニナルノカ、或ハ特ニ目立ツタ神社ニ特典ヲ與ヘテ、之ヲ出來ルダケ重點主義デオヤリニナルト云フ建前ガアルノデアリマセウカ、其ノ造營ニ關スル神社行政ノ大體ヲ、一ツ御話ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、私共モ昨年ノ十月ニモ親シク神社ヲ拜見致シタガ、本社ノ腐朽ハ實ニ慘澹タルモノデアリマス、又攝末社ノ腐朽モ同様デアリマス、更ニ又本社ヲ取圍ンデ居ル玉籬ノ腐朽モ、實ニ驚クベキモノガアルノデアリマス、何分ニモ屋

根ハ厚サ三尺位モアツテ、皆檜ノ板ヲ以テ造ツテアル、ソレガ皆腐朽シテ居ルノデスカラ、尊イ内部ニ雨ガ浸潤シテ、漏ツテ參ルト云フ状態ニアル、是ハ打捨テテ置クコトガ出來ナイト云フノデ、神社側ニ於テ社費ヲ投ジテ、困ツタ中カラ之ヲ少シジツ修繕シ來ツテ居ル狀況デアリマスケレドモ、何分屋根ガ皆腐朽シテ、先程高橋君ガ言ハレタ通りニ、鳩ガ巢ヲ懸ケテ居ル所カラ雨ガ漏ツテ、根本ノ柱マデモ非常ナ腐朽ヲ致シ來ツテ居ル、斯ウ云フ状態デアリマシテ、吾々ノ眼カラ見ルト、モウ一日モ忽セニスルコトガ出來ナイ、而シテ六十一一年目ニハ造營シテ遷宮ヲヤルト云フ古クカラノ舊慣ガアルト云フコトデアリマスカラ、國費ヲ投ゼラレル場合ニ於テハ、是等ニ思ヒヲ致サレテ、殊ニ今日敬神崇祖ノ思想ヲ涵養スルコトヲ、非常ニ必要トスル時デアリマス、昨年モ二百何十萬カノ參拜客ガ集マツテ居ルガ、皆驚イテ居ルコト云フ状態デアル、大社教ト云フ宗教ノ方ハ、文部省ノ宗教局ニ屬シテ居ルノデスカ、從來カラ内務省ノ神社局カラ、ズツト神社ノ營造物ニ關スル管理ヲ、主トシテ取行ツテ居ラル御當局トシテハ、吾々カラ見ルトドウシテモ出雲大社ノ營造物ニ關シテ、現状ヲ以テシテハ、到底氏子ナドガ忍ブ所デハナイ、單ニ營造物ト言ヘバ建物ト云フヤウニ見ラレルノデアリマスガ、全國各地カラノ參拜者ハ境内ニ入レバ、總テガ神在マス所ト心得テ禮拜ヲ致シテ居ル、サウ云フ事情ノ下ニ、此ノ請願者側ノ御聽キ致シタイコトハ、少クトモ是マデ隱忍シテオトナシク待ツテ居ツタノデアリマスカラ、明年度ノ豫算ニ御計畫ヲ願ヒタイト云フコトト、ヤハリ從來ノ如

キ造營ノ範圍、方法ニ於テ御造營ノ御見込ガ立ツテ居ルノデアリマセウカドウカ、是等ノ點ニ付キマシテ、飯沼サンノ御答辯ヲ煩ハシテ置キタイト思フノデアリマス、而シテ其ノ上デドウゾ是非御採擇ヲ御願ヒシタイト存ジマス

○飯沼政府委員 出雲大社ガ尊イ由緒ヲ持ツテオイデニナリマスコト、又國民一般ノ崇敬ノ極メテ厚イコトハ、只今御話ノアリマシタ通りデアリマス、其ノ御社殿ノ状態ニ付キマシテハ、當局ニ於キマシテモ絶エズ注意ヲ致シテ居リマシテ、人ヲ派遣致シマシテ屢、調査ヲ致サセテ居ツタノデアリマスカ、現在ノ状態カラ考ヘマシテ捨テ置キ難イコト、サウシテ早晚御造營ヲ申上ゲナケレバナラヌト考ヘマスコトハ、只今御話ノアリマシタ通りニ、私共モ考ヘテ居リマス、唯何時豫算トシテ計上スルカト云フコトニ付キマシテハ色々財政ノ都合モゴザイマスノデ、其ノ方面ト十分相談ヲ致サナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、實ハ官國幣社ノ數モ少クナイコトデアリマシテ、腐朽ト云フヤウナ状態ニアリマス社殿モ、實ハ少クナイノデアリマシテ、毎年幾ラカツツ豫算ニ計上致シマシテ、御造營申上ゲテ居ルノデアリマス、マダ實ハ後カラ澤山サウ云フ希望ガ出テ參リマスノデ、中々進ミ兼ねテ居ルノデアリマスガ、併シナガラ先程申上ゲマシタヤウニ、特ニ國民ノ尊崇致シマス出雲大社ノコトデアリマスカラ、篤ト考慮ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、ドウ云フ方針デ仕事ヲヤツテ居ルカト云フ御尋ネデアリマシタガ、官國幣社全部ニ付キマシテ、大體下ノ程度ニ腐朽ヲ致シテ居ルカト云フコトハ、當局ノ方ニモ分ツテ居リマス

ノデ、國ノ方ノ財政ノ關係、又地元ニ於キマス準備ト申シマスカ、用意ト申シマスカ、ソレ等ノ點ヲ睨合ハセマシテ、神社院ニ於キマシテ、ドノ神社ニ付テ御造營申上ガルカト云フコトヲ、毎年決定致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○高橋團三郎君 田阪技師ノ御話ヲ承リタイト思ヒマス

○田阪説明員 私が出雲大社ニ參拜致シマシタノハ四年前デゴザイマシテ、昨年調査サレタノハ伊賀上技師デ、新シクテ詳シイト思ヒマスカラ、其ノ方カラ御話申上ゲルコトニ致シマス

○伊賀上説明員 私ハ昨年十月出雲大社ニ調査ニ參リマシテ拜見致シマシタ所、御本殿ハ御承知ノ通り、延享元年ノ御造營デアリマシテ、明治十四年ノ御修理後既ニ六十年ヲ經過シテ居リマス、先程紹介議員ノ方ノ御話ノ通り、屋根ノ軒附アタリハ全部鳩ノ巢ニナツテ居リマス、上檜皮葺ノ所モ大分腐朽シテ居リマス、柱、軒桁アタリモ大分蟲ガ入ツテ居ルヤウデアリマシテ、少シ弛ンデルヤウナ所モアリマシタガ、御承知ノ通り隨分大キナ本社デアリマシテ、大材ヲ使ツテ居リマス爲ニ、今即刻崩レルト云フヤウナ虞ハアリマセヌケレドモ、相當蟲ガ入ツテ腐朽シテ居ルヤウデアリマス、其ノ他ノ樓門、御門アタリモ相當腐朽シテ居リマシテ、御造營ノ必要ガアルト見テ參ツタ次第デアリマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員長 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員長 日程第一二、國民招魂社建立ニ關スル請願、文書表第三一三號——紹介議員木村作次郎君

○坂東委員 代ツテ紹介致シマス、政治、教育、經濟、産業其ノ他社會事業ニ執掌シ、國家ニ功勞アリ、或ハ社會公共ノ爲ニ殉ジタル志士仁人ノ英靈ヲ弔フ國民招魂社ヲ建立スルハ、國民ノ思想善導上最モ緊要ナリト信ズ、仍テ速カニ國民招魂社ヲ建立セラレタイト云フノデアリマス、政府ノ御所見ヲ伺ヒマス

○飯沼政府委員 政治、教育、經濟、産業或ハ社會事業ト云フヤウナコトノ爲ニ殉ジタル人ニ對シマシテ、國民トシテ其ノ英靈ニ對シ感謝ノ念ヲ致スベキハ、只今御話ノ通りト思ヒマス、併シ之ヲ神社トシテ御祀リ申上ゲルト云フコトニ付キマシテハ、今日マデマダ其ノ例ノナイコトデアリマシテ、神祇奉齋ノ本義ニ照シマシテ、餘程是ハ考究ヲ致シテ見ナケレバナラスト考ヘテ居ル次第デアリマス

○坂東委員 此ノ點ハ十分ニ考究ヲ願フコトニ致シマシテ、採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○加藤委員長 採擇ニ決シマシタ

○加藤委員長 日程第一三、彌生神社社格ニ關スル請願、文書表第三九一號——紹介議員大橋清太郎君

○大橋委員 此ハ此ノ場合簡單ニ請願ノ趣旨ヲ申述ベマシテ御採擇ヲ御願ヒシ、同時ニ政府ノ御意見ヲ拜聴シ且ツ又御實行ヲ願ヒタイト思ヒマス、請願ノ趣旨ハ、警視廳彌生神社ニ社格ヲ附與シテ戴キタイト云フ

ノデアリマス、警察官ハ國家ノ治安ヲ維持シ、民衆ノ安寧福利ヲ増進スルノ、重大ナル責務ヲ有スルモノデアリコトハ申上ゲルマデモナイデアリマス、隨ヒマシテ其ノ職務モ極メテ嚴格ナルモノガアルデアリマス、即チ日夜寒暑ノ別ナク不眠不休、以テ職務ノ遂行ニ當リ、矯激ナル思想ヲ抱持シ國家ノ基礎ヲ危殆ナラシメントスルノ行動ニ出ヅル者、或ハ強盜殺人等兇器携帯者ノ逮捕、又ハ傳染病豫防並ニ防疫、消防等、危險ヲ冒シ、身命ヲ賭シ、治安ノ維持ニ當ルベキ警察官ノ勞苦ハ、洵ニ感謝ニ堪ヘザル所デアリマスガ、其ノ待遇、精神的慰安ニ至リマシテハ、未ダ必ズシモ全シト云フコトハ申上ゲラレナイデアリマシテ、殊ニ殉職者ニ對スル慰靈ノ方途ヲ講ズルコトハ、我が國古來ノ美風デアリマシテ、警視廳ニ於テモ曩ニ彌生神社ヲ設ケマシテ、殉職者ノ靈ヲ慰メ、其ノ德ヲ稱ヘツツアルノデアリマスガ、未ダ之ニ社格ト云フモノガナイデアリマシテ、慰靈者ニ對スル慰靈方法トシテハ、洵ニ遺憾ノ點ガ多イデアリマス、故ニ是ガ改善ノ一歩ト致シマシテ、警視廳彌生神社ニ對シ、此ノ際速カニ應分ノ社格ヲ設置セラレシコトヲ望ム次第デアリマス、斯ク致シマスルコトハ殉職者ノ靈位ニ應ヘ、其ノ冥福ヲ希フ所以デアルト共ニ、現職警察官ノ士氣ヲ鼓舞シ、傳統的警察精神ヲ昂揚セシムル上ニ於テ、其ノ效果洵ニ大ナルモノガアルト存ズルノデアリマス、彌生神社ニ對スル緣起等ココニアリマスガ、長クナリマスカラ申上ゲマセヌガ、明治十八年ノ創始ニ係ツテ居リマシテ、彌生社ト云フ廳員ノ共同ノ財團ノ如キモノガアリマシテ、之ヲ經營シテ居リマス、明治二十年十一月ノ

盛典ニハ明宮殿下並ニ皇族各宮殿下ノ御台臨ヲ仰ギ奉リ、大臣、宮中顧問等貴顯名士ノ御來臨ガアリマシテ、廳員ノ武技、餘興等ノ御台覽ノ榮ヲ賜ハリ、越エテ明治二十一年更ニ式典ヲ執行致シマシテ、一月十四日ニハ長クモ明治天皇御臨幸遊バサレ、同十六日ニハ昭憲皇太后ノ御臨啓ヲ仰ギ、廳員ノ演武其ノ他餘興ヲ御台覽ノ光榮ニ浴スル等永ヘニ其ノ歴史ヲ飾リ、廳員ノ光榮ハ蓋シ無上ナルモノガアリ、英靈亦聖恩ノ無窮ニ感泣スルコトト存ズル次第デアリマス、尙ホ昨年マデニ合祀ノ英靈ハ四百六十位デアリマシタガ、本年ハ更ニ九位ヲ合祀シマシテ、靈位四百六十九位ニナツテ居ル次第デアリマス、サウシテ彌生神社ニ對スル財産ハ、現在ニ二万一千六百六十二圓十九錢ノ現金ヲ銀行預金トシテ居リ、更ニ神社敷地トシテ青山墓地使用權八百七十四坪五合ヲ所有シテ居リマス、又氏子信徒ニ相當スルモノトシテハ、警視廳廳員及比合祀者ノ遺族等ヲ合セテ、三萬人ノ多數ヲ算シテ居ルノデアリマシテ、是等氏子ハ常ニ朝夕參拜致シテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、何卒適當ノ社格ヲ附與シテ戴キタイト存ズルノデアリマス、尙ホ終リニ拜殿其ノ他ノ整備ニ付キマシテハ、警視廳關係其ノ他信徒一同ガ、喜ンデ其ノ經費ヲ寄捨負擔スルノ用意ガアルコトヲ申添ヘテ置キマス、ドウゾ此ノ機會ニ政府當局ノ御意見ヲ伺ヒ、且又御實行ヲ願ヒタイト存ジマス

○飯沼政府委員 殉職警察官ニ對シテ、私共トシテ深甚ノ感謝ノ念ヲ持ツテ居ルコトハ申スマデモナイ所デアリマス、唯斯ウ云フ方々ヲ御祀リ申上ゲテアリマス彌生神社ノ如キ、是ハ他ノ府縣ニモアルト思ヒマスガ、サウ云フモノヲ神社トシテ認メマスコトハ、實ハ今日マデノ神社ノ建前カラ例ノナイコトデアリマシテ、此ノ請願ノ御趣旨ノ點ニ付キマシテハ、尙ホ私共トシテ色々研究ヲシテ見ナケレバナラスト考ヘテ居リマス

○大橋委員 此ノ場合伺ツテ置キタイコトハ、只今ハ唯他ニ例ガナイト云フヤウナ御話デアリマシタガ、此ノ神社ニ社格ヲ與ヘテ戴ク神社ヲ構成スル條件ニ付テハ、只今申上ゲタ事柄ニ別段不備ノ點ハナイノデゴザイマセウカ、私ハ今其ノ氏子ノ數、或ハ財産、緣起等ヲ申上ゲタノデアリマスガ、是等ノ點ニ付テハ不備ノ點ハゴザイマセウカ

○飯沼政府委員 多數ノ神様ヲ御一緒ニ、或ル一ツノ御宮ニ御祀リ申上ゲルト云フコトハ、御承知ノ通り靖國神社、護國神社以外ニハナイノデゴザイマシテ、大體ニ於テ御一方、或ハ御一方デナクテモ二柱、三柱、例ヘバ九州ノ菊池神社ノヤウニ親子ト云フヤウナ、極ク近イ緣ノオアリニナル神様ヲ、一ツノ神社ニ御祀リ申上ゲルト云フ例ハゴザイマス、併シ澤山ノ神様ヲ御一緒ニ一ツノ神社ニ御祀リ申上ゲルト云フコトハ、先程ノ例外ヲ別トシテハ今日マデ認メテ居ラナイノデアリマス、サウ云フヤウナ意味ヲ以テ、殉職警察官方々ハ恐ラク殉職サレタ時モ、所モ、又其ノ場合々々ノ意味モ、色々違フドラウト思ヒマスガ、斯ウ云フ方方ヲ御一緒ニ御祀リ申上ゲルト云フコトニ付テハ、神社ト云フ問題ニ付テ餘程考ヘテ見ナケレバナリマセヌ、先程國民招魂社ト云フコトニ付テ申上ゲタノモ、ヤハリサウ云フヤウナ意味デ申上ゲタノデゴザイマス

○大橋委員 御説明デ能ク分リマシタガ、
是ハ初代ノ川路大警視ヲ初メトシテ、多クノ
殉國ノ士ガ祭神トシテ合祀サレテ居ルノデ
アリマス、只今ノ御話ヲ伺フト、サウ云ツ
タ場合ハ洵ニ例ガ少イト云フコトデアリマ
スガ、軍人ニ次イデ第一線ニ起ツテ働キマ
シタ護國ノ英靈デアリマスカラ、斯ウ云フ
ヤウナ時局重大ナル場合ニ於キマシテハ、國
民精神ヲ興ノ上ニ於テモ、政府ニ於カレテ
ハ是非トモ速カニ御研究ノ上、御實行ヲ願
ヒタイト云フコトヲ切望シテ、皆サンニ御
採擇ヲ願ヒマス

○中野(寅)委員 是ハ大橋委員ノ仰シヤツ
タ通り、精神作興ノ上ニ重大ナコトデアリ
マスカラ、政府ニ於テ篤ト御調査願フト
云フ意味ニ於テ、採擇アランコトヲ希望致
シマス

○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員長 採擇ニ決シマス

○加藤委員長 此ノ際大橋君ヨリ文部當局
ニ對シテ發言ヲ要求セラレテ居リマスノデ
之ヲ許シマス

○大橋委員 私一昨日ハ木材統制法案委員
會ノ方ニ出テ居リマシテ、遂ニ此ノ席ニ出
席ヲ致シマセデ、再ビ文部省ノ當局ニ對
シマシテ御足勞ヲ煩ハシマシタコトハ洵ニ
恐縮ニ存ズル次第デアリマス、併シ事柄ガ
極メテ重大デアリマスカラ私ハ是非トモ御
願ヒテ致シタイト思ヒマス、同僚各位ニハ
貴重ナ時間ヲ御割キ願ヒマシテ御迷惑ト存
ジマスガ、御許シヲ願ヒタイト思ヒマス、
此ノ機會ニ簡單ニ 明治天皇品川聖蹟指定
ニ關スル請願ノ趣旨ニ付テ申上ゲマス、東

京市品川區北品川二丁目所在品川聖蹟公園
ノ地ハ、明治維新ニ際シ長クモ 明治天皇
御東遷ノ舊蹟トシテ知らレ、史實洵ニ尊
嚴、由緒甚ダ深キモノガアルノデアリマ
ス、右聖蹟ヲ尊崇シ奉リ、之ヲ永ク後昆ニ顯
彰致シマシテ遠ク 明治大帝ノ御遺徳ヲ欽
仰シ奉ラムコトハ、極メテ意義深キ緊要事
デアリマシテ、一面現下重大ノ 世局ニ處
シ、國民精神ヲ昂揚振作シ、思想ノ善導啓
發ニ寄與スル所甚ダ大ナルモノガアルト深
ク信ズルモノデアリマス、庶幾ハ當局ニ於
テハ速カニ御調査御審議ノ上右聖蹟公園ノ
地ヲ 明治天皇聖蹟地トシテ御指定下サル
様切望スル次第デアリマス、是ヨリ該地ノ
史實竝ニ理由ヲ朗讀致サセテ頂キタイト存
ズルノデアリマス

一、王政ヲ復古シ明治維新ノ大業成リ、明
治元年七月江戸ヲ改メテ東京トナスヤ、
明治天皇ハ同年九月京都ヲ發御、陸路東海
道ヲ御下幸、日ヲ經テ十月十二日鳳輦品川
宿ニ着御、本陣島山金右衛門宅(現聖蹟公
園ノ地)ニ御駐泊アラセラル、此ノ日沿道諸
民ニ洽ク賑恤ノ御儀アリ、且ツ孝子節婦ヲ
褒賞セララル、翌十三日東京城ニ入御アラ
セラル、一、同年十二月八日東京城發御、
京都御還幸ノ御途次、前記品川宿本陣(現
聖蹟公園)ニ御少憩遊バサル、三、翌明治
二年三月七日京都發御、東京ニ御再幸遊バ
サルニ際シ、三月二十七日鳳輦三度前記
本陣(現聖蹟公園)ニ到リ御駐泊アラセ給ヘ
リ、四、明治二年十月、皇后宮東京ニ行啓
遊バサルニ際シ、同月二十三日前記本陣
(現聖蹟公園)ニ御着輿御宿泊アラセ給ヘ
リ、五、明治五年四月英照皇太后東京行啓
ノ際、同月十一日前記本陣ニ御着輿御宿泊

アラセラレ、明治天皇ハ御親迎ノ爲メ當
日右本陣ニ行幸アラセラル

品川聖蹟公園ノ地(往時ノ本陣跡)ニ關ス
ル史實ハ以上ノ如クニシテ、同地ガ行幸ノ
恩光ニ浴スルコト前後四度行啓ノ榮譽ヲ忝
ウスルコト亦數次ニ及ベリ謹ミテ惟ミルニ
明治天皇天資英邁ニ互ラセラレ、允文允
武其ノ偉業鴻大ニシテ國民尊崇ノ中心タリ、
隨テ御聖蹟全國ニ互リ其ノ數少ナカラズト
雖モ行幸啓ノ恩榮ヲ忝ウスルコト數次ニ及
ブ本地ノ如キモノ他ニアルヲ聞カズ、就中
明治元年十月御駐泊ノ當時拜察スルニ、
王政復古ノ偉業漸ク成リ武家政治三百年ノ
牙城タリシ江戸城ニ入御シ帝都ヲ東京ニ遷
シ國運隆昌ノ基礎定マラントスル其ノ御前
夜ニシテ、此ノ日征東大總督有栖川宮熾仁
親王、鎮將三條實美ノ奉迎ヲ御親受遊バサ
レ、翌十三日御輿衛隊々御進發江戸城ニ入
御アラセラレタルモノニシテ、正ニ國運進
展ノ基タル維新鴻業ノ前夜トモ謂フベク、
本地御駐泊ノ意義タル極メテ重大ニシテ維
新史上特筆シテ忘れベカラザルモノトス、明
治五年四月英照皇太后御奉迎ノ御爲メ行幸
アラセラレタル如キハ 天皇御自ラ御躬ヲ
以テ全國國民ニ孝道ノ大本ヲ昭示シ給ヘルモ
ノニシテ、全國聖蹟中類例有ルヲ聞カズ、
以上ノ如ク品川聖蹟公園ノ地ハ行幸啓ノ數
ニ於テ、其ノ有スル意義ニ於テ、他ニ冠絶
スルモノ有ルニ拘ラズ、星霜七十有餘年ノ
久シキ間之ヲ放置セシ爲メ舊構全カラズ壞
滅荒廢セントスルノ状態ニアリシガ地元有
志痛ク之ヲ歎キ相集リテ聖蹟保存會ヲ設立
シ、其ノ他ノ保存顯彰ニ努メ土地ヲ買收上
納シ、東京府、警視廳、東京市亦之ニ協力
ヲ致シ、昭和十三年十一月聖蹟地ヲ公園ト

シテ保存顯彰スルニ至リ、爾來國民尊崇ノ
地トシテ今日ニ及ブ、今ヤ世局重大ニシテ
國歩漸ク艱難ヲ加ヘツアリ、國ヲ舉ゲテ
肇國ノ精神ヲ顯揚シ明治維新ノ大業ヲ回想
シ以テ國難打開ニ邁進セントシツツアルノ
秋、茲ニ本地ヲ 明治天皇聖蹟地トシテ御
指定ヲ仰グコトハ其ノ意義極メテ重大ニシ
テ其ノ措置甚ダ適切、爲ニ國民精神作興ニ
寄與スル所甚大ナリト思考ス

以上デアリマス、何卒此ノ現前ノ事實ニ
照ラシテ御清鑑ヲ垂レ、特別ノ御詮議ヲ以
テ速カニ願意御聽許アラムコトヲ切望スル
次第デアリマス、尙ホ此ノ聖蹟ノ指定ニ付
キマシテハ曩ニ文部省ニ於テ屢、聖蹟指定
委員會ニ於テモ御詮議ガアツタト承ツテ居
ルノデアリマスガ、唯昨日モサウ云フ御説
明ガアリマシタガ、舊蹟ハ礎石ノヤウナ
モノガナイカラ指定出來ナイト云フヤウナ
コトヲ伺ツタノデアリマス、サウ云ツタ御
話ヲ度々私ハ伺ツテ居リマス、實ハ私ハ此
ノ聖蹟保存會ノ會長ヲ致シテ居リマシテ、
西郷侯爵ガ全國ノ聖蹟保存會ノ會長デアリ
マシテ、ヤハリ此ノ會ノ名譽會長ヲシテ居
ラレル、唯全然城址ノヤウナモノ或ハ行在
所跡ノヤナウ建物ガナイカラ指定ガ出來ナ
イト云フノデアリマスケレドモ、斯ウ云フ
現前ノ事實ガアリマシテ、本陣跡ト云フコ
トハ地形ノ上ニ於テハツキリ分ツテ居ル、
東海道何レノ本陣跡モ同ジ形デアルト云フ
コトハハツキリ分ツテ居リマス、又宮内省
ニアリマス所ノ御幸日誌、御行幸ノ日誌
等ヲ御調ベニナルナラバ本陣跡ト云フコト
ハハツキリ分ル、本陣ト云フコトハ古老ノ
言ニ依ツテモハツキリ分リマスシ、又地圖
ニ依リマシテモ本陣ノ形ト云フモノハ何處

モ同ジデアリマス、ソレデ疑ヒノナイ所デアリマスルシ、只今ノ場所ニハ既ニ東京市ニ於キマシテ東京市長ガ彼處ニ記念碑ヲ樹テテ居ル、斯ウ云フコトニナリマシタガ、今マデハ警視廳ノ病院ナドガアツテ非常ニ不敬デアツタ、ソレデ私ノ先輩高木正年先生モ議會ニ於テ此ノコトヲ力説セラレ、爾來十數年間、私ハ後輩トシテ先生ノ遺志ヲ繼ギ何万圓ノ地所ヲ提供シテ、此ノ汚イ病院ヲ取拂ヒ、聖地ヲ淨化シテ東京市ノ公園トシテ市長自ラ其處ニ立派ナ記念碑ヲ建テラレ、朝夕國民禮拜ノ目標ト相成ツテ居ルデアリマス、然ルニ之ヲ唯一片ノ形式ニ依リマシテ舊趾ガナイカラト言ツテ聖蹟地トシテ御取扱ヒニナラナイト云フコトハ、洵ニ上明治天皇ニ對シ奉リ、私ハ國民トシテ其ノ責ヲ盡シタモノトハ言ヘナイト考ヘルノデアリマス、ドウカ此ノ點ニ付キマシテハ、サウ云フヤウナ唯一片ノ御答辯デナシニ、熱情ヲ以テ地元區民ノ意ノアル所ヲ御酌取リニナツテ、國民精神作興ノ爲ニ直チニ御採擇、御實行アランコトヲ切ニ御願ヒスル次第デアリマス、ソレカラ其ノ取扱ヒニ付キマシテハ、斯ウ云フヤウナ由緒正シキ御聖蹟ト云フヤウナモノハサウ云フ形ガナクデモ御指定ニナルト云フコトヲ此ノ委員會ニ於キマシテ私ハ前ニ拜聽シテ居ルノデアリマス、ドウカ此ノ點ニ付テモ併セテ伺ヒタイト思ヒマス

○阿原政府委員 明治天皇ノ御聖蹟ニ付キマシテハ私共出來ルダケ努力致シマシテ、國體明徴ノ上カラ考ヘマシテモ、又國民精神作興ノ上カラ考ヘマシテモ出來ルダケ速カニ成ベク多ク御指定申上ゲタイト云フヤウナコトデ從來ヤツテ參ツテ居ルノデアリマス、

御請願ノ趣旨ニ付キマシテハ昨日承リ又本日モ親シク大橋サシカラ御紹介ヲ承リマシテ能ク諒解致シマシタ、唯當時御座所ノアリマシタ鳥山金右衛門氏ノ御宅ガ現在ハ全然ナクナリマシテ、御話ノヤウナ遺構ガ全然殘ツテ居ラナイノデアリマス、從來ノ取扱ヒトシマシテハ、顯著デアリマシテモ、一應遺蹟ノナイモノハ成ベク指定シナイト云フ方針デ參ツテ居ルノデアリマシテ、サウ云フ狀態デ從來委員會アタリデモ話ガアリマシタケレドモ、到頭實行出來ナイデ今日ニ至ツタノデハナイカト云フヤウニ考ヘテ居リマス、尙又現在此處ハ東京市デ管理シテ居ルト云フヤウナ關係モアリマスノデ、私共ト致シマシテハ委員會ノ意向モ更ニ確メ又市ノ意見モ十分聞キマシテ、現在ノ所直チニ指定スルコトハドウカト考ヘテ居リマスケレドモ、十分ニ研究シテ見タイト思ヒマス

○大橋委員 史實ノ上デ一寸申上ゲタイ、地形ガ完ク成ツテ居ラナイト云フ御話デアリマスガ、其ノ本陣デアルト云フ地形ガハツキリ圖面ノ上ニ上ツテ居ル、ソコデ私ノ三代以前ノ曾祖父ガ行在所建築ノ御用命ヲ承リマシテ造リマシタ、古老モマダ存在シテ居リマスノデ、東京市並ニ内務省或ハ警視廳等ニ於キマシテ、病院ヲ移轉シテ聖蹟ニスルト云フコトニ付キマシテハ、スツカリ官廳ノ方モ御調べガ付イテ居ルノデアリマス、文部省デモ此ノ問題ハ此ノ頃ハ御存ジナイ、久シキ十年位前ニハ非常ニ御調べガアツタ、アア云フヤウニ立派ニナツテ居レバ、聖蹟ニ指定シテモ宜イト云フ御言明ガ會デアツタノデス、其ノ當時ハ汚イ病院ノヤウナモノガアリマシタカラ、是デハイ

ケナイ、ドウカ聖地ヲ淨化シテ貫ヒタイト云フヤウナ方式ヲ執レバ、コンナ立派ナ聖蹟、而モ維新ノ大業ヲナサレテ此ノ行在所ニ入ラレタト云フヤウナ、大變記念スベキ所デアラカラト云フ御話ガアリマシタ、ソレガ爲ニ地元區民ハ非常ニ心配ヲシマシテ、莫大ナ寄附金ヲ募ツテ、聖蹟ニ指定シテ貫フ爲ニ努力ヲシテ居リマス、ドウカ十分御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス

○加藤委員長 日程第一四、北松浦郡内町村道開鑿改修費増額其ノ他ニ關スル請願、文書表第三九〇號——紹介議員森肇君

○森肇君 此ノ請願ハ長崎縣北松浦郡内ノ町村長全體ヨリ提出致シタノデアリマスガ、此ノ請願ノ目的ト致シマス所ハ、必ズシモ長崎縣北松浦郡一郡ニ關スルモノデナイト思ヒマス、恐ラク此ノヤウナ希望ヲ持ツモノハ、全國一万余餘ノ町村皆然リト申シテ宜シイト思ヒマス、唯此ノ請願ニ、請願者ガ事情ニ通ジマセヌ結果トシテ、或ルモノハ内務省ニ關係ヲ致シ、或ル部分ハ農林省ニ關係ヲ致スト云フヤウナモノヲ一緒ニ纏メマシテ、請願ヲ致シテ居リマスカラ、公式ニ適ハナイカモ知レマセヌガ、是ハ一ツ事情ヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス、政府トシテハ昭和七年ヨリ九年ニ亙リマス前後三箇年ノ農村匡救土木事業ヲ行ハレタ際ニ、初メテ町村ニ於ケル道路若クハ小港灣等ノ改修ニ付テモ、助成スルト云フ例ヲ開カレタノデアリマスガ、農林省ハ匡救事業終了ノ後ニモ、之ヲ繼續致シマシタケレドモ、内務省ハ昭和九年ヲ以テ町村ニ對スル直接ノ助成ヲ御打ちリニナツテ居リマス、左様ナ關係カラシテ尙ホ此ノ町村内ニ於ケル、

殊ニ小町村内ニ於ケル道路若クハ港ト云フヤウナモノハ、備ハラザルモノガ非常ニ多イノデアリマス、努力不足ノ今日ナドヨリ考ヘマシテ、速カニ其ノ完成ヲ必要ト致シマスコトハ、内務省トシテ御認メニナルコトト存ジマス、斯ウ云フ意味デ、此ノ前ニ行ハレタヤウナ助成ヲ、更ニ今後ニ於テモ行ツテ戴キタイト云フ切ナル希望デアリマスカラ、ドウゾ委員會ノ方々トシテハ御採擇ヲ願ヒタイト思ヒマス、内務省トシテ之ニ對スル御意見ヲ伺ヘバ洵ニ結構デアリマス

○飯沼政府委員 町村道ニ付キマシテハ、只今御話ノアリマシタ通り、國トシテ補助ヲスル途ハ、今日ノ所ハゴザイマセヌ、隨テ町村道ノ改良ニ付キマシテハ、縣ノ方トモ能ク相談ヲスルコトニ致シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ指定港灣ニ付キマシテハ、内務省トシテ助成ニ付テ色々考ヘテ居リマス、唯國ノ財政ノ關係モアリマスノデ、ソレ等ト配合セマシテ十分ニ考究致シタイト思ヒマス

○森肇君 指定港灣ニ付テハ左様ナ途ガ開カレテ居リマスガ、其ノ指定港灣デナイモノニシテ、改修ヲ要スルモノガ非常ニ多イト云フコトニ重キヲ置イテ居リマスカラ、其ノ點御諒承ヲ願ヒマス

○坂東委員 政府ニ於テ縣ノ方ト十分御相談ヲ願フト云フヤウナ意味デ、採擇ヲ願ヒマス

○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○加藤委員長 採擇ニ決シマス

○加藤委員長 日程第一五、八郎瀉利用開

ルノデアリマス、ソレバカリデハナイ、少量ト雖モ血液ノ中ニ「アルコール」ガ入リマスコトハ、今日ノ精密ナ機械ナドヲ使用運轉スル人ニ取ツテハ非常ナ障礙ガアルノデアリマシテ、既ニ交通運輸ニ從事スル者ニハ或ル程度禁酒セシメテ居ル點ヲ見マシテモ、能ク御分リニナルコト思フノデアリマス、又反對ノ一例トシテ、ドウモ未成年禁酒法等モ餘リ效果ガ擧ラナイデハナイカ、斯ウ云フ效果ノ擧ラナイ法律ヲ制定スルコトハ法ノ威信ニ關スルデハナイカ、斯ウ云フ御話モアルノデアリマスガ、先年千五百三地區ニ於キマシテ、三十二万七千餘人ノ青年ニ付テ實地調査ヲ致シテ結果ニ依リマスト、未成年デ飲酒ヲ致シテ居リマス者ガ五・七二%アル、斯ウ云フ結果ヲ得タノデアリマシテ、相當ニ效果ガ擧ツテ居ルト云フコトヲ調査シテ縣當局ガ申述ベテ居ルノデアリマス、又年々本委員會ニ於キマシテモ、之ヲ實行シテ「アメリカ」ニ於テモ禁酒法ハ撤廢シタデハナイカ、斯ウ云フ議論モ出ルノデアリマスガ、如何ニモ千九百三十三年ニ「アメリカ」聯邦ハ禁酒法ヲ撤廢シテ居リマス、聯邦禁酒法ハ撤廢シテ居リマスケレドモ、各州自治デ禁酒ヲ厲行致シテ居ルノデアリマス、四十八州ノ中全體的ニ禁酒ヲヤツテ居リマス州ハ七州デアリマスガ、大部分ハ禁酒致シテ居ルノデアリマシテ、地方自治禁酒制ヲ布イテ居リマス州ハ、三十五州アルノデアリマス、酒類ノ販賣免許制ヲ布イテ居ル州ガ七州、專賣制ヲ布イテ居ル州ガ四州、是ハ二ツヤツテ居ル州ガアリマスルカラ、斯ウ云フヤウニ州ガ殖エテ居リマスルガ、兎モ角モ「アメリカ」ハ聯邦トシテハ撤廢致シテ居リマスルケレドモ、個

個ニ付テ申上ゲマスレバ、以上申シマシタヤウニ撤廢シテ居ラナイ、否段々擴大シツツアル證據デアリマシテ、上院議員ノ「シェパード」氏ガ一九三三年四月カラ一九三七年十月マデノ間ニ、此ノ聯邦禁酒法ヲ撤廢シタ爲ニ、寧ロ色々ト損害ヲ蒙ツテ居ルト云フ點ヲ述ベテ居ルノデアリマス、例ヘテ申シマスルナラバ、酒代ニ百二十四億千七百「ドル」掛ツテ居ル、酒ニ依ル交通事故ガ、二十二億七千三百「ドル」、酒ニ依ル犯罪及ビ能率低下ト云フベキモノガ、五十億「ドル」アル、之ヲ合スト百九十六億九千万「ドル」ニ達スル、政府ガ酒ニ依ツテ得タ利益ハ、税金ニ依ツテ三十億「ドル」デアリ、酒類販賣業者ガ得タ所ノモノハ十億「ドル」デアル、要スルニ四十億「ドル」ハ得タガ、百九十六億九千万「ドル」ハ失ツテ居ル、斯ウ云フコトデ禁酒撤廢ノ非常ナ損害ヲ稱ヘテ、サウシテ厲行スベキコトヲ勸メテ居ルノデアリマス

○加藤委員長 ドウゾ簡潔ニ御願ヒ致シマス

○杉山委員 出來ルダケ簡單ニ申上ゲマスガ、ソコデ以上ノヤウナ譯デアリマシテ、先程申シマシタヤウニ、反對ノ御話ニ對シテ十分首肯シ、納得ノ行ク點ガ、甚ダ遺憾ナガラ得ラレナイノデアリマス、ソコデ私共ハ本年モ又カト思ハレルガ出シマシタ、今ノ請願文書表ヲ御覽ヲ戴イテモ能ク分リマスヤウニ、五万有餘ノ熱心ナ方々ガ、此ノ請願ヲ致シテ居ルノデアリマス、反對ノ方々ノ請願ヲ見マシテモ、殆ド酒ノ業者ノ方、或ハ酒造業ノ組合デアルト云フヤウナ方デアツテ、新潟縣ノ二人ノ方ノ紹介ダケガ二十八人デアリ、八十二人デアルト云フ、

此ノ少數ノ方デアアル、而モ此ノ方モ多クハ酒ニ關係ノアル方デアラウト存ズルノデアリマスルガ、私ハ人數ノ多少ニ於テ言フノデハアリマセヌガ、少クトモ五万有餘ノ所謂自分ガ酒ニ依ル經濟的ナ利害關係ヲ持タナイ者ガ、熱心ニ主張シテ居リマスル點ヲモ、一應御考慮ヒタイノデアリマス、ソレト共ニ今日ハ申スマデモナク、高度國防國家建設ヲシナケレバナナイ時デアリ、高度國防國家ヲ建設シマスルノニハ、何ヲ措テ置イテモ、生産力擴充ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、申スマデモナイノデアリマス、所ガ酒ト生産力擴充ノ關係ヲ考ヘテ見マス時ニ、卑近ナ一ツノ例ヲ見マシテモ、月曜日ニ工場ガ土曜日デ能率ガ擧ルカドウカ、是ハ工場ニオイデニナツテ能率狀態ヲ御調べ戴キマスルナラバ、直グ分ル問題デアツテ、月曜日ハ能率ガ非常ニ低イ、災害率ハ高イ、是ハ要スルニ日曜日、或ハ休日ノ場合ニ色々酒食ヲ致シマシタ結果ガ、現ハレテ居ルコトハ明カナ事實デアリマシテ、酒ガ生産力擴充ニ障礙ニナツテ居リマス點ハ、色々申上ゲタイ點ガアリマスケレドモ、私ハ其ノ一例ヲ考ヘテ戴イテ見テモ分ルト思フノデアリマス、ソレニ反シテ禁酒ヲ致シマシタモノガ、生産力擴充ニ一段ト效果ヲ示シテ居リマスコトハ、九州ニ於ケル三井ノ田川炭礦ノ實例ヲ御覽戴イテモ宜イノデアリマス、是ハ從前ノ禁酒ヲシテ居ラナイ當時カラ比較致シマスナラバ、二割五分九厘ノ採炭率ガ高マツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウニ一塊ノ石炭ヲモ今日ハ欲シイト申ス時ニ、二割五分九厘ノ採炭率増加ヲ見マシタナラバ、如何ニ禁酒ガ、アノ暗イ中ニ居ル産業戰士ニ——或ル人ハ

酒デモ與ヘナケレバナラヌト考ヘテ居ルガ、事實ハ之ニ反シテ居ルト云フコトガ、能ク御分リ下サルト思フノデアリマス、是ハ單ニ三井田川ノ炭礦バカリデハナイ、住友ノ忠隈炭礦ノ實例ヲ見マシテモ、非常ナ傷病率ガ違フノデアリマス、即チ一日千人入坑スルモノト致シマスナラバ、禁酒スル者ガ千人ニ對シテ六人三分デ、酒ヲ飲ンデ居ル者ガ十八人七分ニナツテ居ル、約三倍ノ傷病率ガアルコトヲ示シテ居ルノデアリマス、或ハ日立ノ本山礦山ノ實例ヲ見マシテモ、禁酒後ノ色々ノ經過ヲ見マスナラバ、色々ノ疾病狀態、傷害率ト云フモノガ、三分ノ一ニ減ジタト申シテ居リマス、是ハ少數ノモノ、或ハ唯一年、二年ト云フ成績ヲ申シテ居ルノデハナイノデアリマス、私ハ斯ウ云フ點ヲ、反對ニナル方ガアレバ、禁酒ト生産力擴充ト云フモノトガ、如何ナル實際關係ガアルカト云フコトヲ見テ戴キタイト思フノデアリマス、斯ウ云フ實例ハ鑛山、工場ヲ歩イテ見マシタナラバ、無數ニ擧ゲテ見ルコトガ出來ルノデアリマス、ソレバカリデハナイ、多年疲弊ノドン底ニアリマシタ村ガ、禁酒ヲシテ、經濟的ニ、又國家ニ御奉公致シテ居リマス例ハ、石川縣ノ河合谷ノ初メトシテ、長野縣ノ三穗村ト云フヤウニ、今日多數ニ出テ參ツテ居ルノデアリマス、私ハ斯ウ云フ意味合ヨリ致シマシテ、今日ノ高度國防國家ニ最モ必要ナル要素ノ一ツデアリ、生産力擴充ニ申上ゲルヤウニ禁酒ヲ致シマスコトガ必要デアアル、第二ニ生産力擴充ニハ人的資源ノ必要デアリマスコトハ申スマデモナイ、所ガ今日色々ノ資源ノ問題ガヤカマシクナツテ居リマスガ、殊ニ日本ニ於キマシテ人

的資源ノ障礙ニナル三大國民病トモ申スベキモノガ、花柳病、肺病、精神病、斯ウ云フモノデアリマスガ、其ノ花柳病ガ酒トドウ云フヤウナ關係ニアルカ、是ハ學術振興會ガ先般來販賣地帯アル川崎市ニ於テ、色々調査致シテ結果ヲ見マス、花柳病ニ罹ッタ時ノ状態ヲ調査致シタモノニ依ルト、八七%ガ飲酒ヲシテ居ツタ時デアルト、告白致シテ居ルノデアリマス、或ハ結核ト「アルコール」トドウ云フ關係ガアルカ、或ル人ハ「アルコール」ガ結核ノ「ベッド」ダトマデ申シテ居リマス、又結核ノ罹病率ノ高イ所、之ヲ全國的ニ見マス時ニ、色々ノ關係モアリマセウケレドモ、ヤハリ飲酒率ノ高イ所ガ多イ實例ヲ示シテ居ルノデアリマス、精神病ト「アルコール」トノ關係ハ、私ガ説明スルマデモナク、是ハ明瞭ナ事實デアリマス、厚生省ハ明カニ酒ヲ以テ民族毒デアルト聲明シテ居ル、民族毒デアルト申スナラバ……

○加藤委員長 杉山サン、御熱心ハ洵ニ敬服致シマスガ、皆マダ晝飯ヲ食ベナイデ、モウ一時ヲ過ギタノデアリマスカラ、ドウゾ簡單ニ御願ヒ致シマス

○杉山委員 ソレデハ第二ノ點ハ其ノ位ニシテ置キマシテ、第三ハ戰時下所謂食糧ノ必要ナ點デアリマシテ、是ハモウ申スマデモナイト思フ、皆サン御承知ノヤウニ、本年ハ七千數百萬圓ノ金ヲ以テ、米ノ増産計畫ヲ致シマシテ、漸ク二百万石ノ増産ヲシヨウ、斯ウ云フノデアリマス、今日酒ノ消費規正ガサレテ居リマスケレドモ、尙ホ二百万石ノ米ヲ潰シテ居ルノデアリマス、一面議會ガアレダケノ全體會議ヲ開イテ、食糧増産ヲヤツテ、サウシテ二百万石ノ米ノ増産ヲヤラウトシテ居ルノニ、一方サウ云フヤウニ潰シテ居リマス米ト考ヘ合セマス時ニ、又非常ニ苦心ラシ、血ノ出ルヤウナ正貨ヲ拂ツテ、外米ヲ購入致シテ居ル點ナドヲ考ヘ合セマス時ニ、今日此ノ際ニ於テ——私ハ全體ト言ウテ居ルノデハナイ、少クトモ酒ニ觸レテ居ラナイ、惡習慣ノ付イテ居ラナイ青年ダケデモ止メサス必要ガナイカ、而モ今年ハ未成年禁酒法ガ布カレマシテカラ二十年ニ該當スルノデアリマス、故ニ今年此ノ法律ヲ制定致シテ貫ハヌト、折角先程申上ゲタ未成年禁酒法ニ依ツテ、效果ヲ擧ゲテ居ツタ酒ニ觸レテ居ラナイ青年ガ飲ミ得ルト云フコトニナルノデアリマシテ、色々ノ惡習ニ染ミマスコトハ甚ダ遺憾ダト考ヘルノデアリマス、丁度未成年禁酒法ガ布カレテ二十年デアリマス、ダカラ今之ヲ制定シテ戴イテ、サウシテ之ヲ一年々々延バシテ行ク、今飲ンデ居ル人ニ對シテ止メテ呉レト言ウテ居ルノデハナイ、斯ウ云フ意味デゴザイマスノデ、反對側モ理窟ヲ付ケレバ、ソレハ謬ニモアリマスヤウニ、七分ノ理ガ付カモ知レマセヌガ、厚生省ハ既ニ民族毒ト言ハレテ居ルノデアリマスシ、以上申上ゲマシタ高度國防國家建設ノ立場カラ考ヘテ見マシテモ、私共ハ是非此ノ際青年禁酒法ヲ御制定願ヒタイ、斯ウ云フヤウニ思ヒマシテ、五万有餘ノ人達ガ熱心ニ此ノ案ノ通過ヲ冀ツテ居ルノデアリマス、ドウゾ委員諸君モ此ノ點十分御諒承下サイマシテ、御採擇ヲ願ヒマス同時ニ、此ノ際政府ノ御方針ヲ伺フコトガ出來マスナラバ、御伺ヒシタイト思フノデアリマス

○加藤委員長 次ハ第一八——紹介議員山

川賴三郎君

○山川委員 コンナニ丁寧ニ御説明ニナルトハ思ヒマセヌデシタガ、エライ丁寧ニ御説明ニナツタノデ、コチラモ丁寧ニ言ハネバナリマセヌガ……

○加藤委員長 ドウゾ簡潔ニ願ヒマス

○山川委員 簡單ニヤラナケレバナラスノデスガ、大變御迷惑デアリマスケレドモ、成ベク要領ヲ簡單ニヤリマスカラ、ドウゾ暫クノ間御辛抱ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ハ禁酒ニ反對デ、勿論青年デアラウト、二十五歳デアラウト、全部デアラウト、酒ヲ止メルト云フコトハ全部反對ヲ主張スル者デアリマス、ソレニ付キマシテハ種々ノ論點カラ申上ゲタイ積リデ調ベタコトモ相當アリマスガ、ソレヲ今具體的ニ申上ゲマサルト非常ニ時間ガ掛リマスルノデ、今杉山サンカラ御説明ニナリマシタコトハ贊成スルコトガ出來ナイコトバカリデアリマスカラ、其ノ事項ダケニ付テ申上ゲタイト思フノデアリマス、一番最初ニハ、一遍ニ酒ヲ禁止シナイノデ、而モ二十五歳以下デアアル、其ノ二十五歳以下ノ中デモ、一時ニ二十五歳以下ノ者ヲ止メサスノデハナイ、本年カラ始メタラ、年々ニ一年ツツ殖ヤシテ行ツテ、五年目ニ二十五歳以下ノ者ガ飲マナイヤウニナルノデアアル、ダカラ之ヲ飲マナイ法律ヲ拵ヘテ呉レ、斯ウ云フ風ニ言ハレテ居ルノデアリマス、是ハ酒ト云フモノガ惡イト云フコトヲ前提ニシテノ話デアリマス、酒ガ毒デアアル、酒ガ害物デアアルト云フ方面カラ考ヘラレテノ御説デアリマスカラ、是ハ私ガ是カラ申上ゲマスコトノ結末ニ於テ其ノ説ノ誤リデアルコトヲ申上ゲタラ宜イト考ヘマス、

○加藤委員長 次ハ第一八——紹介議員山

ソレカラ、反對論者ノ論據ハ非常ニ薄弱デアルト言ハレタ、酒ハ「モルヒネ」ノヤウナモノデアアル、人間ニ對スル「モルヒネ」ノ害ヲ認メル、但シ是ハ嗜好品ダカラ飲ンデモ宜イガ、ヤハリ害物ダカラ之ヲ飲マナイヤウニシナケレバナラスト云フノデ「モルヒネ」ヲ排シテ居ル、ソレト同ジヤウニ、酒ハ惡イモノデアアルカラ、飲マナイヤウニセヨ、斯ウ云フノデアアルカラ、嗜好品デアアルカラ飲ムト云フコトハ違ツテ居ル、斯ウ云フ御議論ヲサレマシタガ、是ハ大變ナ誤リデアリマシテ、是モ酒ヲ毒物ナリ、害物ナリトノ前提ヲ置イテノ議論デアリマス、ソレカラ、酒ガナクテハ神様ノ御祭ガ行ハレヌカラ酒ガ要ルト云フガ、酒ガナクテモ祭ハ出來ルデヤナイカ、黒酒、白酒ノ如キハ其ノ時ニ必要ニ應ジテ、ソレダケ造ツタラ宜イノデアツテ、祭禮ニ酒ヲ用ヒルカラト云ツテ神様ノ眞似ヲシテ惡イモノヲ飲マナケレバナラスト云フ法ガアルカ、斯ウ云フ風ニ言ハレルノデアリマスガ、是モ酒ガ惡イト云フ前提ノ下ニ言ハレルコトデアリマシテ、決シテ酒ガ惡イト云フ理由ニハナラナイ、冠婚葬祭モ同ジヤウナ意味デ言ハレタノデアリマスガ、酒ハ決シテ惡イモノデアアリマセヌ、酒ハ榮養ガアルト云フガ、ソレハ「カロリー」ダケデアツテ、外ハ皆惡イ、毒ダ、又酒ガ身體ニ毒ニナルノミナラズ、社會ニ害毒ヲ流スコトガ多イト言ハレタノデアリマスガ、酒ハ非常ニ榮養ガアリマス、酒程榮養ニナルモノハナイノデアリマス、今酒ヲ飲ム人ト飲マナイ人トハ理窟ノ上カラ考ヘテ飲ンダリ飲マナカツタリシテ居ルノデハナイ、酒ノ好キナ者ハ酒ヲ飲ンデ居ル、酒ヲ飲マナイ人ハ理窟ノ上カラ飲

○加藤委員長 次ハ第一八——紹介議員山

ソレカラ、反對論者ノ論據ハ非常ニ薄弱デアルト言ハレタ、酒ハ「モルヒネ」ノヤウナモノデアアル、人間ニ對スル「モルヒネ」ノ害ヲ認メル、但シ是ハ嗜好品ダカラ飲ンデモ宜イガ、ヤハリ害物ダカラ之ヲ飲マナイヤウニシナケレバナラスト云フノデ「モルヒネ」ヲ排シテ居ル、ソレト同ジヤウニ、酒ハ惡イモノデアアルカラ、飲マナイヤウニセヨ、斯ウ云フノデアアルカラ、嗜好品デアアルカラ飲ムト云フコトハ違ツテ居ル、斯ウ云フ御議論ヲサレマシタガ、是ハ大變ナ誤リデアリマシテ、是モ酒ヲ毒物ナリ、害物ナリトノ前提ヲ置イテノ議論デアリマス、ソレカラ、酒ガナクテハ神様ノ御祭ガ行ハレヌカラ酒ガ要ルト云フガ、酒ガナクテモ祭ハ出來ルデヤナイカ、黒酒、白酒ノ如キハ其ノ時ニ必要ニ應ジテ、ソレダケ造ツタラ宜イノデアツテ、祭禮ニ酒ヲ用ヒルカラト云ツテ神様ノ眞似ヲシテ惡イモノヲ飲マナケレバナラスト云フ法ガアルカ、斯ウ云フ風ニ言ハレルノデアリマスガ、是モ酒ガ惡イト云フ前提ノ下ニ言ハレルコトデアリマシテ、決シテ酒ガ惡イト云フ理由ニハナラナイ、冠婚葬祭モ同ジヤウナ意味デ言ハレタノデアリマスガ、酒ハ決シテ惡イモノデアアリマセヌ、酒ハ榮養ガアルト云フガ、ソレハ「カロリー」ダケデアツテ、外ハ皆惡イ、毒ダ、又酒ガ身體ニ毒ニナルノミナラズ、社會ニ害毒ヲ流スコトガ多イト言ハレタノデアリマスガ、酒ハ非常ニ榮養ガアリマス、酒程榮養ニナルモノハナイノデアリマス、今酒ヲ飲ム人ト飲マナイ人トハ理窟ノ上カラ考ヘテ飲ンダリ飲マナカツタリシテ居ルノデハナイ、酒ノ好キナ者ハ酒ヲ飲ンデ居ル、酒ヲ飲マナイ人ハ理窟ノ上カラ飲

○加藤委員長 次ハ第一八——紹介議員山

マナイノデハナイ、是ハ酒ヲ好マナイカラ
飲マナイノダ、酒ヲ飲ム力ノアル身體ト酒
ヲ飲シテハ害ノアル身體トガアル、昔ノ人
ハ皆酒ヲ飲シダガ多イ、今日ハ酒ヲ飲マ
ナイ顔ノ青イ人が段々出來テ來タ、此ノ狀
勢ハ大變ナコトデス、酒ヲ止メタナラバ人
間ガ達者ニナル、體質ガ良クナル、ソナ
コトハ逆マデアリマス、酒ト云フモノガナ
カツタナラバ人ハ段々ト弱クナツテ行クノ
デアリマス、是ハ人體ノ上ニ於テ生理學上
カラ酒ガ宜イトカ惡イトカ云フコトヲ研究
シテモ、先程モ申シマシタ通り、人間ト云
フモノハ身體ダケデハナイ、精神ト二ツデ
アル、心ト身體ノ二ツニ依ツテ出來テ居ル、
ダカラ自分ノ精神ニ快活ヲ感ジルト云フヤ
ウナコトハ身體ヲ養フ要素デアリマス、又
榮養ヲ攝ルト云フコトモ身體ヲ養フ要素デア
リマス、此ノ二ツガ揃ウテ初メテ健康ヲ得
ルノデアリマシテ、常ニ酒ヲ飲マズニ鬱々
トシテ居ルト云フヤウナコトデハ駄目ナン
デス、此ノ頃ハ酒ガ大變ナクナツテ殆ド禁
酒ノ狀態ニナツテ居ルコトハ、是ハ時節柄
デアルカラ致シ方ガナイノデ辛抱シテ居ル
ノデ、決シテ酒ハ害毒ニハナラナイノデア
リマス、兎ニ角禁酒論者ハ酒ト云フ名前ヲ
嫌ウテ、毒ニナラウガナルマイガ、酒ト云
フ名ガ惡イノデアアル、又禁酒論者ニハ外教
信者ガ多イ、ダカラ神ノ教ヘデアルト云フ
ヤウニ信ジテ酒ヲ嫌フノデアリマスガ、今ノ
日本ノ清酒トカ「ビール」トカ云フモノハド
レ位ナ「アルコール」ガアルカト云フコトヲ
御調べニナツテ居リマスカ、禁酒論者ハ酒
ノ中ノ「アルコール」ガ害ニナルト仰セラレ
タルノデアリマスガ、外國ノ酒ナドカラ比ベ
タラ、日本ノ酒ハ酒ト稱スル價值ガナイ位

「アルコール」ハ少イノデアリマス、ソレカ
ラ又熱帶地方ノ人間ノ飲ム酒ノ「アルコー
ル」ノ度ト寒帶地方ノ飲ム酒ノ「アルコー
ル」ノ度トハ自然違フノデアリマス、デアリ
マスカラ熱帶地方デアルカラ「アルコール」
分ノ少イモノヲ好ムト云フノハ自然ノ必要
カラデアアル「アルコール」ガ澤山入レバ身
體ニ害ガアルト云フノデアリマシタ酒ノ力ニ依
リ、寒帶ノ地方デアリマシタ酒ノ力ニ依
リテ身體ノ熱ヲ殖ヤサナケレバナラヌ、エ
ネルギーヲ攝ラナケレバナラヌ、此ノ必要
カラ度ノ高イモノヲ攝ルノハ自然デアリマ
ス、國ニ依ツテ違フノデアリマス、丁度中
和ノ氣候ノ所ニ住ンデ居ル日本人デモ其ノ
人ノ體ニ依ツテ飲ム人ト飲マナイ人ト、色
色アルノモ自然ニ身體ガ要求シテ居ルノ
デアリマス、私共モ斯ウ云フ年ニナツテ居
リマスケレドモ、酒ガ爲ニ長生ヲサセテ貴
ウテ居ルモノデアルト非常ニ喜ンデ居ルヤ
ウナ次第デアリマス、今此處ニ一寸酒精ノ
度ヲ調べテ見マシタモノヲ申上ゲテ見マス
ト「ビール」ハ三デアリマス、葡萄酒ハ六カ
ラ十マデデアリマス、清酒ハ十三・五カラ十
五マデ、「ウイスキー」ハ四十カラ六十マデ
「リキール」ハ三十カラ五十マデ「ブランデー」
ハ四十カラ五十マデ、「ウオッカ」ハ四
十カラ四十二マデ、申ニハ五十七ノモノモ
アリマシタ、泡盛ハ四十カラ四十七マデ、
高粱酒ハ六十四ヨリ六十五マデ、「ラム」酒
ハ六十二ヨリ六十八マデ、「ジャマイカ」ハ
六十二カラ八十マデ、「ジン」ガ五十、「アラッ
ク」ハ五十八、以上調べテ見マシタガ斯
ノ如キモノデアリマス、是カラ見マシタナ
ラバ清酒ノ十三半ヨリ十五ト云フノハ八十
ニ比ベタラ少イモノデアリマス、又其ノ他

ノ酒デモ大抵四十カラ六十デアリマス、ソ
レニ比ベルト清酒ハ十三半カラ十五デアリ
マシテ、コンナニ低イモノヲ日本人ガ飲ン
デ喜ンデ居ル、是デハ酒デハナイ位ナモノ
デアリマス、アノ人ハナント薄イモノヲ飲
ンデ居ル、是ハ酒ヂヤナカラウト云フヤウ
ナコトヲ言ハンナラヌ程ノモノデ、斯ノ
表カラ考ヘテ見マシタナラバ、清酒ガ若シ
害ガアルト云フナラ、清酒ヨリ強イ六十カ
ラ八十モ「アルコール」ノアル酒ヲ飲ンデ居
ル國民ハ皆死ンデシマフテ、生キテ居ラス
答デアルケレドモ同ジヤウニ生キテ居ル、
禁酒論者ハ唯酒ト云フ字ヲ嫌フノデアルカ
ラ此ノ酒ト云フ字ヲ變ヘテ、米ノ水トデモ改
メタラ宜イノヂヤナイカ(笑聲)ソレ位ノコ
トデ満足スルノデアリマセスカ、實質ト
云フコトヲ調べモセヌデ唯酒ハ惡イ、酒ハ
惡イト言フ、此ノ酒ガ惡イト云フノハ何處カ
ラ流行ツテ來タカ、外國カラ流行ツテ來タ、
「アメリカ」ノ國カラ流行ツテ來タ、「アメリ
カ」デ飲ム強イ酒ガ惡イカラ日本デモ酒ヲ飲
ンダラ惡イト云フコトハナイ、日本デモ其ノ
強イ酒ヲ飲ンダラ惡カラウガ日本デハ自分
ノ身體ニ合フダケノ酒ガアル、自分ノ力ニ
合フダケノ酒ヲ飲ム、孔子様ハ酒ヲ評シテ
酒ハ無量ト云フコトヲ言ハレテ居リマス、
酒ハ量ナシ亂ニ至ラズ、一升飲ンデモ酒ハ
害ガナイ、身體ニ害ガナケレバ宜イ、五勺
飲ンデモ害ガアツテ、頭ガ狂フ人間ダツタ
ラ惡イ、ダカラ亂ニ至ラズト制限シテ居ル、
流石ニ大政治家ダケアツテ孔子サンハ偉イ
コトヲ言ツテ居ル、ダカラ好ムト好マザル
ニ依ツテ、害ノナイ程度ニ飲ム、ソレヲ吾
吾ガ酒ヲ嫌フ所ノ人ノオ附合ヒサセラル
ルノハ迷惑千萬ナ話デアリマシテ、今日此

ノ委員會ニ酒ヲ飲ムベシト云フ所ノ法律ヲ
拵ヘテ下サイト云フ請願ト酒ヲ飲ンデハイ
ケナイト云フ請願ト兩方ヲ出シテ居リマシ
タナラバ、今杉山君ガ説明サレタ中ニモ考
ヘナケレバナラヌ所ガ多少アルカモ知レマ
セヌガ、酒ヲ飲ムベシト云フ法律ハ日本ニ
ハ未ダ拵ヘテ居ラヌノデアリマス、又只今
吾々モ酒ヲ飲ムベシト云フ法律ヲ作ツテ吳
レト言ツテ茲ニ請願シテ居ルノデハナイノ
デアリマス、嫌ヒナヤ、體ニ害ノアル人
ハ飲マナイガ宜イ、又自分ノ信仰カラ神ニ
背クト云フナラ飲マナイガ宜イ、頭ガ狂フノ
ナラ飲マナイガ宜イ、經濟ニ害ガアルト云
フナラ勿論飲マナイガ宜イ、現在害ノ有無
ニ拘ラズ酒ガナクテ國民ハ飲メナクナツテ
居ル、禁酒ト同ジニナツテ居ル、此ノ禁酒
ニナツテ居ル狀況デモ、尙ホ禁酒ヲセイト
言フノハ他所ノ範圍ニ入ツテ、無理ヲ他人
ニ強ヒルト云フモノデアリマシテ、嫌ヒナ
人ニ酒ヲ飲ンデ吳レト云フコトヲ言ツテ
居ルノデハナイ、又ソレカラ考ヘマシテ
酒ハ害ノナイモノト思フ、酒ハ「アルコー
ル」ガアルカラ害ガアル、一旦「アルコー
ル」ガ體ニ入ツタラ終身取レナイト禁酒論者ハ
言ハレテ居ルノデアリマスガ、人間ハ米
ヲ食フ、禁酒論者デモ米ヲ食フ、此ノ食ツ
タ米ハ腹ノ中ニ入ツテドウナリマスカ、ソ
レハソコニ酵母ガ發酵スル、發酵シタナラ
バソコニ乳酸菌ガ出來、乳酸菌ガ出來テ其
ノ内ニ酒精ガ出來テ、辛イ酒ニ大方ナリ掛
ケテ居ル、其ノ間ニ胃腸ガソレヲ吸收シ
テ、初メテ人ノ働ク血トナリ熱トナル、
物心、二元ノ融合ニ依ツテ人間ガ初メテ働
ケルノデアリマス、若シ酒精ト云フモノガ
惡イト云フナラバ、サウ云フヤウニ腹ノ中

デ醸造シテ居ルノヲドウ見ルカ、酒ハ飲マヌデモ、或ル程度似タモノヲ腹ノ中デ醸造シテ、サウシテ色々消化作用ヲシテ吸収シテ熱ガ出テ、人間ノ働キガ出來ル、絶對ニ腹ノ中マデ酒ヲ飲ンデハイカスト云ツタラ、人間ハドウシテ生キテ行カレマスカ、何ニ依ツテ生キルカ、食ベタモノニ依ツテ「エネルギー」ノ働キデ居ルト云フコトヲ考ヘタナラバ、禁酒論者ガ本當ニ酒ヲ恐レルモノナラ、飯ヲ食フコトモ出來スト思フ、ソレカラモウ一ツハ能率ノ話ガアリマシタガ、酒ヲ飲ンデ居ル者ニ比シテ、飲ンデ居ナイモノハ能率ガ良イト仰シヤルガ、勿論ノコトデアアル今私ニ一升飲マシテ走レト云ツタツテ、酒ヲ飲マヌ者ニ負ケルコトハ決マツテ居ル、併シ飲酒家ト雖モ何時モ酒ヲ飲ンデ居ル譯デモナイ、又鑛山ニ入ル時ニ、酒ヲ飲ンデ入レト云ツタモノハ誰モナイ、又酒ヲ飲ンデ自動車ヲ運轉セシ、酒ヲ飲ンデアノニ矢ヲ中テロ、酒ヲ飲ンデ向フノ軍艦ニ大砲ヲ撃テ、酒ヲ飲ンデ戦争シロ、相撲ヲ取レト云フヤウナコトヲ國家ハ強ヒテ居ナイ、ソレハ自由デアリマス、惡イコトハ自ラ慎シダラ宜イ、慎ミト云フモノハ自分カラヤルコトデアリマスカラ、慎ム人ハ何處マデモ慎ムベシ、禁酒シタ人ノ話ナドヲ聞キマス、自分ハ酒ヲ飲ンデ斯ウ云フ失策ヲシタ、所ガ禁酒論者ニ救ハレタ、サウ云フ人ハ酒ヲ飲ンデ害ノアツタ人デアアル、精神ニ害ガアルカ、身體ニ害ガアルカ、アツテ初メテ廢メタ人デアアル、ソナナ人ハ酒ヲ飲ンデモ害ノナイ良イ身體ヲ持合ハセナイノデアアル、洵ニ氣ノ毒ナモノデス、ソレカラ日本人ノ體力ガ衰ヘルカラ、ソレヲ防グ爲ニ禁酒ヲシナケレバナラスト云フコト

トヲ言ハレル、二十五歳マデト云フ言葉ハ總テ日本ヲ全部禁酒國ニシヨウト云フ前提デアリマス、二十歳以下デ成功シタカラ、今度ハ二十五歳マデト云ツテ、二十五歳ガ成功シタラ今度ハ全部ト云フノデセウ、併シ二十五歳デアラウガ、二十歳デアラウガ全部デアラウガ、禁酒ハ同ジコトデアリマス、我ガ國ノ法律デ二十歳マデハ酒ガ飲メナイヤウニナツテ居ル、其ノ結果ハドウナツテ居ルカ、未成年禁酒法ト云フモノヲ行ハレヌデモ、青年ガ酒ヲ飲ム機會ハ殆ドナイ、年ニ一回カ二回デアアル、ソレモ青年ノ寄合デ酒ヲ飲ム位ノコトデ、青年ガ自分ノ金デ酒ヲ飲ミ歩クト云フヤウナコトハ、田舎ナンカデハ中々ナイノデアリマス、ソレニ又青年ニ絶對ニ禁酒ヲサシタラ、朗ラカナ氣分ニナルコトナドハナイ、ソレハ人間ヲ一ツノ型ノ中ニ嵌メテヤラウト云フコトデス、サウ云フコトデハ大人物モ何モ出來ヌ、是ハ豚ヤ牛ヲ飼フヤウニ、人間ト云フモノヲ動物的ニ取扱ハウト思フカラ、青年禁酒法ナドト云フモノヲ布カウトシテ居ル、アノ禁酒法ヲ布イデカラ以來、青年ノ身體ト云フモノハドウナリマシタカ、未成年禁酒法ガ行ハレナイ時分ニハ、我ガ國ノ壯丁ノ體力ト云フモノハ、相當ニ立派ナモノデアツタ、所ガアレヲ行ヒマシテカラ以來、頓ニ青年ノ體格ガ落チテシマツテ居ル、ソナコトハ牽強附會ダ、ソナモノニ便乗シタ言葉ダト云フカモ知レナイガ、今後若シ誤ツテ禁酒國ニデモナツタラ、段々身體ハ弱クナツテシマフ、禁酒シタガ爲ニ日本人ハ皆弱クナツテ、終ヒニハ國ガ滅ビテシマフト云フコトニナル、如何ニ酒ト云フモノハ、效能ノアルモノデアアルカト云フコト

ガ分カルガソレデハ遅イ、次ニハ二十五歳ノ兵隊サンハ飲ンデハイカヌガ、二十歳以上ノ兵隊サンハ飲ンデモ宜イト云フコトデハ、益、法律ノ取扱上迷惑千萬ナコトデアルト思フ、サウ云フコトハ決シテ實際ニ行フコトハ、出來ナイノデアリマシテ、酒ニ害ガアレバデスガ、決シテ害ガナイコトハ先程申上ゲタ通りデアリマス、「アルコール」ノコトカラ考ヘテ見テモ、何カラ考ヘテ見テモ害ハナイノデアリマス、又「アメリカ」ノ例ヲ御引キニナリマシタガ、「アメリカ」ハ聯邦デ、廢シタケレドモ、洲デハ實行シテ居ルト云ハレタガ何モ日本ハ米國ノ通りニシナケレバナラスト云フ譯ハ、ナイ米國ハ十年ノ間大變辛イ經驗ヲ嘗メテ、其ノ失敗ノ歴史ヲ重ネテ、今日デハ此ノ法律ヲ廢メテシマハウト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、是ガ立派ナオ手本デアリマス、而モソレハ禁酒國ノ本家デアリマス、サウシテ「クエーカー」派ト云フ最モ禁酒論ヲ主張スル所ノ宗教ノアル「アメリカ」デアリマシテ、其ノ「アメリカ」デサヘモ往生シテシマツタ、「ギャング」ト云フ言葉ガアリマスカ、此ノ「ギャング」ト云フハ何カト云フト、アレハ酒ヲ飲マセスト云フ、コトニナツタノデ、祕密ニ酒ヲ造ツテソレヲ密賣シタリ、密輸入ヲシタリスル、ソレヲドウシテモ防グコトガ出來ナイモノダカラ、終ヒニハ酒ヲ積ンデ持ツテ行ク所ヲ、ソレヲ防グ爲ニ巡査ガ「ピストル」デ撃ツ、ソレヲ鐵砲デ防グト云フ撃合ヒヲシタソレカラ「ギャング」ト云フ言葉ガ出來タノデスガ、サウ云フコトノ爲ニ「アメリカ」デハ、全國ノ犯罪人ノ數ト匹敵スル程、酒ニ因ル犯罪人ヲ拵ヘテ居ル、一旦其ノ法律ニ背イタ者ハ、

終身犯罪者トシテ出世スルコトガ出來ナイ、此ノ爲ニ無辜ノ青年ヲ皆罪人ニ陷レタト云フ馬鹿ナ經驗ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ米ヲ二百万石使フト云フ御話ガアリマシタガ、酒ヲ飲マセナカツタラ、飯ヲ餘計食フカラ同ジコトデアリマス、酒ハチヤント身體ノ中ニ入ツテ、米ノ働キヲスルノデアリマス、酒ト云フモノハ米ノ中ノ糠ト粕ト云フモノガ三割デ、ソレノ他ノ用途ニ使ヘレ後ノ七割ガ酒ニナルノデスカラ、二百万石ノ中デ七割ノ百四十万石ガ酒ニナリ、其ノ百四十万石ノモノガ二百二十万石ノ酒ニナツテ、ソレガ販賣ヲサレルノデアリマス、ソレデ百四十万石ノ酒ノ代リニ、二百万石ノ米ヲ食ツタラ同ジコトデアリマス、酒ヲ飲ムト飲マヌノデハ飯ノ食ヒ方ガ非常ニ違フノデアリマスカラ飯ヲ食フ代リニ酒ヲ飲ンダラ、チヤント腹ノ中ニ入レバ米ノ働キヲスル、サウシテ必要ナ部分ダケハ、何デモ攝ルコトニナルノデアリマスカラ、決シテコンナコトハ案ズルコトデモ、損ノ行クコトデモナイト思フノデアリマス、非常ニ長クナリマシタカラ、ソレハ其ノ位ニシテ置キマスガ、花柳病ノ話モアリマシタシ、色々國民病ノ話モアリマシタガ、ソレハ決シテ酒ガサウ云フ病菌ヲ、持ツテ居ルモノデアリマセス、私共ノ經驗ニ依リマス、私共ノ若い時分ニハ、料理屋ニ行ツテ酒ヲ飲ミマシタ、所ガ酒ヲ飲ムヤウナ者デ不品行ナ者ハアリマセス、却テ酒ヲ飲マヌ者ガ癖ガ惡イ、是ハ實際ノ話デアリマス、吾々ハ色々ナコトヲヤツテ參リマシタカラ能ク承知シテ居リマスガ、酒ヲ飲マナイ者ハ用心シナケレバナリマセス、ソレデ酒ニ害ガアルト云フコトハ決シテナイノデ

アリマス、酒ハ百藥ノ長デアリマス、ドウ
ゾ酒ヲ廢サヌヤウニ願ヒタイ、私ハ二十五
歳マデノ禁酒法案ニハ絶對反對デアリマス、
ドウゾ各位ノ御賛成ヲ得タイト存ズルノデ
アリマス

○坂東委員 只今ノ青年禁酒法制定ニ關ス
ル請願ノ、紹介議員ノ紹介ノ理由モ御聽キ
ノ通り、又反對論者ノ紹介ノ理由モ御聽キ
ノ通りデアリマスカラ、ドウカ政府ハ此ノ
兩方ヲ能ク研究サレンコトヲ希望シマシテ、
兩案トモ參考送付ニ御願ヒ致シマス

○加藤委員長 參考送付ニ御異議アリマセ
ヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○加藤委員長 御異議ナシト認メ、參考送
付ニ決定致シマシタ——洵ニ長時間ニ互リ
マシテ御迷惑ヲ掛ケマシタガ、午後二時二
十分カラ再開スルコトニシテ、是デ休憩致
シマス

午後一時四十二分休憩

午後二時二十六分開議

○加藤委員長 是ヨリ開會致シマス、大藏
省所管

日程第一、上湧別村ニ無水酒精工場設置
ノ請願、文書表第三六五號——紹介議員坂
東幸太郎君

○坂東委員 政府ハ北海道網走支廳管内野
付牛町ニ無水酒精工場ヲ設置セラルコト
ト決定セラレタルモ、同地ハ紋別郡方面各
町村ヨリノ輸送距離遠隔ニシテ運賃増嵩ス
ルニ付キ、又戰時下是ガ増産ノ必要ニ鑑ミ、
紋別郡及比呂郡ノ一部ヲ區域トスル工場
ヲ増設スルノ要アリト信ズ、然ルニ紋別郡
上湧別村地方一帯ハ馬鈴薯ノ大量供給容易

ナルノミナラズ紋別川ヲ水源トセル工業用
水アリ、其ノ他工場設置上ノ諸要件ヲ具備
セルヲ以テ無水酒精工場設置箇所トシテ最
適ノ地ナリ、仍テ前記上湧別村内大字中湧
別市街地ニ無水酒精製造工場ノ設置ヲ要望
スル請願デアリマス、政府ノ御所見ヲ伺ヒ
タイト思ヒマス

○花田政府委員 請願ノ要旨ハ今御述ベニ
ナリマシタヤウニ北海道北見國網走支廳管
内上湧別村ニ政府ノ無水酒精工場ヲ設置セ
ラレタイト云フノデアリマス、政府ノ無水
酒精工場ハ昭和十二年度ヨリ建設ヲ始メマ
シテ、現在十五工場ニ達シテ居リマス、而
シテ此ノ内馬鈴薯ヲ原料トスル工場ハ二箇
所、他ハ總テ甘藷ヲ原料トスルモノデアリマ
ス、請願ノ上湧別村ニ設置セラレタイト云フ
ノハ馬鈴薯ヲ原料トスルモノデアリマシテ、
之ニ付テ一應概略申上ゲタイト思ヒマス、
馬鈴薯ヲ原料トスル工場ハ北海道ダケデア
リマシテ、十勝國帯廣市ニ一工場、今御話ノ
請願地ト同一國ノ北見國常呂郡野付牛町ニ
一工場アルノデアリマス、一般的ニ申上ゲ
マス云フト「アルコール」工場ノ設置ハ原
料蒐集ノ難易、ソレカラ原料、製品ノ運搬
ノ便否、用水排水ノ關係等ヲ考慮シテ決定
スルノデアリマスガ、御話ノ上湧別村ニ付テ
ハ是等ノ調査ヲ未ダ十分ニ致シテ居リマ
セスノデ、果シテ工場トシテ適當デアるか
ドウカト云フコトハ申上ゲラレナイノデア
リマスガ、其ノ一番大事ナ要件ノ一ツデア
ル原料ダケノ點ニ付テ考ヘテ見マシテモ、
本年ノ所要數量ガ千三百萬貫、十六年度ハ
三千八百萬貫ノ豫定デアリマス、之ニ對シ
マシテ本年ノ馬鈴薯ノ集荷ノ成績ハ餘リ十
分デハナイノデアリマス、是ハ北海道ニ於

ケル米ノ不作カラスル食糧緩和ノ爲ニ馬鈴
薯ヲ食用トシテ使ツタト云フ結果デアリマ
シテ、一時的ノモノト思ハレルノデアリマ
スガ、兎ニ角原料ニ關スル見極メガ十分デ
アルト云フ點ガ絶對必要ノ條件デアリマス
ノデ、此ノ點ハ更ニ研究ノ要ガアルモノト
考ヘラレルノデアリマス、將來馬鈴薯ヲ原
料ト致シマス無水酒精工場ヲ設置スル必要
ヲ生ジマシタ際ニハ請願ノ趣旨ヲモ篤ト調
査ノ上考究スルコトニ致シタイト思ヒマス

○坂東委員 政府ノ御答辯御尤ト思ヒマス
ガ、此ノ上湧別村字中湧別ハ紋別郡一帯ニ
數万町歩ノ畑地ガアリマシテ、馬鈴薯ヲ蒐
集スルノニハ非常ニ都合ガ好イ所ト思ヒマ
スガ、尙ホ政府ニ於テ御調査ヲ切望シテ採
擇ヲ希望致シマス

○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○加藤委員長 採擇ニ決定致シマス

○加藤委員長 日程第二、土地整理士法制
定ニ關スル請願、文書表第三八二號——紹
介議員百瀨渡君

○坂東委員 代ツテ紹介致シマス、我が國
ニ於ケル土地ノ調査、異動ノ處理ニ付テハ、
其ノ法律關係頗ル多岐ニ互リ、斯道ノ精通
者ニシテ且ツ地積測量等ノ専門的技術ヲ有
スル練達者ニアラザレバ其ノ適法正確ナル
處理ヲナスコト能ハズ、而モ之ニ從事スル
現在ノ土地調査員ニ對シテハ法令ノ制定ナ
キ爲メ毎年度之ニ關シテ甚大ナル未處分線
越數ヲ算シ、啼ニ稅法運用上ノミナラズ、
財政、産業上等閑視スベカラザル支障ヲ與
フルヲ以テ速カニ從來ノ土地整理員ヲ免許
制トスル土地整理士法ヲ制定セラレタイト

云フノデアリマス、政府ノ御所見ヲ御伺ヒ
致シマス

○松隈政府委員 只今御述ベニナリマシタ
御趣旨ハ相當理由ガアルト認メラレマスノ
デ、本件ニ付キマシテハ、今後慎重ニ研究
ヲ重ネルコトニ致シタイト思ヒマス

○坂東委員 御研究ノ速カナランコトヲ要
望致シマシテ、採擇ヲ望ミマス

○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○加藤委員長 採擇ニ決定致シマス

○加藤委員長 日程第三、干甘藷ノ供出ニ
關スル請願、文書表第三八九號——紹介議
員森肇君

○森肇君 私成ベク簡潔ニ申述ベルコトヲ
旨トシテ居リマスガ、極メテ短クヤリマス
カラ附加ヘルコトヲ御許シ願ヒマス、是ハ
請願文書表ヲ御覽下サレバ要旨ハ明カニ
ナルノデアリマスガ、此ノ文書表ノ要旨ヲ
御覽願ヒマシテモ、大藏省專賣局長官ノミ
デハ御答ヘガ出來ナイ問題カト思ヒマス、
併シ他ノ關係ノ農林省等ノ御出席ヲ求メマ
シテモ御手數ヲ掛ケルト思ヒマスカラ、此
處デ併セテ私ノ紹介ノ理由ヲ申上ゲタイト
思ヒマス、モウ追々暖地デアル九州地方ノ
如キデハ芋ノ種ヲ畑ニ持出ス時期ニナリマ
ス、切干芋ノ割當ガ行ハレマスノハ、從來モ
餘程遅レテ居リマス、増産ヲ期シヨウト思ハ
レルノデアアルナラバ、ドウシテモ種芋ヲ畑ニ
持出ス以前ニ計畫ヲ立テラレテ、増産ノ目
標ヲ示サレルデナケレバ目的ヲ達スル譯ニ
ハ參ラス、是ハ申スマデモナイコトデアリマ
ス、其ノ點ガ請願ノ第一ノ要旨デアリマシ
テ、割當デニナルナラバ、ドウゾ種芋ヲ畑

第三類第一號 請願委員會議錄 第八回
昭和十六年二月二十二日

ニ出ス以前ニヤツテ戴キタイ、是ハ長官トシテモ御諒承ガ願ヘルコトト思ヒマス
ソレカラ其ノ次ニ供出割當ニ付テハ、各町村ノ薩摩芋ヲ食糧トシテ居リマス狀況等ヲ能ク御覽ニナリ、更ニ其ノ他ノ農作物トノ關係等ヲ考ヘラレテ適當ニ割付ケラシテ戴カナイト非常ニ困ル、實情ハ其ノ通りニナツテ居リマス、今年モ農林省ノ方デ増産ノ計畫ヲ立テラレテ、大部紙ノ上ニハ大キキ數字ガ出テ居リマスガ、從來ノヤウナ獎勵ノ方法ヲ以テシテ果シテ其ノ目的ヲ達シ得ルヤ否ヤ、是ハ獨リ農林省ノミニオ委セニナラナイデ、專賣局トシテモヤハリ御協力ニナツテ、農民ノ指導獎勵ニ御努メ下サラナケレバ目的ヲ達スルコトハ困難ダト思ヒマス、現ニ私共ノ九州ニ於テモ、同ジ畑ヲ利用シソレヨリ作り出シマス甘藷ノ一反歩當リノ收量ハ、能ク作りマスモノハ、一斤百六十目トシテ八千斤カラ時ニ依ツテハ一万斤ヲ作りマス、同ジ其ノ畑ヲ作付スルニシテモ、人ノ如何ニ依ツテハ千五百斤カラ二千斤位ヨリ産額ハナリ、指導獎勵方法如何ニ依ツテハ、平均三千斤カラ五千斤ヲ得ルコトハ九州地方ニ於テハ左程難事デナイト思フ、甘藷ノ方ハ日本全國ノ半分ヲ九州デ供出シテ居リマス、サウシテ薩摩芋ヲ食糧トシテ食ツテ居ルノモ全國中九州ガ一番多イダラウト思ヒマス、サウ云フ關係デアリマスカラ、増産獎勵ニ付テモ既ニ御着手ニナツテ居ルトハ思ヒマスガ、農林省トモ御協議ノ上豫メ適當ノ計畫ヲ立テラレテ供出ノ配當等モ適地適所ニ行ハレシコトヲ希望致シマス、是ガ請願ノ第二ノ點デアリマス

次ニ甘藷ノ價格ノ問題デアリマスガ、私共常ニ地方ニ居リマシテ、昨年御決定ニナリマシタアノ公定價格ナルモノヲ見マシタ時ニ私共不思議ニ思ツタ、東京ニ集マリマス薩摩芋ハ大概地域ハ決マツテ居リマス、其ノ薩摩芋ノ價格ヲ見マスト、小賣値ニシテ一斤八錢ニナツテ居リマス、九州地方デハ百六十匁一斤ニシテ五錢六匁ニ公定サレテ居ル、サウシテ芋ノ質カラ言ヘバ日本全國デ九州ガ一番宜シイ、專賣局デモ農林省デモ是ハ認メラレテ居ル、斯ウ云フ點ニ百姓ノ方ハ不平ガアル、更ニ又九州八縣ニ於キマシテハ、其ノ縣々デ所謂自肅値ト稱シテ、之ヲ更ニモウ一步抑ヘテ居ル實情デアリマス、ソレデアリマスカラ、全國ヲ見渡シマシタ時ニ只今ノ公定價格ト云フモノガ地域的ニ違ツテ行ツテ居リマスガ、是ガ甚ダ宜シクナイ、九州地方ノ薩摩芋ガ東京ニ入ツテ來マスカラ、一斤八錢ト云フノハ運賃其ノ他諸掛リモアルカラハ當然デアリマセウガ、ソレハコチヲ方デ御考ヘニナツタ紙ノ上ノ算盤デアツテ、實際ハソレデハ引合ハナイ、ダカラ公定價格ハ全國一律ニ定メルガ宜シイデハナイカ、サウシテ運賃諸掛リハ其ノ外ニ考ヘナケレバナラス、サウシナケレバ公定相場ト云フモノハ全國一律ニ參リマセヌ、殊ニ切干原料芋ノ價格ハ生芋ニ對シテ昨年ハ百六十匁一斤トシテ二錢五厘ナラバ宜カラウト思ツテ專賣局長官ト御協議申上ゲタコトガアルガ、地方ニ歸ツテ見マスト種々情勢ハ異ツテ居リマシテ左様ナコトデハ手ニ入ラナイ、サウ云フコトデアルケレドモ政府ノ命令デアラナラト云フノデ、地方ニ於テハ正直ニ其ノ御命令ニ依ツテ供出ラシテ居リマスガ、中ニ立ツテ世話スル町村長

等ノ苦心ハ尋常ナモノデアリマセヌ、私ハ此ノ二錢五厘ガ適當デアルカ、或ハ又五錢六匁ガ宜イカ八錢ガ妥當カト云フヤウナコトハ此ノ際申シマセヌガ、全國ノ薩摩芋ノ公定價格ハ地方ニ依ツテ高下ノナイヤウニ、實情ヲ御調べノ上御決定ヲ願ヒタイト思ヒマス、生芋ト切干原料芋ノ價格、專賣局ニ徵收サレルモノト他ノ小賣値トノ開キ、斯ウ云フモノヲ十分御研究願ヒタイノデアリマス、要スルニ其ノ意味デ此ノ請願ハ出テ居ルノデアリマスカラ、ドウ大藏省專賣局ハ之ニ善處セラレンコトヲ切望致シマス、サウ云フ意味デ本案ハ御採擇ヲ願ヒタイノデアリマスガ、幸ニ長官ガオイデデアリマスカラ、之ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

トニナルノデアリマスガ、同時ニ他ノ生産費ノ點カラ考ヘマスト、比較的九州ノ方ハ割安ニ出來ルト云フヤウナ點モ考ヘラレマスト、專賣局デ購入致シマス原料甘藷ノ價格ト致シマシテハ、全國一樣ニ之ヲ決メタ譯デアリマス、サウシテ御話ノ通り、甘藷ノ買上價格ト云フモノガ政府デ購買致シマス「アルコール」製造原料トシテノ甘藷ノ價格ト、ソレカラ酒類製造用、或ハ澱粉製造用等ノ工業用ニ致シマス甘藷ノ價格ト、其ノ他一般食糧ニ供シマス甘藷ノ價格ト三本建ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、從來工業用ノ甘藷ノ價格ト云フモノニ價格ノ公定ガナカツタ爲ニ、專賣局ト致シマシテハ、「ガソリン」ニ混入致シマス「アルコール」ノ價格ハ成ベク安く致シタイ、勿論生産者ノ生産費ヲ割ルヤウナコトハ致シマセヌケレドモ、其ノ範圍ニ於テ出來ルダケ低ク決メタイト云フコトデ、從來決定致シテ居ルノデアリマス、ソレヲ決定致シマス、工業用ノ價格ガソレニ連レテ又上ルト云フコトガ從來アツタノデアリマスガ、昨年工業用ノ甘藷ノ價格ヲ公定致シマシタノデ、今度ハ其ノ點ニ於キマシテ片方ニ一應ノ目安ガ付イタコトデアリマスカラ、之ニ付キマシテハ適當ナ時ニ其ノ格差ヲ出來ルダケ少クスル、合理的ニスルト云フコトニ付テ考慮シタイト考ヘテ居リマス、又切干ノ價格ト生芋ノ價格トノ開キノ問題デアリマスガ、是ハ大體ノ考ヘ方ニ致シマシテハ、甘藷ノ澱粉含有量ガ干シニ致シマスノト生ノ時トノ開キガ一ト三ト云フコトニナリマスノデ、大體之ヲ標準ニ致シマシテ、生芋ノ三倍ト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ點ノ開キニ

付キマシテモ、或ハ之ヲ掘出シタリ、包裝シタリスル色々ノ勞力ノ關係モ考ヘマシテ、此ノ開キヲドウ云フ風ニスルカト云フコトハ、更ニ研究ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ全國ノ甘藷ノ價格ヲ同一ニ致スト云フコトニ付キマシテハ、是ハ大體農林省ノ方ノ所管デアリマスガ、十分ニ考究シテ、適當ノ價格ニ決定致シタイト考ヘテ居リマス

○森肇君 切干芋ト生芋トノ價格ノ關係デハナクシテ、私ノ申上ゲタノハ切干芋ヲ原料ノ生芋トシテ算盤ヲ採ツタ時ニ、其ノ價格ト、工業原料用ノ價格ト小賣價格ト云フモノガ非常ナ違ヒガアル、ソコデ切干ニサセヨウト云フノニ非常ニ困ルト云フ事情ガアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、ソコヲ能ク御含ミノ上御善處ヲ願ヒマス

○樋口委員 簡單ニ關聯シテ申上ゲマス、此ノ請願ニモアルヤウデアリマスガ、「アルコール」原料用ノ甘藷ノ割當デゴザイマス、是ハ各府縣ニ依ツテソレノ違フヤウデアリマスガ、何レモ國策デアルニ依ツテ此ノ際芋ノ切干ハ出サナケレバナラスト、斯ウ云フ固イ建前カラ、町村ニ割付ガ参リマシテ、ソレデ私共割リヲ致シマス時ニ、芋ヲ作ツテ居ル者カラ出セ、斯ウ云フ風ニ固ク言ツテ居ルノデアリマス、只今モ御話ガアツタヤウニ、生芋トハ非常ニ違ヒマスノデ、ドウモ所ニ依リマシテハ、其ノ戸數ニ割當テラレタリシテ行クノガ相當アルノデアリマス、是ハ此ノ請願ニモアリマスガ、作付ノ前ニ割當量ヲ決メルト云フノデアリマスガ、是ハ固クヤツテ戴キマセスト、地方ニ行キマスト、其ノ府縣ニ割當テラレタル分ヲ出セバ宜イト云フノデ、段々各種團

體ニ向ツテ強要シテ來ル傾キガアツタ結果、芋ヲ作ラヌ者デモ一戸ニ付テ何貫目ト、斯ウ云フ風ニ割當テラレル所ニ、大變不平ガアルノデアリマス、ソレデモ國策デアルニ依ツテ皆納メテ居リマスガ、之ヲ芋ヲ買ツテ納メルト、現在デハ非常ニ生トノ差ガアルノデアリマス、昨年大分値上ゲテ戴キマシタガ、アレガ一昨年ノ値段デアリマスタラバ、アノ値段デ宜イノデアリマス、所ガ昨年生芋ノ公定價格ガ決ツタノニ比較致シマス、大變ナ損害ニナル、併シナガラ生芋ヲ賣ル所ノ人ガ其ノ或ル分ヲ供出ラスルトスレバ、生芋ガ高イニ依ツテソコデ收支ハ償フ譯デアリマス、本年ハドウカ一ツ作付反別ニ割付ケテ出スヤウニ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、ココ一年ヤソコラナラバ、義務デ芋ヲ買ツテ納メテモ宜シイガ、斯ウヤツテ長引イテ行キマス、サウ毎年毎年サウハ行カナイノデアリマス、其ノ邊ハ餘程縣ノ方デモ注意致スヤウデアリガ、ドウモ徹底ノ稀薄ナ所ガアリマス、特ニ茲ニ豫定ノモノダケハ作付ヲサセルヤウニ、作付前ニ固ク御注意ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、今生芋ノ公定價格カラ言ヘバ、米ヲ作ルヨリモ芋ヲ作ル方ガウント割ガ好イノデアリマス、仍デ「アルコール」原料用ノ方ハ多少犧牲ヲ拂ツテモ、現在ノ値ナラバ生産スル者カラ言ヘバ宜イ、ソレナラバ生芋ノ方ヲ下ゲルガ宜イカ、「アルコール」原料用ノ方ヲ上ゲタガ宜イカト云フナラバ、寧ロ農家ノ米ヲ生産スル者カラ言ヘバ、現在ノ公定價格デ「アルコール」用ノ方ニ供出シタ方ガ利益デアラウト思フノデアリマス、サウシテ生産セヌモノナラバ屑デモ間ニ合フノデアリマス、買フ方デ見ルト良イ芋ヲ買

ハナケレバナラス、良イ芋ヲ買ヘバ芋ノ良イ程肉ニ水分ヲ餘計含シデ、減リ目ガ多イノデアリマス、ドウカ一ツ是ハ十分割當ノ時ニ御注意ヲ願ツテ、供出者ガ餘リ苦痛ヲ感ジナイヤウニ、又不平ヲ起サヌヤウニ御願ヒヲ致シタイ

モウ一ツハ先般モ御尋ネシタノデアリマスガ、此ノ芋ノ「アルコール」ヲ取ツタ粕デゴザイマス、アレヲ縣ノ方デ斡旋シテ一貫目三十錢位ニ付イタ、ソレヲ牛馬ノ餌ニスル者ガ買フ場合ニハ減リ目ト運賃ヲ見マスルト約六十錢ニ付クノデアリマス、昨年三十幾錢デ納メテ六十錢デ粕ヲ買ツテ居ルノデアリマス、ソレニハ水分ノ工合モアリマセウガ、私ハ名古屋ノ專賣局デ拂下ノ値段ヲ聽イテ見マスルト、千「キロ」ガ三錢ガサウデス、拂下ハ千「キロ」ガ三錢ト言フノデス、中泉ノ工場デヤツテ居ルノデス、ソレハ十ノ中九割マデ水分デアリマスカラ百「キロ」ト云ツタ所デ正味ハ知レタモノデスガ、ソレガ三錢デ拂下ゲラレル——是ハ鶏ノ餌料ニスル爲ニ農林省カラ拂下人ヲ入レテ居ルト云フコトデアリマス、農林省ハ幾ラノ割當デニシテ拂下ゲサセテ居ルカ知リマセヌガ、兎ニ角千「キロ」三錢之ヲ百「キロ」三錢ニシマシテモ、ソレヲ私共ガ買フ時ニハ想像ニモ付カヌ一貫目ガ六十錢ト云フヤウナ値段デアリマス、而モ之ヲ買ツテ來テ食ハサスト雞ガ死ンデシマフモノデスカラ已ムヲ得ズ六十錢デ買フノデアリマス、又其ノ荷造リタルヤ實ニゾンザイナモノデアリマス、ソレデ是等ニ付テハ、御拂下ニナル場合ニハ三錢デアルカ知ラヌガ、ドウ云フ風ニシテ一般ノ餌料方面ニ配給ヲシテ居ラレカ、又ドウ云フ所ヘ拂下

ヲセラレルカ知ラヌガ、十分御調べ願ヒマシテ、成ベク安ク付クヤウニシテ、之ヲ供出シタ方ヘ粕ヲ還元シテ戴キタイト云フコトヲ希望致シマス、是非何トカシテ戴キマセスト、餘リニモ矛盾シテ居ルノデゴザイマス、良イ芋ハ三十幾錢デ納メテ、粕ヲ六十錢デ買フト云フヤウナコトニナツテ地方ヘ來テ居ルノデゴザイマスカラ、ドウゾ此ノ點モ宜シク御注意下サイマヌヤウニ御願ヒ致シマス

○坂東委員 採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○加藤委員長 採擇ニ決定致シマス

○加藤委員長 次ハ日程第四、標津村字標津ニ北海道拓殖銀行等ノ出張所設置ニ關スル請願、文書表第四三一號——紹介議員南雲正朔君

○坂東委員 代ツテ紹介致シマス、北海道目梨郡羅臼村ハ豐富ナル漁場ニ惠マレ、且ツ鰺林産ノ無盡ノ寶庫ヲ有シマスルノデ、夙ニ各種産業ノ進展ヲ見タノデアリマスガ、交通ガ不便デアリ、而モ其ノ隣接地ニ銀行ガナイ爲メ、村民ハ貯蓄及ビ金融上遠隔ナル根室郡根室町ニ至ルノ已ムナキ實情ニアルノデアリマシテ、其ノ不利不便少カラザルモノガアリマスノデ、同地方ヨリ最近距離ニアリテ海陸交通ノ便アル標津郡標津村字標津ニ株式會社北海道拓殖銀行出張所並ニ株式會社北海道銀行出張所ヲ設置セラレシコトヲ希望スルモノデアリマスガ、政府ノ御所見ヲ伺ヒマス

○氏家政府委員 本請願ハ羅臼村カラ其ノ取引先デアル銀行ノ營業所ノアル根室町マ

デハ非常ニ遠距離ニアルカラト云フコトヲ前
提ニシテ出來テ居ルヤウデアリマスガ、實
ハ北海道拓殖銀行ノ出張所ヲ昨年ノ十一月
八日ニ大蔵省ノ認可ヲ得マシテ、中標津ニ
新タニ開設シタノデアリマス、其ノ際ニ中
標津ノ方ガ宜シイカ標津ノ方ガ宜シイカ、
ドチラニシタラ宜イカト云フコトニ付キマ
シテハ、慎重ニ考究ヲシテ見タノデアリマ
スガ、産業交通等ノ情勢及ビ其ノ母店デ
アル所ノ支店ノ連絡關係ナドヲ考ヘテ見マ
シテ、中標津ノ方ヲ選ンダ次第ナノデアリ
マス、ソレデ只今ニナツテ見マスルト、羅
村カラ此ノ中標津マデハ近々二時間程度デ
連絡スルコトガ出來ルヤウニナリマシタ
ノデ、從來ノ根室マデ行カナケレバナカ
ツタ時ト比ベテ見マスルト、非常ニ改善セ
ラレテ居ルノデアリマス、ソレデ今直チニ
標津ニ又北海道拓殖銀行ノ出張所ヲ設置
スルコト云フコトハ其ノ必要ガナイモノト思
ハレルノデアリマス、尙ホ北海道銀行ノ出張
所モ標準ノ方ニ設ケテ貫ヒタイト云フ御趣
旨モアルヤウデアリマスガ、是モ北海道銀
行ノ支店ヲ出張所ノ分布ノ現狀カラシマシ
テ、今直チニ標準ニ開設スルコト云フコトハ
困難デアルトハ思ヒマスケレドモ、産業交
通等ノ發達ノ狀況ニ依リマシテ、將來ノ問
題トシテ十分考慮スルコトト致シタイと思
ヒマス

七號——紹介議員中井川浩君
○中井川浩君 本請願ノ趣旨ハ茨城縣久慈
郡大子町所在ノ專賣局出張所ガ、昭和十三
年八月ニ廢止サレテ以來大宮出張所ノ一取
扱所トナツタ爲メ、關係地方民ノ蒙ル不
利不便少ナカラザルモノガアルノミナラズ
煙草耕作ニモ甚大ナル打撃ヲ與ヘテ居リマ
スノデ、速カニ現在ノ取扱所ヲ元ノ出張所
ニ復活セラレタイト云フノデアリマス、ド
ウカ御採擇ヲ願ヒマス、尙ホ同時ニ此ノ場
合ニ當局ノ御意見ヲ伺ヒマス

地方ノ耕作者ニ與ヘテ居ラナイト考ヘテ居
ルノデアリマス、請願ノ御趣旨ニ依リマス
ト同出張所ノ廢止ニ依リマシテ、水戸ノ
名葉デアリマス、水府葉ノ產地モ幾ラカ少ク
ナツタ、是モ出張所ノ廢止ニ依ル耕作組合
或ハ耕作者ノ熱意ガ消極的ニナツタ結果デ
ハナイカト云フヤウナ御話モアルノデアリ
マシテ、私共ノ考ヘテ居リマシタコトハ、
多少違ツタ結果ガ出テ居ルヤウニモ考ヘラ
レマスガ、是等ノ點ニ付キマシテハ更ニ十
分ニ實情ヲ調査致シマシタ上デ、何分ノ決
定ヲ致シタイト思ヒマス

日程第一、大政翼贊會名稱變更其ノ他ニ
關スル請願、文書表第三二一號——紹介議
員倉元要一君
○坂東委員 私が代ツテ紹介致シマス、此
ノ請願ノ趣旨ハ大政翼贊運動ノ標語ナル大
政翼贊臣道實踐ハ我が國體ノ本義ニ照シ、
皇國臣民ノ本然ノ姿ニシテ、敢テ之ヲ強調
スルノ要ナルベシト信ズ、仍テ大政翼贊
會ノ名稱ヲ國威宣揚會ト改メ「臣道實踐」ノ
標語ヲ「神道實踐」又ハ「神教實踐」ト變更セ
ラレタシト云フノデアリマス、一應政府ノ
御考ヘヲ御伺ヒ致シマス

○花田政府委員 請願ノ要旨ハ今御述ベ
ナリマシタ通り、茨城縣久慈郡大子町ニ水戸
地方專賣局ノ出張所ガアツタノデアリマス、
ソレヲ廢止致シタノデ耕作上非常ニ不便ガ
アルカラ又此ノ出張所ヲ復活シテ貫ヒタイ、
斯ウ云フコトデアリマス、御示シノ如ク大
子町出張所ハ昭和十三年八月十五日カラ之
ヲ廢止シタノデアリマス、是ハ經費ノ節約
ノ點カラ見マシテ、又水郡線ノ開通ニ依ル
交通關係ノ變化等ニ依リマシテ、之ヲ廢止
シタノデアリマス、同時ニ民間ニ對シマシ
テハ此ノ出張所ノ廢止ニ依ツテ不便ヲ與ヘ
ルコトヲ出來ルダケ少クスルト云フコトヲ
考ヘタノデアリマス、同出張所ノ取扱ツテ
居リマシタ仕事ハ、今御示シノ耕作關係ト
煙草ノ販賣關係デアリマスガ、煙草ノ販賣
ニ付キマシテハ元ノ大子ノ出張所ノ跡ニ、
大子販賣所ヲ新設致シマシタシ、又耕作
關係ニ付キマシテハ大宮出張所所屬ト致
シ、同所ヨリ耕作上ノ指導ヲナサシメ、收
納事務ニ付キマシテハ大子ニ煙草取扱所ヲ
設ケテ、耕作者ノ利便ヲ圖ルコトト致シタ
ノデアリマス、當局ト致シマシテハ是等ノ
機構ニ依リマシテ、甚ダシイ不便不利ヲ同

○川崎(巳)委員 是ハ前ノ議會デモ私カラ
説明申上ゲテ、採擇ニナツテ居ルノデアリ
マス、今政府委員ノ御説明ニ依リマシタヤ
ウニ、初メハ此ノ出張所ヲ小サクシタ爲ニ
餘程經費ガ助カルヤウナ御見込デアツタノ
デセウガ、ドレ程助ツテ居リマスカ、色々
ノ點デヤハリ經費ノ方ハ元々ニナツテ左程
助ツテ居ラナイト察シマス、ソレハ大蔵省
ノ方ノ御計算デアリマスノデ、私共ハ分リ
マセマスガ、左様ニ想像出來マス、サウシテ
經費ハ豫定通りニ餘リ大シタ儉約モ出來ナ
イノニ、土地ニ對シテ色々消極的ナ立場ニ
ナラシタリ何カシテ、土地ノ繁榮モ斯ウ云
フ風ニ經費ヲ減ラスコトノ結果ハ、刻々ト
廢止後現ハレテ居ルノデアリマスカラ、ド
ウゾ今一應御考ヘ直シヲ願ヒタイト云フ意
味ヲ以テ、採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員 次ハ日程第二、肇國ノ紀元
ニ關スル請願、文書表第三三五號——紹介
議員山道襄一君

○庄司委員 山道氏ノ御依頼ガアリマシテ、
代ツテ簡單ニ申上ゲマス、本請願ハ松永良
作ト云フ方ノ請願ニ掛リマシテ、山道襄一
氏ノ紹介議員ト相成ツテ居マスケレドモ、
請願ノ趣旨ハ、我が國ニハ神武紀元、即チ
本年ハ二千六百一年ト云フ此ノ年號、皇紀

○加藤委員 採擇ニ決定致シマス

○加藤委員 採擇ニ決定致シマス

○加藤委員 次ニ内閣所管ニ移リマス

○加藤委員 參考送付ニ御異議アリマセ
スカ

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員 參考送付ニ決定致シマス

天照皇大神様が高天原ニ於カレテ大八洲ノ國ヲ治シメシ給フタ、其ノ天照皇大神様ヨリ神代代々ノ年數ヲ經ラレタ後ニ於テ、神武天皇様ガ建國サレタノデアルガ故ニ、天照皇大神様ノ御時代ヨリ起算ヲサレテ、肇國ノ紀元ト云フモノヲ茲ニ制定ヲシタイノデアル、簡單ニ申上ゲルト左様ナ趣旨デゴザイマス、即チ古事記、或ハ日本書紀ニ現ハレテ居リマスル所ノ神代カラ神武御建國ニ至ルマデノ、此ノ神代ノ時代ヲモ當然肇國ノ年數ニ之ヲ御編入下サイマシテ、肇國ニ關スル所ノ紀元ト云フモノヲ御制定シテ戴キタイ、斯ウ云フ請願ノ趣旨デゴザイマス、洵ニ大キナ問題デ、私モ御依頼ニ依ツテ述べルノデゴザイマスガ、私一個ノ私見ハ色々ゴザイマスケレドモ、兎ニ角是ハ重大ナル肇國ノ紀元ニ關スル請願デゴザイマシテ、吾々國民思想ノ方面カラ言ヒマシテモ、決シテ惡イ請願デハナイ、國民精神作興ノ上ニ十分資シ得ル、又日本國史ノ神武天皇様ノ以前ノ神代ヨリ、天照皇大神様以來代々ノ神様ノ御年數ヲ立テラレテ、以テ此ノ肇國ノ紀元ニ關スル制ヲ確立シテ欲シイ、斯ウ云フ意味ノ請願デゴザイマスガ故ニ、政府ノ御高見ヲ承リマシテ、御採擇ヲ御願ヒ申上ゲタイト思フノデアリマス

○佐藤政府委員 請願ノ御趣旨洵ニ御尤モデゴザイマス、御話ノ通り我が國ハ、神武天皇以前カラズツトアルト云フコトハ、疑ナイコトデアリマス、唯御承知ノ通り神代ノコトニナリマス、明瞭ノ缺イテ居リマシテ、殊ニ其ノ點ニ付テハツキリ記録モアル譯デハナイ、サウ云フ關係デ之ヲ何年ト云フコトニ、何時カラ始マツタト云フハツキリシタ年數ヲ押ヘルト云フコトハ、尙ホ

研究ハシタイト思ヒマスケレドモ、今マデノ所デハ一寸困難ダト思ツテ居リマス、唯我が國ガ非常ニ古カツタト云フコトハ、是ハモウ疑ナイ所ダト思ヒマス

○坂東委員 此ノ問題ハ事皇室ニ關スルコトデアリ、又憲法ノ條章竝ニ皇室典範ノ條章ニモ關係ガアリマスノデ、議會デ採擇スルコトガドウカト云フ懸念モアリマスカラ、隨テ政府ニ於キマシテ十分研究ヲ願ヒマシテ、若シ政府ガ研究ノ結果、相應シイコトデアルト御認メニナツタラ、官内省ニ御相談ヲ願フト云フ意味ニ於キマシテ、參考送付ニシタラ如何カト思ヒマス

○加藤委員長 參考送付ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員長 參考送付ニ決定致シマス

○加藤委員長 次ハ日程第三、統制經濟ノ徹底化ニ關スル請願、文書表第三八七號

○森澤君 是ハ長崎縣ノ北松浦郡内ノ町村長ヲ代表シタ平戸町長ヨリノ請願デアリマス、此處ニ摘錄サレテ居リマス所デハ、統制經濟ヲ普遍徹底セシメテ貫ヒタイ、斯ウ云フコトデ強クヤツテサヘ戴ケバ宜イト云フヤウニ見エルカモ知レマセヌガ、地方ノ實情ハ必ズシモソレノミニハ止マラスノデアリマス、統制ヲオヤリニナルナラバ、萬遍ナク其ノ統制ノ力ヲ及ボシテ貫ヒタイ、此ノ地方ハ、今石炭採掘ノ盛ナル關係ヨリ致シマシテ、非常ニ勞力ノ不足ヲ懇ヘテ居リマス、其ノ勞力ニ付テモ色々ノ定メガアルニ拘ラズ、實際ニ於テハ闇取引ヲシナケレバ手ニ入ラナイト云フノデ、農業者、

漁業者ナドハ非常ニ困ツテ居リマス、或ハ又生産業者トシテノ農業者、漁業者ガ生産シマス品物ニ付テハ、立派ナ確カナ價格ガ定メラレテ居リナガラ、其ノ生産者タル漁業者、農業者等ガ手ニ入レナケレバチラス品物ニ付テハ、未ダ公定價格ノ設定ガナイ、或ハ統制ノ力ガ及ンデ居ナイ、サウ云フ所カラ此ノ生産者ノ立場カラ見マスルト、自ラノ事業ノ關係ニ於テ釣合ノ取レナイ點ガ非常ニ多イ、斯ウ云フ憾ミガ少クナイノデアリマス、併シ恐ラク是ハ獨リ長崎縣ノ北松浦郡ノミニ止マラズ、全國一様ノ憾ミデアラウト思フノデアリマス、ドウゾ政府ノ方トシテモ此ノ趣旨ヲ御酌ミ下スツテ、統制ヲオヤリニナリマスナラバ、極メテ公平ナ、而モ普遍的ナモノニシテ下サルコトヲ切望致シテ、左様ナ風ニ一部ノ者ガ苦ミヲ受ケマセヌヤウニ、公平ナル御取扱ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ請願ノ趣旨ト思ヒマス、ドウゾ御採擇ヲ願ヒタイノデアリマスガ、之ニ付テ政府ノ方ノ御所見ヲ伺ヘレバ洵ニ仕合セト思ヒマス

○久富政府委員 請願ノ趣旨ニ付キマシテ只今御説明ヲ承リマシタノデアリマスガ、政府ト致シマシテハ、其ノ經濟政策ノ徹底ニ關シマシテハ、從來トモ凡ル手段ヲ盡シテ居ルノデアリマス、此ノ請願ノ趣旨モ御説明ノヤウナ點ハ固ヨリコトト存ジマスガ、更ニ其ノ基本ヲ成シマス所ハ、政策ノ趣旨ヲ國民ニ十分徹底セシメ、理解セシムルト云フ點ニアルコトト諒致シマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ政府ト致シマシテモ、政府ノ持チマスル機關ハ固ヨリ、民間ノ各團體、各機關ノ協力ヲ求メマシテ、十分徹底致シマスヤウニ努力スル積リデゴザイマス

○坂東委員 此ノ見出シハ「統制經濟ノ徹底化」デアリマシテ、現在統制經濟ノ實情ハ或ハ行過ギノヤウナ點モアリマスノデ、徹底化ト云フト相當議論モアリマスガ、其ノ内容ヲ承リマス、結局統制經濟ノ普遍化或ハ圓滿ナル運行ト云フコトデアリマスカラ、是非トモ左様ニアリタイト思ヒマスノデ、サウ云フ意味ニ於テ採擇ヲ希望致シマス

○加藤委員長 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○加藤委員長 日程第四、皇國財産觀確立其ノ他ニ關スル請願、請願文書表第三三七號

○庄司委員 本請願モ亦御依頼ニ依リマシテ簡單ニ請願ノ趣旨ヲ申述ベタイト思ヒマス、本請願ノ趣旨ハ、萬民翼贊ノ新體制ヲ確立スルニ當リマシテ、我が國不磨ノ大典デアル所ノ皇國憲法ノ正解ヲ闡キ、世上ノ一部ニハ或ハ西歐思想ニ眩惑サレ、或ハ又不敬ナル反國體の邪說ヲ唱ヘ、皇國本然ノ理ヲ辨ヘズ、思想ノ混淆歸一スル所ナキハ洵ニ遺憾ニ堪ヘナイ次第デアル、仍テ政府ハ第一、皇國憲法上我等日本臣民トハ、常ニ翼贊ヲスル翼贊人デアルト云フコト、第二ハ、皇國憲法ノ第二十七條、所有權、此ノ所有權ニ關スル所ノ解釋ハ、上御一人ニ翼贊シ奉ル所ノ財デアアル、實デアアル、斯ウ云フ意味ノ解釋ヲシタイ、第三ハ、一切ノ産業トハ翼贊ノ方法デアアル、此處ニハ方法ノ下ニ括弧ヲ付ケテ手段ト相成ツテ居リマスガ、一切ノ殖産興業ハ翼贊ノ方法デアアル、此ノ意味ハ多分一個人々々ガ營利的ニ金儲

ケの一切ノ産業ト云フモノヲヤツテ居ルノデハナイ、ヤハリ 上御一人、皇國ヲ翼賛シ奉ル爲ニ、ソレガ第一義諦トシテ産業ニ從事スルノデアル、斯ウ云フ翼賛第一主義ノ上ニ立ツテ居ル所ノ産業ニ關スル解釋ノヤウデアリマス、第四ハ勤勞トハ奉仕事「マツロヒ」トゴザイマス、「マツロヒ」トハヤハリ 上御一人ニ「マツロヒ」奉ルコト、「マツロヒ」デゴザイマスカラ服從ノ意味モ無論ゴザイマシテ、勤勞トハ奉仕事デアラスウ云フ解釋デアリマス、以上ノ意味ヲ明確ニシテ、以テ自由主義的或ハ「ナチス」的ノ思想ヲ一掃スルコトガ出來ルヤウナ、適切ナル施設ヲ政府ヲシテ講ゼシメタイ、斯ウ云フ請願デアリマス、要スルニ大體ニ於テハ惟神ノ皇道精神ニ則リマシテ、從來ノ所有權ト云フノハ、單ナル私ト云フヤウナ意味デハナク、畏レ多クモ翼賛シ奉ル所ノ貴イ寶デアルト云フ意味、産業ニ付テモ、勤勞ニ付テモ、ソレハ皇道精神ノ上カラ、吾々日本臣民ノ歩ムベキ大道ヲ確立シテ戴キタイ、從來ノヤウナ、唯權利義務ノ解釋デハナク、奉仕デアリ、マツロヒデアリ、結局ニ於テ翼賛シ奉ツテ、以テ臣道ノ實踐ヲ申上ゲル、サウ云フ意味ニ於テ政府ガ特色ナ異端邪說ト云フモノヲ一掃サレテ、適切ナル施設ヲ講ゼラレタイト云フノガ、本請願ノ趣旨ノアル所デアリマス、是モ中々大キナ問題デゴザイマシテ、政府ノ御意見ヲ承リマシテ、願ハクハ採擇ヲ御願ヒ申上ゲタイト思フノデアリマス

○佐藤政府委員 請願ノ趣旨ハ極メテ尤モデアリマシテ、我が國ノ現在ニ於キマシテ、自由主義的或ハ「ナチス」的思想ト云フモノヲ一掃スルト云フコトハ、從來モ政府デ十分

考ヘテ居ツタノデアリマスガ、此ノ請願ノ趣旨ニ依リマシテ今後尙ホ一層此ノ點ヲ考究シテ行キタイト云フ風ニ思ツテ居リマス

○坂東委員 此ノ請願ハ成程御尤モナ點モアリマス、併シ憲法上ノ臣民トカ所有權トカ云フ言葉ニ付キマシテハ、伊藤公ノ憲法義解ヲ俟ツマデモナク、大體學說モ決マツテ居リマス、又政府側トシテノ解釋ガ決マツテ居ルノデアリマスカラ、謂ハバ此ノ請願ハ新學說ト見ルベキ節ガアリマス、故ニ此ノ新學說ヲ此處デ取上ゲルコトハ、多少不穩當デアルト思ヒマスノデ、十分政府ニ於キマシテモ此ノ新學說ヲ研究願フト云フ意味デ、參考送付ニ願ヒタイト思ヒマス

○加藤委員長 參考御送付ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○加藤委員長 參考送付ニ決定致シマシタ、是デ内閣所管ノ議事日程ハ終了致シマシタ、是デ本日ノ議事日程ハ全部終了致シマシタ、此ノ際一寸御報告ヲ申上ゲテ置キマス、二月二十一日マデニ受理致シマシタ請願件數ハ四百八十三件デアリマシテ、其中審査議了致シマシタモノガ四百六十七件デアリマス、而シテ此ノ成績ハ次ノ本會議ノアリマス際ニ上程シテ貰フヤウニ致シタイト存ジテ居リマス、左様御諒承御願ヒ致シマス、次會ハ公報ヲ以テ御知ラセ致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時二十二分散會

〔坂東委員發言參照〕

只今提案ニナリマシタ八郎潟ノ利用開發ニ就キマシテ御説明申上マス
今日我帝國ハ國運ヲ屠シテノ大事業デア

ル大東亞建設ニ努力致シテ居ルノデアリマスルガ、然モ其根本問題ハ、先ニ政府ニ於テ決定ニナリマシタ、國土計畫デアリマス

此計畫ガ完全ニ實現シナケレバ東亞共榮圈ノ建設モ非常ニ困難ナルノデアリマス、而モ此ノ計畫ハ産業問題食糧問題、人口問題等、各種ノ重要問題ガ包含セラレテ居ルノデアリマス只今私ガ御説明申上ゲヨウトスル八郎潟ノ利用開發ニ關スル請願モ此國土計畫ノ一環トシテ極メテ重要ナ問題デアリマス先ヅ結論カラ申上ゲマスレバ、秋田縣下ニ於ケル八郎潟ノ干拓ト、合セテ其外港トナツテ居リマスル、船川港ノ改修ヲ速進セシムルモノデアリマス

此八郎潟ハ水面凡ソ二万町歩ト云フ廣大ナル面積ヲ有シテ居リマスルガ、其水深サハ極メテ淺ク、平均二米餘リシカアリマセン、之レヲ干拓致シマスレバ、一万四千町歩ニ餘ル耕地ト一千八百四十万坪以上ノ優秀ナル工場地帯トヲ新ニ増加セシメル事ガ出來ルノデアリマス、現下急迫セル食糧政策ノ上カラ考ヘマシテモ亦、産業上ヨリ考ヘマシテモ極メテ國家的ニ重要ナ問題デアリマス

而モ此八郎潟ノ開發、干拓ノ事業ハ比較的簡單ニ行ヒ得ラルル所ニ特徴ガアルノデアリマシテ、先年來内務省仙臺土木出張所長金森博士ノ熱心ニ力説セラレテ居ラルル點ヨリ考ヘマシテモ明ラカナル處デアリマス

先ニ私ガ歐羅巴ヘ參リマシテ「オランダ」ニ於ケル排水干拓ノ事業モ親シク見テ參リマシタガ、アノ海面ヨリモ低イ廣

大ナ土地ニ於テ、國民ガ安心シテ生活シテ居ルノ實狀ハ全ク驚クノ外アリマセン、アノ難工事デサヘモ大自然ヲ征服シテ人爲的ナ土地ノ開發ヲヤツテ居ルノデアリマス、是ニ比較致シマスルニ我八郎潟ノ干拓ノ如キハ極メテ容易ナ工事デアリマス、先ニ申上ゲマシタガ如ク金森博士ノ御調査ニヨリマスレバ八郎潟ハ干拓ニハモツテコイノ湖水デアルト言ハレテ居ルノデアリマス

湖中ニ滿水致シマスルト約六億立方メートル水ガアルノデアリマスガ先年猪苗代湖デ使用セラレタ排水「ポンプ」ヲ以テ八郎潟ノ廢水ヲ行ヒマスレバ約半箇年ヲ要セズシテ其目的ヲ達スル事ガ出來タノデアリマス、之ハ先程モ申上ゲマシタガ如ク、八郎潟ノ水ハ極メテ淺ク二米餘シカナイノデアリマス、然モ干拓作業ニ依リマシテノ經費ハ一億圓以下デ出來ル事ヲ金森博士モ申サレテ居ルノデアリマス

即チ耕地造成費一千四百萬圓内港及運河費五千四百萬圓、船川港修築費二千九百萬圓トナル計算デアリマス、此經費ハ一見非常ニ莫大ナル金額ノヤウデアリマスガ、之ニヨツテ得ラルル利益ハ、洵ニ厖大ナルモノデアリマス

即チ一万四千町歩ノ耕地カラハ、米穀三十萬石ノ年産ガ擧ゲラレ又一千八百四十萬坪ノ工場地帯ヲ有效ニ使用致シマスレバ之ハ東京附近ノ工場地帯ヨリ東京ノミヲ除外シタ坪數ニ相當スルノデアリマシテ、此ノ土地ニ比較致シマスルト工場生産額一箇年十億圓以上ニ上ルノデアリマス、更ニ見逃スコトノ出來ナイ事ハ、此附近一帶ハ有名ナル秋田油田地帯デア

リマス、殊ニ此ノ八郎潟ヲ中心トセル附近ハ其最モ勝レタル地方デアリマシテ、現ニ潟ノ周圍ハモトヨリ湖中、水ノ中ニサヘモ採油櫓ガ樹テラレテ居ルノデアリマシテ、干拓工事ノ完成ガ一日早ケレバ早イダケ、湖底ニ祕メラレテ居ル寶庫ヲ開拓スルコトガ出來ルノデアリマス

斯ク考ヘテ見マスルト八郎潟ノ開拓事業コソハ、國家的ニ極メテ重大ナ問題デアリマシテ、一日モユルガセニスルコトノ出來ナイ問題デアリマス

更ニ此干拓ニ依リマシテ得ラルル米及工業、鑛業生産物ノ運搬ニハ湖口近クノ船川港ニヨリテ達シ得ラルルノデアリマス

此ノ船川港ハ背面ニ寒風山ヲ控ヘ船舶ノ出入ニハ極メテ便利ナ位置ニアリマシテ日本海岸ニ於ケル屈指ノ良港デアリ、「アメリカ」及「ロシア」ニ對シテハ我國ノ港灣中最短距離ニアルノデアリマス

將來大陸發展ノ大玄關トシテノ船川港トシテハ現在ノ狀態デハ到底其機能ヲ發揮スルコトガ出來ナイノデアリマシテ、之レハドウシテモ此八郎潟ノ開發計畫ト共ニ船川港ノ改修ヲ速進シナケレバナナイノデアリマス

以上八郎潟干拓ニ關スル事情ノ一端ヲ申上ゲタノデアリマスルガ、何卒現下ノ急迫セル食糧問題解決ノ上カラモ、亦工業生産ノ増加ノ上カラモ石油資源確保ノ上カラモ更ニ大陸發展ノ重大使命カラモ本請願ヲ御採擇下サイマシテ速ヤカニ八郎潟ノ開發ト船川港ノ改修トヲ實現セラレ、以テ國土計畫ノ完成ノ一日モ早カラシム事ヲ熱望スル次第デアリマス

昭和十六年二月二十三日印刷

昭和十六年二月二十三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局